

(様式第10)

厚生労働大臣 殿
令和 7 年 10 月 3 日
番 号
開設者名 国立大学法人京都大学
学長 湊 長博

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
氏名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54番地
電話(075) 751 - 3111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有					
内科と組み合わせた診療科名等						
1呼吸器内科		2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績						
呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。 神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。						

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				無			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
50	0	5	0	1,066	1,121	(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	562	477	726.3
歯科医師	13	9	19.9
薬剤師	90	6	94.6
保健師	0	0	0.0
助産師	62	0	62.0
看護師	1306	45	1340.6
准看護師	0	0	0.0
歯科衛生士	7	1	7.7
管理栄養士	20	3	22.3

職種	員数
看護補助者	42
理学療法士	29
作業療法士	13
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	34
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	73

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	87
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	14	
その他の技術員	84	
事務職員	473	
その他の職員	277	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	87	眼科専門医	14
外科専門医	53	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	13	放射線科専門医	8
小児科専門医	21	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	11	整形外科専門医	19
泌尿器科専門医	3	麻酔科専門医	15
産婦人科専門医	4	救急科専門医	11
		合計	277

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (高折 晃史) 任年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成26年12月から平成31年3月まで医療安全管理委員会の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	697.2 人	10.9 人	708.1 人
1日当たり平均外来患者数	1626.9 人	71 人	1698 人
1日当たり平均調剤数	1073.7		剤
必要医師数	169		人
必要歯科医師数	6		人
必要薬剤師数	24		人

必要(准)看護師数	412	人
-----------	-----	---

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1590.47 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	79 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 2371.42 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	140 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 73.12 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	766 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学・免疫分析装置、全自動血球計算装置		
細菌検査室	199 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動微生物培養検出装置、全自動細菌培養感受性装置		
病理検査室	349.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、全自動H&E染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	57 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、写真撮影装置		
研究室	39,751.39 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電子顕微鏡、遠心分離機		
講義室	496 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	329 人
図書室	785 m ²	鉄筋コンクリート	室数	7 室	蔵書数	218,145 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	97.12	%	逆紹介率	125.96	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,127		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		23,958		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		5,725		人
	D: 初診の患者の数		22,332		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学副学長(法務・コ ンプライアンス担当)		総長が指名する副学長	有	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院 教授		法律に関する専門的知 識を有する者	無	1
中村 猛	京都府立医科大学 医療 安全推進部 部長		医療に係る安全管理に 関する専門的知識を有 する者	無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全 管理部 部長		医療に係る安全管理に 関する専門的知識を有 する者	無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあ い医療人権センター COML 理事長	○	医療を受ける者その他 の医療従事者以外の者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都大学ホームページに掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	64人
子宮内膜受容能検査1	4人
子宮内細菌叢検査1	3人
二段階胚移植術	1人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	22人
☒項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断	0人
先進医療の種類合計数	6
取扱い患者数の合計(人)	94人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	2人
ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	2人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	1人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	1人
自家膵島移植術	0人
先進医療の種類合計	6
取扱い患者数合計(人)	6人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法 (CAR-T療法)	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病, 悪性リンパ腫)や多発性骨髄腫の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	血液がん遺伝子パネル検査	取扱患者数	989人
当該医療技術の概要 造血器腫瘍の遺伝子変異をターゲットシーケンスにより同定する。			
医療技術名	膵β細胞イメージング	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 インスリンノーマ・高インスリン血性低血糖症に対して、GLP-1受容体標的PETイメージングでの責任病変の質的・局在診断を行う。			
医療技術名	難治性甲状腺眼症に対する集学的治療	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 甲状腺眼症はしばしば既存治療を行っても再発し、難治性となる。放射線療法、眼窩減圧術、テッペーザを含めて治療している。			
医療技術名	悪性機能性神経内分泌腫瘍、褐色細胞腫/パラガングリオーマに対する集学的治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 化学療法、放射線療法 (PRRT、内照射)、支持療法、手術の組み合わせによる最適化治療を実施。			
医療技術名	TSH不適切分泌症候群 (SITSH) の鑑別診断	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 検査異常除外のためPEG処理下測定や2stepアッセイ法による測定を行っている。さらにTHRB遺伝子変異の有無をサンガーシーケンスで行い、甲状腺ホルモン不応症の診断に繋げている。			
医療技術名	単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究	取扱患者数	72人
当該医療技術の概要 糖尿病診断時年齢35歳未満、1型糖尿病関連自己抗体陰性、肥満歴のない発端者・血縁者を対象とし、11遺伝子 (<i>HNFA4</i> , <i>GCK</i> , <i>HNFA1</i> , <i>PDX1</i> , <i>HNFB1</i> , <i>NEUROD1</i> , <i>INS</i> , <i>ABCC8</i> , <i>KCNJ11</i> , <i>WFS1</i> , <i>INSR</i>) を解析する。			
医療技術名	内視鏡的乳頭切除術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 十二指腸乳頭部腫瘍(腺腫、上皮内癌)に対して十二指腸鏡下にスネアを用いて内視鏡的に切除する。非常に侵襲度の高い外科的な膵頭十二指腸乳頭切除術の代替治療として、低侵襲の治療が提供可能となる。			
医療技術名	超音波内視鏡下胆管胃吻合術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡を用いて胃から肝臓左葉の肝内胆管を穿刺し、胆管ステントを留置することで胆管と胃に瘻孔を作成する。従来の十二指腸鏡を用いた胆管ドレナージ法が施行できない患者に対しても胆管ドレナージを行うことが可能となる。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵管ドレナージ術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡を用いて胃から膵管を穿刺し、膵管ステントを留置することで膵管と胃に瘻孔を作成する。従来の十二指腸鏡を用いた膵管ドレナージ法が施行できない患者に対しても膵管ドレナージを行うことが可能となる。			
医療技術名	脳磁図	取扱患者数	71人
当該医療技術の概要 脳磁図はてんかんの患者に対する手術部位の診断や手術方法の選択を含めた治療方針の決定のために欠かせない非侵襲的な脳機能検査法であり、原発性及び続発性てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害及び運動障害の鑑別診断としても行われる。脳波に比べ優れた空間解像度と、MRI/PETより優れた時間解像度を併せ持つ。てんかん診療支援センターの関連科・部署である脳機能センター、脳神経内科、脳神経外科、小児科、てんかん・運動異常生理学講座が協力して提供している。			

医療技術名	ヌシネルセンの髄腔内投与	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 脊髄性筋萎縮症の治療として、SMN2遺伝子の転写産物に対するアンチセンス核酸(ヌシネルセン)の髄腔内投与を行っている。			
医療技術名	定位的頭蓋内脳波(SEEG)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性焦点てんかんに対し、てんかん原性領域を直接かつ精緻に評価できる最先端の高度医療である。専門知識を持つ専門医による綿密な電極留置計画と高精度の電極留置手技、さらに脳神経内科・脳神経外科・小児科を含む多診療科・多職種の緊密な連携を要するため、限られた専門施設でのみ実施可能である。			
医療技術名	体重10kg以下の小児体外循環	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 極めて体重の軽い小児の体外循環を安全に行える施設は少ない。当院では、急性肝不全などの症例の移植前に体外循環を行っている。			
医療技術名	遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要 がん遺伝子パネル検査で見つかった適用外の候補治療薬を患者申出療養で実施。			
医療技術名	光線力学的療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 食道がんに対する化学放射線療法後の遺残再発に対する根治的救済治療。			
医療技術名	NOBEL-ioPDT	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 切除不能進行再発食道がん及び胃がんに対する免疫チェックポイント阻害剤(ICI)と光線力学的療法(PDT)の併用療法の有効性と安全性を評価する多施設共同第II相医師主導治験			
医療技術名	膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 切除可能境界・局所進行膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブの有用性を検証する第III相臨床試験(医師主導治験)			
医療技術名	進行固形癌:単剤療法およびベバシズマブとの併用療法としての ABBV-400-国際共同 first-in-human 試験	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ABBV-400の安全性、忍容性、及び薬物動態を評価し、ABBV-400を単剤投与又はベバシズマブと併用したときの第II相試験の推奨用量を決定する。			
医療技術名	特定の進行性固形癌を対象とした ABBV-400の有効性及び安全性を評価する第I相非盲検試験	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 進行性固形癌の治療のために成人患者にABBV-400を投与したときの有害事象と疾患活動性の変化を評価する。			
医療技術名	進行固形がんの成人患者を対象とした ABBV-706 単剤投与及び budigalimab (ABBV-181)、カルボプラチン又はシスプラチン併用投与の安全性、薬物動態及び有効性を評価する第I相ヒト初回投与試験	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ABBV-706を単剤投与及びbudigalimab、カルボプラチン又はシスプラチンと併用投与したときの安全性、忍容性、薬物動態及び予備的有効性を評価することである。			
医療技術名	成人の転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした ABBV-969の安全性、薬物動態及び有効性を評価する第I相ヒト初回投与試験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 ABBV-969の用量を最適化し、mCRPCに対する単剤療法としてのABBV-969の第II相試験推奨用量(RP2D)を決定する。			
医療技術名	HER2陽性の切除不能な局所進行性または転移性胃食道腺癌(GEA)患者を対象としたチスレリズマブ併用又は非併用下で化学療法と組み合わせた zanidatamabの無作為化、多施設共同、第III相試験	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 切除不能な局所進行性、再発性又は転移性のHER2陽性GEA患者を対象に、チスレリズマブの併用又は非併用下で化学療法を併用したときのZanidatamabの有効性を、化学療法との併用によるトラスツマブの有効性と比較する。			

医療技術名	再発、進行又は転移性固形がん患者を対象にネクチン-4 を標的とする抗体薬物複合体 LY4101174 を検討する第 I 相試験	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 特定の進行固形がんを有する患者を対象にLY4101174の推奨用量を決定する。			
医療技術名	TRG035 の健康成人を対象とした第 I 相単回投与試験 —二重盲検ランダム化プラセボ対照用量漸増試験—	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 健康成人男性におけるTRG035の単回静脈投与による安全性、忍容性および薬物動態を検討する。			
医療技術名	ロボット支援大腸全摘術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 潰瘍性大腸炎を背景とする結腸・直腸癌に対して手術支援ロボットを使用して大腸全摘術を施行している			
医療技術名	減量・代謝改善手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 減量もしくは代謝改善のための腹腔鏡下袖状胃切除術を行うもの。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	67人
当該医療技術の概要 生体ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死小腸移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから小腸を提供いただき小腸不全レシピエントに移植手術を行う。また、肺小腸同時移植も行なっている。			
医療技術名	脳死膵臓移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから膵臓を提供いただき膵臓分離し再生医療として、1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死膵臓移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから膵臓を提供いただき1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	難治緑内障に対するチューブシャント手術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 従来の緑内障手術や点眼加療では十分な眼圧下降が得られない難治性緑内障にたいして、バルベルト®緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた治療を行い、良好な治療成績が得られている。			
医療技術名	難治性視神経炎の診断と治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 視神経炎はステロイド点滴治療のみで改善し予後良好と考えられてきたが、ステロイド抵抗性や依存性の視神経炎も存在するため造影MRIや光干渉断層計を用いた評価、および症例に応じて血漿交換・免疫抑制剤を併用した治療を行っている。			
医療技術名	次世代シーケンサーを用いた網膜色素変性の遺伝子変異診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 網膜色素変性を含む遺伝性網膜変性疾患に対し、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析を行い、約半数の症例で原因となる遺伝子変異を同定した。			

医療技術名	増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
難治性の網膜疾患である増殖糖尿病網膜症に対して、低侵襲な小切開硝子体手術を行い、合併症が少なく、良好な治療成績を得ている。			
医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
難治性の慢性疾患である糖尿病黄斑浮腫への新規治療である抗VEGF療法を行った。			
医療技術名	仮面症候群及び急性網膜壊死に対する硝子体手術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
仮面症候群は悪性腫瘍に伴うブドウ膜炎で、予後不良の疾患である。また、急性網膜壊死はヘルペスウイルスによる視力障害が重篤な疾患である。これらに対して、診断目的もしくは視機能改善を目指した硝子体手術を施行した。			
医療技術名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	取扱患者数	400人
当該医療技術の概要			
滲出型加齢黄斑変性に対して、プロルシズマブ、アフリベルセプト、ラニビズマブ、ファリシマブ硝子体注射を行った。			
医療技術名	萎縮型加齢黄斑変性及びその前駆病変の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要			
萎縮型加齢黄斑変性およびその前駆病変(ドルーゼン)の患者に対して、カラー眼底写真、蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底自発蛍光などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管腫の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
フォン・ヒッペル・リンドウ病患者およびその血縁者に対して、広角カラー眼底写真、広角蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	再生医療 PBMC (自己末梢血リンパ球)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
着床不全を原因とする難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法			
医療技術名	若年女性のがん、免疫疾患、および早発卵巣機能不全患者における妊孕能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者等に対してがん治療開始前に、体外受精と同様の方法で、未受精卵子を採卵し、凍結保存する方法。パートナーがいる場合には受精卵凍結を行うこともある。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、卵巣組織を腹腔鏡にて摘出し、保存する方法。			
医療技術名	ミルベツキシマブ ソラブタンシン (TAK-853)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
葉酸受容体 α 陽性の進行卵巣癌又はその他の固形がんを有する日本人患者を対象としてmirvetuximab soravtansine(TAK-853)の安全性、忍容性、有効性及び薬物動態を評価する第1/2相非盲検試験			
医療技術名	治験 PIK3CA阻害薬 (CYH33)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
再発/持続性の卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜明細胞癌の患者を対象として選択的PI3K α 阻害剤CYH33の有効性及び安全性を検討する第II相非盲検多施設共同試験			

医療技術名	治験 デュルバルマブ、オラパリブ、ベバシズマブ	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 新たに診断された進行卵巣癌患者を対象として、デュルバルマブと化学療法及びベバシズマブとの併用投与後にデュルバルマブ、ベバシズマブ及びオラパリブを維持療法として投与する無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同第III相試験			
医療技術名	小児カテーテル治療	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 心臓血管内手術をカテーテルにより経皮的に行う。			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 胎児期に心臓エコーで先天性心疾患を診断。			
医療技術名	在宅肺高血圧治療薬持続点滴	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肺高血圧治療の一環として在宅点滴医療。			
医療技術名	小児経皮的心房中隔欠損閉鎖術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた、心房中隔欠損孔の経皮的閉鎖術。			
医療技術名	小児経皮的動脈管閉鎖術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた、動脈管の経皮的閉鎖術。			
医療技術名	経皮的肺動脈弁置換術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた肺動脈弁の経皮的置換術。			
医療技術名	原発性免疫不全症患者を対象としたシロリムスの臨床試験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性免疫不全症患者を対象としたシロリムスの有効性および安全性を検討する第II相臨床試験			
医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 再発・難治性のB細胞腫瘍の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	小児APDS(活性化ホスホイノシチド 3-キナーゼデルタ症候群)患者を対象とした leniolisibの治験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 小児(1~6歳)APDS(活性化ホスホイノシチド 3-キナーゼデルタ症候群)患者を対象とした leniolisibの治験			
医療技術名	体重10kg以下の小児体外循環	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 極めて体重の軽い小児の体外循環を安全に行える施設は少ない。当院では、急性肝不全などの症例の移植前に体外循環を行っている。			
医療技術名	治験:リードスルー薬Ataluren	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 ナンセンス変異型デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者を対象としたリードスルー薬Atalurenの非盲検試験			
医療技術名	治験:抗てんかん発作薬Cannabidiol	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性てんかんを有するDravet症候群、結節性硬化症、Lennox-Gastaut症候群を対象とする、大麻由来抗てんかん発作薬のCannabidiolの非盲検試験			

医療技術名	T1b以上の腎細胞癌に対するロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 cT1b(4cm以上)の腎細胞癌に対してロボット支援下腎部分切除術を行う(一般的な適応はcT1a(4cm以下)まで)。			
医療技術名	がんパネル検査結果に基づく、CDK12変異陽性去勢抵抗性前立腺癌症例に対するオブジーボの自費投与	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 現在本邦では免疫チェックポイント阻害剤は多くの癌腫で保険承認されているが、遺伝学的不安定性を誘発しネオ抗原の増加が予想されるCDK12変異症例という範疇での適応はない。がんパネル検査でCDK12異常が同定されエキスパートパネルでオブジーボを推奨されたので保険適応外で自費診療としてオブジーボを投与した。			
医療技術名	Level 2 以上IVC塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝内IVCのレベルまで進展した腫瘍塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術を安全・確実に行う。			
医療技術名	全身化学療法後の精巣腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 全身化学療法後に強固に癒着した後腹膜リンパ節組織を安全・確実に郭清する。			
医療技術名	術後尿管狭窄に対するロボット支援下尿路再建術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 婦人科がんや消化器がんの治療に伴う尿管狭窄に対して手術支援ロボットを用いて正確な手術手技にて確実な尿路再建を行う。			
医療技術名	経鼻内視鏡下前頭蓋底悪性腫瘍手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 前頭蓋底悪性腫瘍に対する摘出術、再建術を内視鏡単独で行う。			
医療技術名	広範頭蓋底腫瘍切除・再建術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 頭蓋底腫瘍(悪性腫瘍含む)に対する摘出手術及び切除後再建手術を、外切開手術・内視鏡手術単独あるいは開頭手術と組み合わせた術式で行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肺癌や肝がんの呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を追従させ、がんに限局した照射を行う放射線治療である。従来法と比較して、がん病巣への線量を損なうことなく、正常肺、肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要 前立腺癌に対して寡分割画像誘導強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することが可能となり、患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する腫瘍内ブースト併用寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 前立腺癌への寡分割画像誘導強度変調放射線治療において、前立腺内の画像上指摘しうる病変へ同時ブースト法を用いて線量増加を行うことで、安全に病変部位の線量増加が可能となった。			
医療技術名	骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、病変へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			
医療技術名	傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、傍大動脈から骨盤領域へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、従来は実現不能だった脊髄への線量を抑え、癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			

医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic SwingArc照射法	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要 OXRAYではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	多発脳転移に対するsingle isocenter volumetric-modulated arc radiosurgery	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 多発脳転移に対して強度変調放射線治療と定位放射線治療を併用することにより、短い治療時間で病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	コーンビームCT画像を用いた即時適応放射線治療	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要 照射前のコーンビームCT画像とAIを用いて、日々変化する患者の解剖学的特徴、腫瘍の位置や形状変化に合わせ、放射線治療計画を最適化し、再治療計画を行う即時適応放射線治療を行うことにより、標的に確実に線量を投与し、正常臓器への照射も低減させることが可能になった。			
医療技術名	婦人科腫瘍に対する組織内照射併用腔内照射	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 婦人科腫瘍に対する密封小線源治療において、腔内照射ではカバーできない標的部分に組織内照射を追加することで、正常臓器の線量増加を回避しつつ標的目標線量を達成することが可能となった。			
医療技術名	MRIガイド下画像誘導密封小線源治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 密封小線源治療において、アプリケーションを留置した状態でMRIを撮影することにより、アプリケーション・腫瘍・正常臓器の位置関係をリアルタイムかつ高精度に把握することが可能となり、腫瘍への高線量投与と正常臓器への線量低減との両立が可能となった。			
医療技術名	急性虚血性脳卒中中のCT-Perfusion 検査	取扱患者数	103人
当該医療技術の概要 急性虚血性脳卒中 患者に対し、CT-Perfusionの結果から脳組織の血流状態を詳細に把握することで、血栓溶解療法や血管内治療の適応や効果を判断できるようになり最適な治療法の選択が可能となった。			
医療技術名	前立腺癌の骨転移検出を目的とした全身骨MRI(DWIBS)	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要 前立腺癌患者に対してDWIBSを使用した全身拡散強調MRIにより、造影剤や放射性同位元素等を用いず放射線被ばくなしで、頸椎から骨盤部までの広範囲の骨転移スクリーニングが可能となった。			
医療技術名	68Ga-DOTATOC-PET/CT検査	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 自家合成したPET製剤(68Ga-DOTATOC)を投与してPET/CTを撮像し、神経内分泌腫瘍の病巣検索やルタテラによる内照射治療の適否を決めるためのソマトスタチン受容体イメージングを行うものである。従来のオクトレオスキャンより診断精度が高く、ソマトスタチン受容体イメージングとしては欧米では本検査が主流であるが、本邦では当施設のみ施行している。			
医療技術名	68Ga-PSMA11-PET/CT(MRI)検査	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要 自家合成したPET製剤(68Ga-PSMA11)を投与後にPET/CTまたはPET/MRIを撮像し、前立腺癌の病巣検索を行うものである。これまで行われてきた画像診断(CT、骨シンチグラフィ)では得られない病変が明瞭に描出され、本検査は欧米では必須の検査と位置づけられているが、本邦では施行できる施設が限られている。			
医療技術名	FES-PET/CT検査	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 検査薬としてエストロゲン受容体に親和性を有するPET製剤を投与し、集積状態を画像化することで、エストロゲン受容体を発現している乳癌の病巣を検索する。日常診療で行われるFDGを用いたPET検査では陽性描画されない病変の同定に役立つことがある。			
医療技術名	10歳以下の小児もやもや病の治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 厳密な呼吸管理の元、10歳以下のもやもや病に対するカテーテル検査、バイパス手術を行う。			

医療技術名	小児てんかん手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 3歳以下のてんかんの診断、てんかんの外科手術を行う。			
医療技術名	propofolを用いたWADA test	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 頸動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する。			
医療技術名	3歳以下の小児脳腫瘍に対する治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 3歳以下の脳腫瘍に対する診断、外科手術、化学療法を小児科と共同して行う。			
医療技術名	開頭経鼻内視鏡同時手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 頭蓋内外に進展する巨大頭蓋底腫瘍にたいして、開頭術と経鼻内視鏡手術を同時におこなう。単独手術と比較し、より安全な摘出と、より強固な頭蓋底再建が可能となる。			
医療技術名	凍結保存同種組織(ホモグラフト)を用いた胸部大動脈人工血管感染に対する手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 胸部大動脈の人工血管感染に対して、感染人工血管の除去およびホモグラフト置換による再建を行う。			
医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 重症呼吸不全患者に対する脳死ドナーからの両肺および片肺移植を行っている。			
医療技術名	生体肺移植	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 脳死肺移植を待機できない重症例に対して生体肺移植を行っている。			
医療技術名	ハイブリッド肺移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ハイブリッド肺移植とは片方に脳死ドナー肺を対側に生体ドナー肺を移植する。生体ドナー肺と組み合わせて、ハイブリッド肺移植を行うことにより、本来使用できないと思われる脳死ドナー肺を用いた肺移植が可能となる。			
医療技術名	自家肺移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 中枢型肺癌に対して、病変側の片肺を摘出し、体外でがんのある肺葉切除を行なったのちに、残った正常肺葉を移植する。			
医療技術名	薬理遺伝学的検査	取扱患者数	634人
当該医療技術の概要 医薬品の薬効や副作用の個人差の要因となる遺伝子多型を評価する薬理遺伝学的(ファーマコゲノミクス:PGx)検査			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	89
扱い患者数の合計(人)	3871

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	118
2	筋萎縮性側索硬化症	52	57	特発性拡張型心筋症	68
3	脊髄性筋萎縮症	12	58	肥大型心筋症	19
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	21	60	再生不良性貧血	37
6	パーキンソン病	391	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	8
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	33
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	34
11	重症筋無力症	138	66	IgA腎症	42
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	49
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	86	68	黄色靭帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	20	69	後縦靭帯骨化症	57
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	71
17	多系統萎縮症	48	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	55	73	下垂体性TSH分泌亢進症	6
19	ライゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
20	副腎白質ジストロフィー	4	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	9	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	162	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	28
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	133
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	58	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	104
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	211
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	98
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	44
34	神経線維腫症	46	89	リンパ管筋腫症	33
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	98
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	13
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	92	特発性門脈圧亢進症	5
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	89
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	41
40	高安動脈炎	71	95	自己免疫性肝炎	14
41	巨細胞性動脈炎	18	96	クローン病	192
42	結節性多発動脈炎	28	97	潰瘍性大腸炎	321
43	顕微鏡的多発血管炎	47	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	39	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	42	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	6	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	564	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	279	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	217	106	クリオピリン関連周期熱症候群	8
52	混合性結合組織病	68	107	若年性特発性関節炎	8
53	シェーグレン症候群	134	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	27	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	30	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10
113	筋ジストロフィー	17	163	特発性後天性全身性無汗症	12
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	8
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	5
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	27
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	13
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	6
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	4	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	3	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	4	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無 β リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	2
218	アルポート症候群	4	266	家族性地中海熱	11
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	35	270	慢性再発性多発性骨髄炎	8
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	39
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	3
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	11	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	2
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	1	289	クロンカイト・カナダ症候群	5
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	71
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	3
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性腭炎	0
251	尿素サイクル異常症	3	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	30
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	48

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	22
308	進行性白質脳症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
310	先天異常症候群	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	335	ネフロン癆	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
313	先天性肺静脈狭窄症	1	337	ホモシスチン尿症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	339	MECP2重複症候群	0
316	カルニチン回路異常症	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	1
317	三頭酵素欠損症	0	341	TRPV4異常症	0
318	シトリン欠損症	1	342	LMNB1 関連大脳白質脳症	
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	343	PURA関連神経発達異常症	
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	344	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	345	乳児発症 STING 関連血管炎	
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	346	原発性肝外門脈閉塞症	
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	347	出血性線溶異常症	
324	メチルグルタコン酸尿症	0	348	ロウ症候群	
325	遺伝性自己炎症疾患	2			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1			
328	前眼部形成異常	0			
329	無虹彩症	0			
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	161
合計患者数(人)	5,293

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・栄養サポートチーム加算
・医療DX推進体制整備加算1	・医療安全対策加算1
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染対策向上加算1
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・重症患者初期支援充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
・超急性期脳卒中加算	・術後疼痛管理チーム加算
・診療録管理体制加算1	・後発医薬品使用体制加算1
・医師事務作業補助体制加算2(20対1)	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上、夜間100対1、看護補助体制充実加算)	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1 イ1)	・薬剤業務向上加算
・看護補助加算1	・データ提出加算2イ・4イ
・療養環境加算	・入退院支援加算1
・重症者等療養環境特別加算	・入退院支援加算3
・無菌治療室管理加算1	・精神科入退院支援加算
・無菌治療室管理加算2	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・放射線治療病室治療管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・精神疾患診療体制加算
・緩和ケア診療加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・小児緩和ケア診療加算	・地域医療体制確保加算
・精神科応急入院施設管理加算	・救命救急入院料3
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)	
・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料	
・新生児治療回復室入院医療管理料	
・小児入院医療管理料2	
・精神科急性期治療病棟入院料1	
・短期滞在手術等基本料1	
・看護職員処遇改善評価料	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算	・外来放射線照射診療料
・ウイルス疾患指導料	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注2	・がん薬物療法体制充実加算
・外来栄養食事指導料の注3	・連携充実加算
・糖尿病合併症管理料	・ニコチン依存症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・がん患者指導管理料イ	・がん治療連携計画策定料
・がん患者指導管理料ロ	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料ハ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ニ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・外来緩和ケア管理料	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・薬剤管理指導料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・医療機器安全管理料1
・糖尿病透析予防指導管理料	・医療機器安全管理料2
・小児運動器疾患指導管理料	・精神科退院時共同指導料2
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・救急患者連携搬送料
・腎代替療法指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・一般不妊治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝学的検査
・下肢創傷処置管理料	・染色体検査の注2
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・院内トリアージ実施料	・BRCA1/2遺伝子検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・がんゲノムプロファイリング検査

施設基準の種類	施設基準の種類
・先天性代謝異常症検査	・小児食物アレルギー負荷検査
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・内服・点滴誘発試験
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・CT透視下気管支鏡検査加算
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・経気管支凍結生検法
・検体検査管理加算(I)	・口腔細菌定量検査
・検体検査管理加算(IV)	・精密触覚機能検査
・国際標準検査管理加算	・画像診断管理加算4
・遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・胎児心エコー法	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・ヘッドアップティルト試験	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・乳房用ポジトロン断層撮影
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・CT撮影及びMRI撮影
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・冠動脈CT撮影加算
・脳磁図(その他のもの)	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・外傷全身CT加算
・脳波検査判断料1	・心臓MRI撮影加算
・神経学的検査	・乳房MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・頭部MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・全身MRI撮影加算
・ロービジョン検査判断料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・コンタクトレンズ検査料1	・外来化学療法加算1

施設基準の種類	施設基準の種類
・無菌製剤処理料	・歯科技工士連携加算2
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・光学印象
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・CAD/CAM冠及びCAD/CAM冠インレー
・運動器リハビリテーション料(I)	・歯科技工加算1及び2
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(医科)
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・がん患者リハビリテーション料	・多血小板血漿処置
・リンパ浮腫複合的治療料	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・皮膚移植術(死体)
・療養生活継続支援加算	・自家脂肪注入
・児童思春期支援指導加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・救急患者精神科継続支援料	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・認知療法・認知行動療法1	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・依存症集団療法2(ギャンブル依存症の場合)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・精神科作業療法	・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」「小規模なもの」	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」「小規模なもの」	・椎間板内酵素注入療法
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・腫瘍脊椎骨全摘術
・医療保護入院等診療料	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・人工腎臓	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレンス治療	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・ストーマ合併症加算	・舌下神経電気刺激装置植込術
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・角結膜悪性腫瘍切除手術

施設基準の種類	施設基準の種類
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び切除術又は1肺葉を超えるものに限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needling法))	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・網膜再建術	・同種死体肺移植術
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・生体部分肺移植術
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)、鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・胸腔鏡下弁形成術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・胸腔鏡下弁置換術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)

施設基準の種類	施設基準の種類
・大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・補助人工心臓	・同種死体腓島移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・生体部分小腸移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (後腹膜)	・同種死体小腸移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (傍大動脈)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術 (単純切除術) (内視鏡手術用支援機器を用いる) 及び腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いる)	・腹腔鏡下副腎摘出手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術 (褐色細胞腫) (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術 (単純切除術) (内視鏡手術用支援機器を用いる) 及び腹腔鏡下噴門測胃切除術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いる)	・腎腫瘍凝固・焼灼術 (冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術) (内視鏡手術用支援機器を用いる) 及び腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いる)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃縮小術 (スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術 (胆嚢床切除を伴うもの)	・生体腎移植術
・胆管悪性腫瘍手術 (膵頭十二指腸切除及び肝切除 (葉以上) を伴うものに限る。)	・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道的)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・移植用部分肝採取術 (生体) (腹腔鏡によるもの)	・尿道狭窄グラフト再建術
・生体部分肝移植術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・同種死体肝移植術	・精巣温存手術
・腹腔鏡下膵中央切除術	・女子性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・膀胱頸部形成術 (膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術 (鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・画像誘導密封小線源治療加算
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・保険医療機関間の連携による病理診断
・体外式膜型人工肺管理料	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(医科)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)	・病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料 I	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・同種クリオプレシピテート作製術	・外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・入院ベースアップ評価料
・凍結保存同種組織加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・周術期薬剤管理加算	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
月経関連の情動、認知機能変化の包括的理解目指した縦断的脳画像研究	植野 司	総合臨床教育・研修センター	1,612,000	補	文部科学省
膵癌放射線治療における腫瘍内低酸素領域の動態と低酸素誘導因子との関係の検討	吉村 通央	放射線治療科	390,000	補	文部科学省
ヒトにおける細胞外マトリックスの代謝への影響の検討	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	650,000	補	文部科学省
医学教育における視覚教材の歴史に関する研究	森下 真理子	医療安全管理部	1,950,000	補	文部科学省
細胞老化の誘導する非細胞自律的な代謝・炎症制御機構の解明	三河 拓己	地域ネットワーク医療部	1,300,000	補	文部科学省
CRISPRスクリーンを用いたHIV-1潜伏感染分子メカニズムの解析	白川 康太郎	血液内科	1,560,000	補	文部科学省
大腸前がん病変におけるSpheroid増殖能の意義とメカニズムの解明	山田 敦	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,170,000	補	文部科学省
最新多角的オミックス解析を用いた慢性活動性EBV感染症の病態解析研究	加藤 格	小児科	1,300,000	補	文部科学省
臨床検体からの抗原直接検出による薬剤耐性菌の迅速検査法の開発と臨床評価	松村 康史	臨床病態検査学	260,000	補	文部科学省
PETイメージングを用いた慢性脳虚血がアルツハイマー病理発現におよぼす影響の解明	山内 浩	精神科神経科(精神医学)	1,430,000	補	文部科学省
乳癌縮小手術・非手術治療を可能とする高精度マルチパラメトリックイメージングの開発	片岡 正子	放射線診断科	1,430,000	補	文部科学省
細胞療法の治療効果予測のためのCell Tracking PET診断用薬剤の開発	志水 陽一	放射線診断科	910,000	補	文部科学省
小児脳MRIにおけるMR Fingerprintingの応用	伏見 育崇	放射線診断科	910,000	補	文部科学省
原因不明の炎症性疾患におけるI型IFN応答遺伝子の発現解析と新規炎症病態の解明	井澤 和司	小児科	1,560,000	補	文部科学省

正常妊娠維持および不育症におけるスフィンゴ脂質代謝の役割の解明	水岸 貴代美	血液内科	1,300,000	補	文部科学省
トリフルリジンとWee1阻害による食道扁平上皮癌に対する新たな治療戦略の確立	大橋 真也	先制医療・生活習慣病研究センター	1,560,000	補	文部科学省
炎症性肝発癌過程におけるDNA脱メチル化酵素の機能的役割と分子機序の解明	高井 淳	消化器内科	1,690,000	補	文部科学省
CDKN3阻害剤による大腸癌の抗癌薬治療耐性機序の克服と新規治療法開発	松原 淳一	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,300,000	補	文部科学省
CXCR7の動脈硬化における機能解明とPETによる臨床応用に向けて	馬場 理	先制医療・生活習慣病研究センター	1,560,000	補	文部科学省
肺動脈性肺高血圧症におけるTRPC6, CNP経路の研究	木下 秀之	地域医療システム学講座(寄附講座)	1,300,000	補	文部科学省
冠動脈プラークのOCT画像をAIで解析を行い長期臨床成績を予測する研究	山地 杏平	循環器内科	1,170,000	補	文部科学省
免疫学的恒常性の破綻と肺気腫フェノタイプの形成機序の解明	田辺 直也	リハビリテーション科	1,430,000	補	文部科学省
翻訳後修飾に着目した肉芽腫性炎症の制御機構解明	神戸 直智	皮膚科	780,000	補	文部科学省
抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺炎モデルマウスの構築と病態機序の探究	中嶋 蘭(笹井蘭)	免疫・膠原病内科	1,430,000	補	文部科学省
ヒトES/IPS細胞を用いた副腎皮質・血管分化機構の解明および内分泌学的解析	田浦 大輔	糖尿病・内分泌・栄養内科	780,000	補	文部科学省
肝移植後の抗体関連拒絶制御に向けた新規バイオマーカー探索	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	520,000	補	文部科学省
胆道癌の腫瘍内不均一性を基盤とした新規治療標的の開発	長井 和之	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補	文部科学省
術後の血管内皮グリコカリックス障害予防を目指した周術期血糖管理方法の開発	江木 盛時	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省
幹細胞と抗菌薬の局所投与で難治性インプラント感染を制御するための基礎研究	黒田 隆	整形外科	1,170,000	補	文部科学省
患者由来ゼノグラフトを用いたCDK12変異前立腺癌のPARP阻害薬不応性の克服	後藤 崇之	泌尿器科	780,000	補	文部科学省

炎症性膀胱疾患における慢性炎症と尿路上皮ギャップ結合蛋白の関与の解明	河野 仁	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省
難治性卵巣癌に対する、抗VEGF抗体とB7H3を標的とした併用療法の開発	村上 隆介	産科婦人科	1,040,000	補	文部科学省
母体血流によるシェアストレスが絨毛間腔において妊娠初期絨毛に与える影響の解明	千草 義継	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省
喉頭の発声機構に基づく声質の解明および音声治療への応用	児嶋 剛	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補	文部科学省
視神経症の時空間周波数特性の解析	須田 謙史	眼科	1,040,000	補	文部科学省
真皮micrograft移植による自家培養表皮の生着率向上	坂本 道治	形成外科	780,000	補	文部科学省
線維性結合組織の非線形粘弾性の解明ー三次元ダイナミックイメージングによる定量解析	齊藤 晋	形成外科	1,170,000	補	文部科学省
咀嚼能力と死亡率の関連とその原因となるメカニズムの網羅的探索	浅井 啓太	歯科口腔外科	910,000	補	文部科学省
NDB・多施設レジストリー・単施設コホートの融合による関節リウマチの合併症の解明	大西 輝	リウマチ性疾患先進医療学講座	910,000	補	文部科学省
喫煙による肺の気腫性変化を早期に検出する画像指標とバイオマーカーの探索	今井 誠一郎	先制医療・生活習慣病研究センター	390,000	補	文部科学省
重症呼吸不全患者における肺移植術後の予後改善に関する研究	佐藤 晋	呼吸管理睡眠制御学講座	1,300,000	補	文部科学省
耐糖能異常 (IGT) 段階で早期に診断を行うための指標の探索	辰巳 真貴子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補	文部科学省
癌領域の医薬品、診断薬、再生医療の開発早期に必要な臨床データに関する研究	永井 純正	先端医療研究開発機構 医療開発部	910,000	補	文部科学省
腸内細菌による n-6系不飽和脂肪酸代謝産物の腸管炎症における病態生理学的役割の解明	岡部 誠	消化器内科	1,560,000	補	文部科学省
喉頭癌・下咽頭癌の放射線治療における喉頭機能温存予測モデルの開発	鈴木 綾(中嶋綾)	放射線治療科	520,000	補	文部科学省
使用用途別のインターネット嗜癖・リテラシーに関する神経画像研究	藤原 広臨	精神科神経科(精神医学)	1,560,000	補	文部科学省

医用画像QAエージェント	藤本 晃司	放射線診断科	910,000	補	文部科学省
SR-PETによる各種腫瘍のSSTR発現評価とPRRT適応可能性の検証	河井 可奈江 (三宅可奈江)	放射線診断科	1,430,000	補	文部科学省
Micropapillary carcinomaの極性転換を標的とした治療戦略	小沼 邦重	臨床バイオリソース研究開発講座(産学共同)	1,820,000	補	文部科学省
冠動脈3枝疾患の治療法選択における3次元血管造影定量解析による機能的虚血評価の意義	塩見 紘樹	循環器内科	1,690,000	補	文部科学省
福山型筋ジストロフィーの拡張型心筋症発症・進行機序の解明	馬場 志郎	総合周産期母子医療センター	910,000	補	文部科学省
iPS細胞由来サブタイプ特異的心筋細胞を用いた家族性洞不全症候群の病態解明	牧山 武	循環器内科	1,820,000	補	文部科学省
肺癌転移性肝腫瘍における肝転移生体内観察モデルを用いた新規治療戦略の開発	吉田 博徳	呼吸器内科	1,950,000	補	文部科学省
肺傷害後の再生における幹細胞の活性化と肺胞再構築メカニズムの検討	佐藤 篤靖	呼吸器内科	1,430,000	補	文部科学省
メンデルランダム化解析による特発性肺線維症の治療ターゲットの探索	半田 知宏	呼吸器内科	1,560,000	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎における角質細胞間脂質と皮膚常在細菌叢のクロストークの解明	中島 沙恵子	皮膚科	650,000	補	文部科学省
サルコイドーシスの肉芽腫形成におけるエネルギー代謝経路の同定	中溝 聡	皮膚科	2,210,000	補	文部科学省
自然免疫に着目した、川崎病の病態解明および新規治療法の開発	山下 浩平	血液内科	1,560,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデス患者B細胞で高発現するTYMSのB細胞における機能的役割の解明	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,950,000	補	文部科学省
非コードRNAによる褐色脂肪細胞・ベージュ脂肪細胞の活性化機構の解明	堀江 貴裕	循環器内科	1,820,000	補	文部科学省
HO-1遺伝子多型性に基づいた常温機械灌流装置を用いた個別化治療の開発	影山 詔一	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省
iRGDによる胃癌免疫チェックポイント阻害剤併用化学療法を選択的増強効果の可能性	久森 重夫	消化管外科	2,080,000	補	文部科学省

心臓血管外科領域におけるiPS細胞技術を用いた新規遺伝子治療ベクターの開発	池田 義	心臓血管外科	1,560,000	補	文部科学省
ドラッグデリバリーシステムを応用した抗菌性ステントグラフトの開発	川東 正英	心臓血管外科	1,560,000	補	文部科学省
中枢気道修復を目的とした新規ポリグリコール酸素材の開発	豊 洋次郎	呼吸器外科	1,690,000	補	文部科学省
ラット肺移植における体外肺灌流保存中の炎症性サイトカイン制御	中島 大輔	呼吸器外科	1,820,000	補	文部科学省
尿中酸素分圧に着目した腎血流低下および急性腎障害の早期検出に関する研究	溝田 敏幸	麻酔科	1,170,000	補	文部科学省
高位脛骨骨切り術の術前後のキネマティクスおよび応力の解析	中村 伸一郎	運動器機能再建学講座(寄附)(整形外科)	1,820,000	補	文部科学省
GWASとシングルセル解析から転写性エンハンサーに着目する変形性関節症の病態解明	西谷 江平	整形外科	1,300,000	補	文部科学省
マクロファージ動態制御による声帯線維化予防技術開発	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補	文部科学省
ヒトiPS細胞由来気道上皮シート鼻腔移植モデルの作製	北田 有史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	文部科学省
鶏蝸牛有毛細胞再生過程における支持細胞reprogramming機構の解明	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補	文部科学省
Mixed Realityデバイスを用いた音声治療支援機器開発基礎技術の研究	藤村 真太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補	文部科学省
高齢者における内耳非依存的な中枢性聴覚神経機能評価 高齢人工内耳装用者の新展開	山崎 博司	総合臨床教育・研修センター	910,000	補	文部科学省
糖尿病網膜症における細胞外小胞による神経血管ユニット障害を標的とした新規治療開発	村上 智昭	眼科	1,560,000	補	文部科学省
クリスタリン網膜症治療薬の最適化検討	井上 由美	眼科	1,560,000	補	文部科学省
胆汁鬱滞においてMRTFA/Bを介したビルン発現調節機構の解明	尾関 宗孝	先端医療研究開発機構 クリニカルバイオリソースセンター	1,430,000	補	文部科学省
新生児蘇生のための遠隔講習および遠隔支援と人材育成のためのデジタルポートフォリオ	岩永 甲午郎	小児科	130,000	補	文部科学省

キメラ抗原受容体T細胞療法に対するリハビリテーション戦略構築に向けた挑戦	濱田 涼太	リハビリテーション部	910,000	補	文部科学省
NASHの成因にブドウ糖・果糖の代謝物である短鎖アルデヒドが果たす役割の解明	池田 香織	先端医療研究開発機構 臨床研究支援部	2,210,000	補	文部科学省
神経発達症群と腫瘍形成におけるクロストークの解明と新規創薬の開発	滝田 順子	小児科	2,600,000	補	文部科学省
エネルギー代謝可視化と霊長類胎児腎解析で迫るネフロン数決定機構の解明	柳田 素子	腎臓内科	2,600,000	補	文部科学省
気の利く手術室実現に向けた空間に偏在する複数人の知的活動の情報の顕在化	山本 豪志朗	先制医療・生活習慣病研究センター	2,600,000	補	文部科学省
タンパク質分解系を利用した神経変性疾患の病態解明と治療法の探索	山門 穂高	脳神経内科	2,860,000	補	文部科学省
プロテオーム解析による原発性免疫不全症候群の新生児マススクリーニング法の開発	柴田 洋史	小児科	650,000	補	文部科学省
新規腎機能評価方法論による小児移植患者のバルガンシクロビル適正投与設計の構築	勝部 友理恵	薬剤部	780,000	補	文部科学省
転移性脳腫瘍に対する過分割多段階照射の最適な線量投与方法の開発と臨床評価	丹羽 恵(宇藤恵)	放射線治療科	1,430,000	補	文部科学省
個別化治療に向けた大腸癌StageIV根治術症例のctDNAバイオマーカーの探索	岡村 亮輔	消化管外科	520,000	補	文部科学省
出血発症もやもや病の術後10年予後解明を目指した多施設コホート研究	舟木 健史	脳神経外科	910,000	補	文部科学省
最適な濃度の抗菌イオンを徐放し、優れた骨形成促進作用を有するインプラントの開発	奥津 弥一郎	整形外科	1,170,000	補	文部科学省
蝸牛有毛細胞における極性形成のメカニズム	十名 洋介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	780,000	補	文部科学省
加齢黄斑変性におけるreticular pseudodrusenの特徴	上田 奈央子	眼科	910,000	補	文部科学省
マインドフルネスの感情調節効果と痩せ:神経性痩せ症の介入開発に向けた基盤的研究	野田 智美	精神科神経科(精神医学)	780,000	補	文部科学省
大腸癌患者由来癌細胞ライブラリーを用いた癌幹細胞性の可塑性に関する研究	前川 久継	がん個別化医療開発講座(消化管外科)	910,000	補	文部科学省

免疫チェックポイント阻害薬の新規効果予測因子としての腸内微生物叢の包括的解析	米倉 慧	皮膚科	260,000	補	文部科学省
乳がん患者における腫瘍流入領域リンパ節の免疫微小環境解析を用いた新規治療戦略開発	山口 絢音	麻酔科	1,430,000	補	文部科学省
ネクローシスの制御による新たなパーキンソン病治療の可能性	中西 悦郎	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
要介護リスクに寄与するQOLの構成及び変化パターンの解明	紙谷 司	総合臨床教育・研修センター	130,000	補	文部科学省
広帯域皮質脳波の定量化によるてんかん焦点のバイオマーカーの開発	小林 勝哉	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
ギャンブル障害の臨床経過に関わる神経基盤について	鶴身 孝介	精神科神経科(精神医学)	1,170,000	補	文部科学省
神経性やせ症の反社会的行動における非侵襲的脳刺激法の効果	磯部 昌憲	精神科神経科(精神医学)	520,000	補	文部科学省
放射線治療開始までの時間短縮が可能かつ体内状況に適応する次世代放射線治療法の開発	伊良皆 拓	放射線治療科	1,040,000	補	文部科学省
放射線治療による好中球細胞外トラップを介した遠隔転移のメカニズム解明と予防法開発	中島 良太	放射線部	1,560,000	補	文部科学省
網羅的遺伝子スクリーニング技術を用いた甲状腺癌内用療法に対する抵抗性因子の探索	子安 翔	放射線診断科	1,560,000	補	文部科学省
未分化型胃癌の腫瘍内heterogeneityを考慮した遺伝子解析研究	二階堂 光洋	消化器内科	1,690,000	補	文部科学省
慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および制酸剤の消化管出血予防効果の検討	山本 絵里香	先端医療研究開発機構 医療開発部(循環器内科)	390,000	補	文部科学省
抗IL-5受容体抗体による好塩基球を介した獲得免疫系への影響の解明	砂留 広伸	呼吸管理睡眠制御学講座	1,430,000	補	文部科学省
閉塞性睡眠時無呼吸で惹起されるミトコンドリア機能異常のメカニズムとその影響の検討	濱田 哲	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	1,300,000	補	文部科学省
特発性肺線維症における単球・マクロファージの疾患特異的サブタイプの検討	池添 浩平	呼吸器内科	650,000	補	文部科学省
大規模データの機械学習解析による造血細胞移植治療の最適化	新井 康之	検査部	520,000	補	文部科学省

核内受容体NR4Aの低分子アゴニストによる自己免疫疾患の治療効果についての研究	日和 良介	免疫・膠原病内科	1,690,000	補	文部科学省
ヨード輸送体ペンドリンは甲状腺機能亢進症の治療標的となるか	山内 一郎	糖尿病・内分泌・栄養内科	650,000	補	文部科学省
食道腺癌の発癌促進作用がある菌の同定とその発癌促進機構の解明	奥村 慎太郎	消化管外科	845,000	補	文部科学省
リアルワールドデータを用いたICU入室高齢患者の退室後の要介護度についての研究	武田 親宗	麻酔科	1,040,000	補	文部科学省
インプラント表面処理と骨形成薬による骨粗鬆症椎体における骨結合促進効果の検討	清水 孝彬	整形外科	650,000	補	文部科学省
膀胱癌同種移植マウスモデルを用いた化学療法感受性を規定する腫瘍免疫微小環境の解明	北 悠希	泌尿器科	650,000	補	文部科学省
蝸牛有毛細胞再生機構におけるエンドセリン受容体Bの機能解明	松永 麻美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補	文部科学省
フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管芽腫の臨床病態解明・評価系の確立	高橋 綾子	眼科	1,040,000	補	文部科学省
CNPを用いた投薬による低侵襲な顎変形症の新規治療法の確立	山中 茂樹	歯科口腔外科	1,820,000	補	文部科学省
非回復性睡眠が生活習慣病等の発症に影響を及ぼすメカニズムの解明	高橋 順美	呼吸器内科(呼吸管理睡眠制御学講座)	1,170,000	補	文部科学省
没入型バーチャルリアリティを利用した高次脳機能障害のリハビリテーション	LIU CHANG	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	780,000	補	文部科学省
人を対象とする非医学系研究に対する質の高い研究倫理支援サービスの枠組みの構築	渡邊 卓也	倫理支援部	910,000	補	文部科学省
一酸化炭素持続放出分子を用いた新規認知症治療薬の開発	安田 謙	脳神経内科	1,690,000	補	文部科学省
画像・生理解析によるBAFMEの病態解明:不随意運動か、てんかんか、変性疾患か	戸島 麻耶	脳神経内科	1,300,000	補	文部科学省
生理・病態下における皮質-視床関連ネットワークの解明	宇佐美 清英	検査部	1,300,000	補	文部科学省
注意欠如多動症の多動を標的とした機械学習による動画解析	上月 遥	精神科神経科(精神医学)	780,000	補	文部科学省

活性化T細胞のPET分子イメージングによる免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測	野橋 智美	先制医療・生活習慣病研究センター (放射線診断科)	1,560,000	補	文部科学省
前立腺癌放射線治療後局所再発に対する革新的な救済局所再照射アプローチの開発	相澤 理人	放射線治療科	910,000	補	文部科学省
機能心肺温存体幹部定位放射線治療の治療計画手法の確立	岸 徳子	放射線治療科	1,040,000	補	文部科学省
Regnase-1を介した大腸癌新規治療の開発	井口 恵里子	消化器内科	2,340,000	補	文部科学省
患者由来肺癌細胞株を用いた腫瘍内不均一性の性質に関する因子探索研究	船造 智子	呼吸器内科	1,690,000	補	文部科学省
糸球体内皮細胞におけるGC-Aとp38 MAPKのクロストークの解明	加藤 有希子	腎臓内科	1,820,000	補	文部科学省
ポドサイト障害におけるp38 MAPKの意義の解明	山田 博之	初期診療・救急医学	2,340,000	補	文部科学省
冬眠によるエネルギー代謝機構の変化と腎保護メカニズムの解明	山本 伸也	腎臓内科	1,820,000	補	文部科学省
皮膚局所のリンパネットワークとしてのiSALTについての検討	小亀 敏明	皮膚科	2,080,000	補	文部科学省
Development of tumor-immunoprofiling to predict therapy response against acute lymphoblastic leukemia	石山 賢一	血液内科	780,000	補	文部科学省
B細胞リンパ腫がB細胞受容体シグナル依存性から脱却するメカニズムとその治療応用	有馬 浩史	血液内科	1,430,000	補	文部科学省
骨伸長の調節機構解明による新規低身長治療法の探索	植田 洋平	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補	文部科学省
慢性膵炎における細胞外マトリックスの変化に着目した新規膵島分離法の開発	山根 佳	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補	文部科学省
腫瘍特異的抗体と蛍光の接合化合物を用いた新たな蛍光ガイド手術の確立	西野 裕人	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省
オピオイドの精神依存形成に関する分子生物学的変化の検討	白木 敦子	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省
敗血症発症早期の骨格筋電気刺激療法がICU-AWに及ぼす影響の検討	松川 志乃	麻酔科	1,040,000	補	文部科学省

ヒト下垂体幹細胞の分離・分化誘導による自家移植治療の開発	佐野 徳隆	脳神経外科	650,000	補	文部科学省
腎細胞癌の前臨床モデルを用いたカボザンチニブ耐性獲得機序の解明	住吉 崇幸	泌尿器科	1,820,000	補	文部科学省
子宮癌肉腫における上皮間葉転換による免疫多様性の解明	滝 真奈	産科婦人科	2,340,000	補	文部科学省
ステアリン酸が卵巣癌増殖抑制を来すメカニズムの解明	山ノ井 康二	産科婦人科	2,340,000	補	文部科学省
放射線照射後声帯の網羅的解析	河合 良隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	文部科学省
タイトジャンクション修復による糖尿病における血管透過性亢進の治療開発	石原 健司	眼科	2,340,000	補	文部科学省
創傷専用A・G・B群溶連菌迅速診断キットの開発による劇症型壊死性筋膜炎の早期診断	津下 到	形成外科	1,040,000	補	文部科学省
非構造的臨床データにおける特徴量重要度の算出手法の開発と臨床研究への応用	日高 優	先端医療研究開発機構 クリニカルトリアルサイエンス部	520,000	補	文部科学省
血液透析患者におけるQT延長の発生・要因・予後への影響の解明	佐々木 彰	総合臨床教育・研修センター	1,300,000	補	文部科学省
入院中の造血器疾患患者に生じる骨格筋変性の臨床的特徴と、関連因子の解明	村尾 昌信	リハビリテーション部	910,000	補	文部科学省
覚醒下脳腫瘍摘出術における術中運動モニタリングの開発と臨床応用	馬場 千夏	リハビリテーション部	260,000	補	文部科学省
マウスに対するB型肝炎ウイルス感染成立に不可欠な宿主因子の網羅的探索	犬塚 義	地域医療システム学講座(寄附)(消化器内科)	1,430,000	補	文部科学省
薬理学的研究と臨床研究に基づくステロイドによる不眠の治療アルゴリズム構築	重面 雄紀	薬剤部	1,430,000	補	文部科学省
レジリエンスを評価するのに役立つエピジェネティックマーカーとその神経基盤の探索	稲葉 啓通	精神科神経科(精神医学)	1,430,000	補	文部科学省
皮膚シュワン細胞のサブタイプ分類の解析	入江 浩之	皮膚科	1,430,000	補	文部科学省
糞便中の大腸菌クローンの網羅的かつ定量的な新規メタゲノム解析手法の開発	津田 裕介	検査部	1,430,000	補	文部科学省

PSTPIP1関連自己炎症性疾患におけるインフラマソーム制御機構解明	前田 由可子	小児科	1,430,000	補	文部科学省
肝細胞癌の発生におけるTERT遺伝子の役割を解明する	三嶋 眞紗子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補	文部科学省
抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体を用いた小児IBD患者における新たな診断法と治療戦略の確立	村本 雄哉	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
ロングリードシーケンスによる新規SVAレトロトランスポゾンの特性と疾患関連性の解明	矢野 直子	小児科	1,430,000	補	文部科学省
肝移植周術期における好中球細胞死(ネトrosis)の意義—基礎研究から臨床応用へ	平尾 浩史	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
IL18経路抑制による肝移植などに伴う肝虚血再灌流障害の阻止とその機構の解析	門野 賢太郎	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
光干渉層計画像における脈絡膜の正常所見の解明	森 雄貴	眼科	1,430,000	補	文部科学省
口腔疾患が全身疾患の性差に寄与するメカニズムの網羅的探索	福原 紫津子	歯科口腔外科	1,430,000	補	文部科学省
交替制勤務者のサーカディアンリズムが代謝に及ぼす影響の検討	近藤 亜樹	遺伝子診療部	1,430,000	補	文部科学省
細胞傷害性がん治療法による残存がん細胞の再生メカニズムの解明と標的化	井上 正宏 →COPPO ROBERTO	臨床バイオリソース研究開発講座(産学共同)	600,000	補	文部科学省
ゲノム・エピゲノム異常の統合的解析による炎症性肝発癌メカニズムの解明	井口 恵里子	消化器内科	650,000	補	文部科学省
CD47に着目した腫瘍内不均一性の機序解明	船造 智子	呼吸器内科	1,430,000	補	文部科学省
がん免疫療法の新規治療戦略構築を目指した腸内細菌・真菌・ウイルス叢の解析	米倉 慧	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省
複雑脳における神経幹細胞系譜の多様性の解析	岡田 信久	MIC 健康加齢医学講座	900,000	補	文部科学省
体外循環装置使用下での一斉定量系を用いた抗菌薬の最適投与設計法の構築	小島 悠輔	薬剤部	470,000	補	文部科学省
プロポフォール脳中濃度の個体間変動因子探索による薬物動態モデル再構築	川田 将義	薬剤部	470,000	補	文部科学省

薬理遺伝学的検査に基づくクロザピン個別化投与設計法の確立	山本 将太	薬剤部	460,000	補	文部科学省
ベネトクサスの薬物動態に影響を及ぼす因子の探索と個別化投与設計に関する研究	山際 岳朗	薬剤部	450,000	補	文部科学省
薬物動態-薬力学-薬理遺伝学的解析に基づくエドキサパンの個別化減量基準の構築	渡邊 愛未	薬剤部	470,000	補	文部科学省
肺移植患者における血中濃度に基づくバルガンシクロビル投与方法の臨床的有用性の検証	片田 佳希	薬剤部	450,000	補	文部科学省
NICUおよびGCU入室児の運動発達に影響を及ぼす因子の検討	浅野 伝美	リハビリテーション部	460,000	補	文部科学省
ICU入室患者に対する神経筋電気刺激介入の標準化へ向けた検討	吉岡 佑二	リハビリテーション部	470,000	補	文部科学省
皮膚における多様な免疫応答の誘導機序と他臓器との免疫学的連関の解明	梶島 健治	皮膚科	37,700,000	補	文部科学省
老化変容レジレンスの修復による老化新健康概念の創出	近藤 祥司	地域ネットワーク医療部	7,800,000	補	文部科学省
更年期の鉄欠乏とメンタル不調の関連:女性ホルモンの衰退に抗わない予防医学の開拓	江川 美保	産科婦人科	3,900,000	補	文部科学省
小児期から若年成人期に発症する悪性腫瘍の克服に資する時空的多様性の解明	滝田 順子	小児科	20,410,000	補	文部科学省
超高磁場MRIを用いた視床下部機能的結合解析の新規開発と気分障害への応用	村井 俊哉	精神科神経科(精神医学)	2,340,000	補	文部科学省
ハイブリッド療法による大腸がん治療抵抗性メカニズムの克服	中西 祐貴	消化器内科	3,770,000	補	文部科学省
皮下血管誘導反応の機構解明に基づく細胞移植用免疫寛容空間構築技術の開発	穴澤 貴行	臓器移植医療部	4,160,000	補	文部科学省
卵巣がんのがん・宿主多様性の解明による新たな診断・治療戦略の開発	万代 昌紀	産科婦人科	2,470,000	補	文部科学省
タウ・アミロイドPETおよび7テスラMRI/MRSによる中高年期精神疾患の層別化	久保田 学	精神科神経科(精神医学)	3,640,000	補	文部科学省
非転移性超高リスク前立腺癌に対する革新的放射線治療アプローチの開発	溝脇 尚志	放射線治療科	2,210,000	補	文部科学省

RNF213関連血管障害に対するIL-1 β の役割 解明と前臨床モデルの創出	宮本 享	脳神経外科	5,330,000	補	文部科学省
正常脳組織のゲノム解析によるIDH変異型グリ オーマ発生基盤の解明と先制医療開発	荒川 芳輝	脳神経外科	4,160,000	補	文部科学省
遺伝子改変尿路上皮オルガノイドによる膀胱 発癌メカニズムの解明と免疫治療のモデル化	小林 恭	泌尿器科	4,160,000	補	文部科学省
光刺激人工内耳が加速させる細胞移植と分化 転換からの蝸牛神経再生による新規難聴治療	西村 幸司	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科	3,770,000	補	文部科学省
臨床能力を育む医療教育システムの実現に向 けた患者仮想化技術の創出	山本 豪志朗	先制医療・生活習 慣病研究センター	3,770,000	補	文部科学省
老化レジリエンス変容に必要な代謝特性の解 明と加齢性疾患への応用	近藤 祥司	地域ネットワーク医 療部	5,590,000	補	文部科学省
乳がんの精密診断のための包括的PET画像 診断法の確立	中本 裕士	放射線診断科	4,810,000	補	文部科学省
大腸がん幹細胞の可塑性を制御する時空間 的メカニズムの解析	妹尾 浩	消化器内科	7,280,000	補	文部科学省
大動脈瘤の病態解明と、その進行抑制及び退 縮を促す新規治療薬の開発	尾野 亘	循環器内科	5,850,000	補	文部科学省
霊長類腎臓病学:霊長類モデルとヒト組織を用 いた霊長類特異的腎障害修復機構の解明	柳田 素子	腎臓内科	6,370,000	補	文部科学省
肺移植前に行う体外肺還流中の抗IL-6受容 体モノクローナル抗体による肺障害修復	伊達 洋至	呼吸器外科	8,060,000	補	文部科学省
運動機能を強化する情動に関する神経ネット ワークの解明	澤田 眞寛	脳神経外科	1,550,000	補	文部科学省
薬物動態関連遺伝子多型の網羅的解析によ る先制的な有効性・安全性評価手法の構築	寺田 智祐	薬剤部	6,630,000	補	文部科学省
自然免疫における免疫記憶と細胞老化の関連 および加齢性疾患発症に及ぼす影響の解明	畑 匡侑	眼科	4,160,000	補	文部科学省
非侵襲的膵 β 細胞イメージングによる縦断的 膵 β 細胞量評価法	村上 隆亮	糖尿病・内分泌・栄 養内科	5,590,000	補	文部科学省
シナプスにおけるアミロイド β 蛋白産生機構を 標的としたアルツハイマー病治療薬の開発	葛谷 聡	臨床神経学	5,070,000	補	文部科学省

プリオン様タンパク質の凝集を起点としたパーキンソン病の診断と治療薬の開発	山門 穂高	脳神経内科	5,070,000	補	文部科学省
アプスコバル効果を利用した革新的放射線免疫療法の開発と新規バイオマーカー探索研究	坂中 克行	放射線診断科	9,620,000	補	文部科学省
潰瘍性大腸炎と原発性硬化性胆管炎の新規自己抗体の病原性を検証する	塩川 雅広	消化器内科	6,760,000	補	文部科学省
ヒト膵癌の転移、進行におけるRECKの機能的役割の解明	福田 晃久	消化器内科	4,680,000	補	文部科学省
アルコール長期曝露による正常食道上皮に生じる変異負荷や微小環境変化の解明	横山 顕礼	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	5,070,000	補	文部科学省
新規疾患感受性遺伝子に着目した全身性エリテマトーデスの病態解明と治療薬開発	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	5,070,000	補	文部科学省
肺移植後の抗ドナーCD8応答の予測と慢性拒絶への進展メカニズムの解明	田中 里奈	呼吸器外科	5,590,000	補	文部科学省
細胞外小胞の脂質に注目した乳がん新規リキッドバイオプシーの開発	川島 雅央	乳腺外科	6,240,000	補	文部科学省
マウス脂肪肝移植を用いた代謝免疫学的アプローチによる肝虚血再灌流障害の機序解明	内田 洋一朗	肝胆膵・移植外科	8,450,000	補	文部科学省
免疫細胞による新規筋骨格組織破壊修復機構の解明	村田 浩一	リウマチ性疾患先進医療学講座	4,030,000	補	文部科学省
マクロファージによる羊膜の治癒・再生:前期破水・早産の治療にむけて	最上 晴太	産科婦人科	7,410,000	補	文部科学省
マルチオミクス解析で挑む近視・強度近視・最強近視	辻川 明孝	眼科	6,500,000	補	文部科学省
「自家腫瘍組織リサイクル治療」の確立を目指して	森本 尚樹	形成外科	6,630,000	補	文部科学省
iPS細胞由来シュワン細胞を用いた絞扼性神経障害に対する新規治療法の開発	池口 良輔	整形外科	6,630,000	補	文部科学省
一塩基多型を用いた免疫チェックポイント阻害薬の新規バイオマーカーの探索	野溝 岳	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,430,000	補	文部科学省
エピジェネティクス制御とケモカイン受容体導入CAR-T細胞の併用療法の概念実証研究	北脇 年雄	血液内科	1,560,000	補	文部科学省

脂質代謝・エネルギー代謝への介入によるパーキンソン病疾患修飾療法の開発	生野 真嗣	医学教育・国際化推進センター	1,950,000	補	文部科学省
電気けいれん療法後の脳構造・機能変化は何と相関するのか-脳微小構造を含めた検討-	諏訪 太朗	精神科神経科(精神医学)	2,470,000	補	文部科学省
検診医用画像の自動解析システム構築と先制医療への応用技術の開発	坂本 亮	放射線診断科	2,210,000	補	文部科学省
生成AIを用いた脳画像解析技術の精神・神経疾患への応用	大石 直也	脳機能総合研究センター	1,950,000	補	文部科学省
小児T-ALL/LBLの発症機序の解明と新規治療の基盤開発	才田 聡	小児科	1,430,000	補	文部科学省
乾燥ろ紙血プロテオーム解析によるMenkes病新生児スクリーニング法の開発	吉田 健司	小児科	1,820,000	補	文部科学省
患者iPS細胞を用いたX連鎖性ミオチューブラーミオパチーの病態解明	横山 淳史	小児科	1,430,000	補	文部科学省
マスマイトメリーによる微小残存病変測定系の確立と治療抵抗性細胞の解析	平松 英文	小児科	2,340,000	補	文部科学省
慢性炎症を背景とした胆嚢癌の発癌メカニズムの解明	西川 義浩	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
アルコールによる食道発がんメカニズムの本態解明と予防薬開発に関する研究	武藤 学	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,430,000	補	文部科学省
核ラミナ異常による遺伝性心筋症の病態解明	原田 雅之	循環器内科	1,170,000	補	文部科学省
患者由来iPS細胞を用いたHOIL-1L変異による拡張型心筋症発症の機序解明	赤木 健太郎	小児科	1,690,000	補	文部科学省
メタボロミクスから拓く睡眠時無呼吸症候群と心血管疾患の先制医療への基盤構築	村瀬 公彦	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	1,820,000	補	文部科学省
MITFが神経系遺伝子抑制により色素細胞の細胞運命を指定する可能性の検討	川上 聡経	皮膚科	2,080,000	補	文部科学省
皮膚脈管内皮細胞の透過性を制御するリン酸化経路の探索と創薬基盤研究	野村 尚史	皮膚科	1,820,000	補	文部科学省
SLF1/2-SMC5/6経路の造血制御機構解明と治療応用	蝶名林 和久	血液内科	1,690,000	補	文部科学省

臍帯血移植の移植後中長期合併症に対する国際標準予測アルゴリズムの確立	諫田 淳也	血液内科	1,560,000	補	文部科学省
末梢性T細胞性リンパ腫に対する新規Bispecific T cell engagerの開発	島津 裕	先端医療研究開発機構 次世代医療・iPS細胞治療研究センター	1,820,000	補	文部科学省
全身性自己免疫疾患における血漿中ホスホリパーゼD4のバイオマーカーとしての臨床応用	秋月 修治	免疫・膠原病内科	1,040,000	補	文部科学省
関節リウマチにおける末梢血単核細胞の多様性と治療成績の関連	藤井 貴之	リウマチセンター	1,820,000	補	文部科学省
新規治療法を目指した細胆管細胞癌の臨床病理学解析およびゲノム解析による統合解析	石井 隆道	肝胆膵・移植外科	1,950,000	補	文部科学省
肝切除後門脈血流刺激に対する内皮細胞応答の解析と肝線維化に伴う内皮機能障害の修復	小木曾 聡	肝胆膵・移植外科	1,950,000	補	文部科学省
iPS細胞由来成熟化心筋グラフト移植における電気生理学的同期に関する研究	武田 崇秀	心臓血管外科	1,430,000	補	文部科学省
腸内細菌叢による活性硫黄分子種産生に着目したICU-AWに対する予防法の開発	甲斐 慎一	麻酔科	1,820,000	補	文部科学省
ICU-AW予防薬としてのβ遮断薬の有効性の証明	瀬尾 英哉	麻酔科	1,430,000	補	文部科学省
血管柄付誘導生体膜を併用した凍結処理骨による骨再建法の開発	野口 貴志	整形外科	2,210,000	補	文部科学省
優れた抗菌性を有する脊椎インプラントの開発	大槻 文悟	整形外科	1,170,000	補	文部科学省
変形性膝関節症予防の最適解に導く新世代半月板治療診断ツール開発	栗山 新一	整形外科	1,430,000	補	文部科学省
レトロウイルス関連がん遺伝子を標的とする尿路上皮癌サブタイプ別個別化治療の開発	齊藤 亮一	泌尿器科	2,080,000	補	文部科学省
卵丘細胞のメタボロームに着目したSLEの病態に即した胚培養系の開発	奥宮 明日香	産科婦人科	1,690,000	補	文部科学省
前期破水の治療を目指す:プロスタグランジンの観点から	高倉 賢人	産科婦人科	1,820,000	補	文部科学省
婦人科がんにおける3次リンパ様構造(TLS)の解明と新たな治療開発の基礎的検討	濱西 潤三	産科婦人科	1,820,000	補	文部科学省

婦人科がん患者のQOLや治療成績に関わる食事と腸内細菌叢・代謝物の探索的研究	山口 建	産科婦人科	1,040,000	補	文部科学省
空間トランスクリプトーム解析による蝸牛平面極性形成メカニズムの解析	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	文部科学省
多角的アプローチによるパキコロイド疾患と加齢黄斑変性の病態解明	三宅 正裕	眼科	1,430,000	補	文部科学省
補償光学適用光干渉断層計を用いた加齢黄斑変性とパキコロイド関連疾患の病態解明	大音 壮太郎	眼科	1,690,000	補	文部科学省
EYS遺伝子異常を有する疾患特異的iPS細胞を用いた網膜色素変性の病態解明	岩井 祥子	眼科	1,560,000	補	文部科学省
高齢者施設における感染症の疾病負荷ならびに集団感染リスク因子に関する前向き研究	長尾 美紀	臨床病態検査学	1,040,000	補	文部科学省
環境要因を用いた精神疾患の発症・増悪予測モデルの構築	西村 勉	先端医療研究開発機構 臨床研究支援部	3,120,000	補	文部科学省
産後うつ病の予防を目指した次世代骨格筋電気刺激(EMS)の有用性検証	江川 美保	産科婦人科	3,640,000	補	文部科学省
人工股関節全置換術後の健康関連QOLに関する予後予測モデルの開発と臨床応用	河野 拓巳	リハビリテーション部	2,600,000	補	文部科学省
ヒトiPS細胞から作成した皮下・内臓脂肪を用いた栄養・代謝疾患の病態解明と治療応用	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補	文部科学省
胎児発育不全に伴う認知機能障害の病態解明と新たな予防戦略の開発	友滝 清一	小児科	1,170,000	補	文部科学省
エンドサイトーシス経路における積荷分子の選別機構の再解明	伊藤 志帆	生体環境応答学講座(産学共同)	1,820,000	補	文部科学省
ヒストンアセチル化修飾機構阻害薬における血液毒性軽減を目指した毒性メカニズム解析	今吉 菜月	薬剤部	1,820,000	補	文部科学省
ドライバー遺伝子変異陽性肺癌における治療初期生存の病態解明と臨床応用	味水 瞳	呼吸器内科	1,040,000	補	文部科学省
大腸癌におけるTHBS1を標的とした新規転移抑制治療法の開発	尾松 万悠紀	消化器内科	1,560,000	補	文部科学省
リキッドバイオプシーによる再発神経芽腫のクローン進化の解明とバイオマーカーの探索	窪田 博仁	小児科	1,560,000	補	文部科学省

がん悪液質における肝での蛋白合成低下機序の解明と治療標的の探索	采野 優	緩和医療科	2,210,000	補	文部科学省
膵癌遺伝子治療法の開発～CRISPR/Cas9によるBRG1KOの有効性の検討	丸野 貴久	先制医療・生活習慣病研究センター	2,860,000	補	文部科学省
前駆期パーキンソン病における末梢病態の解明	田口 智之	脳神経内科	1,040,000	補	文部科学省
中枢神経変性病態におけるミクログリアの機能制御	木村 公俊	脳神経内科	2,210,000	補	文部科学省
経頭蓋直流電気刺激による術後せん妄予防効果の検証	稲葉 啓通	精神科神経科(精神医学)	3,640,000	補	文部科学省
運動主体感のプライミング効果による統合失調症における自我障害の神経基盤の解明	戴 キ	精神科神経科(精神医学)	1,300,000	補	文部科学省
慢性疼痛における[18F]FTC-146 PET/MRIの有用性についての検討	中本 隆介	先制医療・生活習慣病研究センター	2,600,000	補	文部科学省
乳癌手術後放射線療法における内胸リンパ節領域を含む対象症例と至適線量の確立	小野 幸果	放射線治療科	1,300,000	補	文部科学省
敵対的生成ネットワークを用いた脳MRI画像から脳血流SPECT画像の生成	奥知 左智	先制医療・生活習慣病研究センター	2,210,000	補	文部科学省
人工知能に基づく仮想放射線治療計画者の基盤開発	平島 英明	放射線治療科	1,170,000	補	文部科学省
精密医療の実現に資する次世代クラウド型遠隔転移予測システムの開発	足立 孝則	放射線治療科	1,560,000	補	文部科学省
慢性肉芽腫症における自己炎症病態の病態解析	仁平 寛士	小児科	2,340,000	補	文部科学省
小児免疫疾患における新規自己抗原探索とバイオマーカー開発	前田 由可子	小児科	1,560,000	補	文部科学省
異なる経路での腸腫瘍発生におけるクロマチンリモデリング因子の機能的役割の解明	林 由紀子 (平松由紀子)	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
全ゲノム変異解析を用いた多段階肝発癌機序解明と新規バイオマーカー開発	竹田 治彦	消化器内科	2,340,000	補	文部科学省
大腸鋸歯状病変におけるコレステロール代謝経路による発癌制御機構の解明	牟田 優	消化器内科	2,340,000	補	文部科学省

非侵襲的な冠微小循環障害を含む心筋血流 定量評価法の検討	中妻 賢志	循環器内科	1,300,000	補	文部科学省
好中球のエネルギー代謝機構を標的とした呼吸器疾患新規治療戦略の開発	中塚 賀也	呼吸器内科	1,690,000	補	文部科学省
高血圧による腎障害におけるポドサイトのCTGFの役割の解明	杉岡 清香	腎臓内科	2,860,000	補	文部科学省
老化関連T細胞を標的とした腎三次リンパ組織の治療法の開発	好川 貴久	腎臓内科	2,730,000	補	文部科学省
重症薬疹におけるTNF α の病態形成への関与機序の解明と新規治療標的の同定	三宅 俊哉	皮膚科	1,170,000	補	文部科学省
因果推論手法を用いた細胞療法の最適化アルゴリズムの開発	城 友泰	検査部	1,950,000	補	文部科学省
特発性炎症性筋疾患の抗Jo-1抗体産生におけるHLAクラスII分子の機能解析	辻 英輝	免疫・膠原病内科	1,170,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデスの病型であるループス腸炎の新規自己抗体の同定	白柏 魅怜	免疫・膠原病内科	2,340,000	補	文部科学省
新規メタゲノム解析法による糞便中の薬剤耐性大腸菌クローンのポピュレーション解析	津田 裕介	検査部	1,430,000	補	文部科学省
GIPシグナルを介する糖・エネルギー代謝調節の機序解明	池口 絵理	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,340,000	補	文部科学省
The Role of CA8 in Hepatic Glucose Production and Its Prospect as Type 2 Diabetes Mellitus Treatment	FAUZI MUHAMMAD	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,080,000	補	文部科学省
ドナー不顕性肝線維化にもとづく移植後グラフト機能不全の予測-個別化治療に向けて	平尾 浩史	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省
心停止肝移植のグラフト機能向上を目的とする新たな臓器灌流保存法の開発研究	奥村 晋也	肝胆膵・移植外科	910,000	補	文部科学省
マウス肝移植モデルを用いた増加するレシピエントの肥満によるリスクとその克服	門野 賢太郎	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省
腸内細菌叢が肝移植に果たす役割の解明とその治療応用	小島 秀信	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
肝癌微小環境における癌関連線維芽細胞を標的とした新たな肝癌治療戦略の探求	西尾 太宏	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省

肝内胆管癌における糖代謝に着目した腫瘍免疫制御の機序解明と治療応用	楊 知明	肝胆膵・移植外科	2,210,000	補	文部科学省
小児心臓外科手術中の深部体温と酸素消費量との関連	木村 聡	麻酔科	2,600,000	補	文部科学省
7T MRIを用いた遅発性低酸素白質脳症の病態および高気圧酸素治療の有効性評価	陣上 直人	初期診療・救急医学	2,080,000	補	文部科学省
メカノセンサー遺伝子Piezo1の椎間板における作用の解明と治療応用	菌 隆	整形外科	1,300,000	補	文部科学省
間葉系幹細胞と軟骨細胞死抑制薬の局所投与による疼痛改善と軟骨保護作用の解析	森田 侑吾	整形外科	1,560,000	補	文部科学省
遺伝子改変・オミックス解析を用いた肉腫における細胞周期・脂質代謝相互作用の解明	竹内 康英	病理診断科	1,820,000	補	文部科学省
細胞周期と免疫チェックポイントの相乗効果に着目した尿路上皮癌の新規治療薬の探索	村上 薫	泌尿器科	2,470,000	補	文部科学省
遺伝子プロファイルに基づく根治切除不能甲状腺癌におけるレパチブの治療効果予測法の開発	鈴木 千晶	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	910,000	補	文部科学省
可食蛍光体と励起光を利用した新しい定量的な嚥下後咽頭残留量計測法の開発	本多 啓吾	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	文部科学省
ヒト生体における網膜神経節細胞障害のメカニズムの解明	中野 絵梨	眼科	390,000	補	文部科学省
糖尿病網膜症の横断的・縦断的フェノタイプと関連する因子の解明	森 雄貴	眼科	1,170,000	補	文部科学省
ヒトの子宮内における脳の形態形成および顔面発達に与える影響の解析	勝部 元紀	形成外科	1,950,000	補	文部科学省
食道癌診療におけるエビデンス診療ギャップの悉皆的実態調査	坂本 享史	消化管外科	1,170,000	補	文部科学省
研究計画書における倫理的指摘事項の網羅的解析と倫理審査視点の分析	森 拓也	倫理支援部	1,950,000	補	文部科学省
診療情報明細書を用いた消化器がん患者の診療実態の解明	内海 貴裕	消化器内科	1,820,000	補	文部科学省
抗てんかん薬使用女性の最適な周産期葉酸処方量	池田 靖子	先端医療研究開発機構 臨床研究支援部	2,600,000	補	文部科学省

神経膠腫患者の機能予後に関する調査研究 -高次脳機能に着目して-	山脇 理恵	リハビリテーション部	1,950,000	補	文部科学省
胎児期に獲得したインスリン抵抗性は将来のメタボリックシンドロームの原因となるか	荒木 亮佑	小児科	1,820,000	補	文部科学省
感情調節メカニズムの解明とうつ病の早期発見方法の提案	姚 力暢	精神科神経科(精神医学)	1,560,000	補	文部科学省
医療環境における行動トレーサビリティ向上とその医療への寄与	岸本 和昌	医療情報企画部	1,560,000	補	文部科学省
スマートフォンを利用した非接触型呼吸モニタリング手法の開発	福山 啓太	医療情報企画部	1,950,000	補	文部科学省
脳動脈瘤破裂におけるマイクロRNA-33の役割と阻害薬による破裂抑制の可能性	池堂 太一	脳神経外科	1,820,000	補	文部科学省
地域コホートと深層学習による老年症候群予防に資する個別化栄養療法の確立	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,680,000	補	文部科学省
患者協働推進を目的とした全国診断エラー患者調査及び日米比較研究	和足 孝之	総合臨床教育・研修センター	2,730,000	補	文部科学省
リアルワールドデータの研究活用から薬事承認申請活用への発展	萩原 宏美	先端医療研究開発機構 臨床研究支援部	1,170,000	補	文部科学省
オルガネラ間コミュニケーションから捉える腎疾患の病態解明	長谷川 頌	腎臓内科	1,560,000	補	文部科学省
冬眠様状態が敗血症に与える影響に関する検討	大鶴 繁	初期診療・救急医学	4,680,000	補	文部科学省
自然免疫老化が及ぼす血管リモデリングへの影響の探索	畑 匡侑	眼科	1,950,000	補	文部科学省
安全で高品質な放射線治療の未来を拓く臓器位置照合の自動化	岸上 祐加子	放射線治療科	1,430,000	補	文部科学省
医療ビッグデータを用いたTriple Whammyの代替薬検討	國津 侑貴	薬剤部	1,430,000	補	文部科学省
ヒト腎3次リンパ組織の維持形成に寄与するT細胞の探索と新規抗体創出	谷口 圭祐	腎臓内科	1,430,000	補	文部科学省
HIV-1感染による免疫系リモデリングを介した老化促進機構の解明	松井 宏行	血液内科	1,430,000	補	文部科学省

ニコチンアミド-N-メチル基転移酵素に依存的ながん悪液質の進展メカニズムの解明	水野 林	産科婦人科	1,430,000	補	文部科学省
血中遊離DNAの経時的メチル化解析に基づく去勢抵抗性前立腺癌の新規治療戦略の開発	水野 桂	泌尿器科	1,040,000	補	文部科学省
Brain age AIの新規開発とうつ病への応用	久良木 悠介	精神科神経科(精神医学)	1,040,000	補	文部科学省
心不全におけるシングルセルレベルでのマイクロRNAの発現解析と治療薬の開発	辻坂 勇太	循環器内科	1,820,000	補	文部科学省
PET/MRを基軸とする局所進行子宮頸癌小線源治療基盤の創出	平岡 伸也	放射線治療科	1,430,000	補	文部科学省
早期介入を目指したpre-COPDの機能形態学的な病態解明	白石 祐介	呼吸器内科	1,430,000	補	文部科学省
Exploring the pathogenic mechanisms of inherited cardiomyopathy due to LMNA mutations using iPSC models	HUANG HAI	循環器内科	1,430,000	補	文部科学省
EGFR活性型変異を有する固形がんに対する臓器横断的な治療開発	近藤 知大	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,430,000	補	文部科学省
代謝物を介した褐色脂肪組織の分化制御機構の解明ならびに糖尿病・肥満症への治療応用	南野 寛人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補	文部科学省
長時間体外肺灌流における最適灌流方法の確立	坂之上 一郎	呼吸器外科	1,170,000	補	文部科学省
もやもや病における脳室周囲吻合診断のための最適な画像モダリティの解明	千原 英夫	脳神経外科	650,000	補	文部科学省
近位尿細管グルコース応答から解明する糖尿病性腎症における栄養素感知機構	今泉 俊則	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補	文部科学省
ヒト脳病態における興奮・抑制(E/I)バランスの生理指標の研究開発	松本 理器	脳神経内科	2,340,000	補	文部科学省
低侵襲電気刺激による脳機能ネットワークマッピング法の開発と機能可塑性予測への応用	松本 理器	脳神経内科	5,200,000	補	文部科学省
皮質脳波コネクトーム解析による脳内言語表現の同定と脳切除後の可塑的再構築の解明	松本 理器	脳神経内科	4,420,000	補	文部科学省
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究	宮本 享	脳神経外科	4,500,000	補	厚生労働省

患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状課題の把握とその解決に向けた調査研究	寺田 智祐	薬剤部	8,100,000	補	厚生労働省
地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制における入院医療による支援のための研究	村井 俊哉	精神科神経科	2,592,000	補	厚生労働省
リアルワールドデータの二次利用加速にむけた多施設データ処理方式の導入の試行研究	黒田 知宏	医療情報企画部	6,240,000	補	厚生労働省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	平井 豊博	呼吸器内科	15,080,000	補	厚生労働省
指定難病患者データベース・小児慢性特定疾病児童等データベースと各種公的データベースの連結手法および連結データ利活用法の検討	森 由希子	医療情報企画部	11,000,000	補	厚生労働省
高機能シス型アスタキサンチンエステル製剤の実用化研究／研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム／井上正宏	井上 正宏	臨床バイオリソース研究開発講座	1,820,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
インドネシアでの、てんかん診療の質向上をめざしたデジタル脳波のワイドバンド成分の記録解析普及の実装研究／AMED／池田昭夫／令和6年度繰越分	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	10,530,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
末梢神経損傷に対する同種臍帯由来間葉系細胞を用いた三次元神経導管移植治療法の開発／AMED／池口良輔	池口 良輔	リハビリテーション科	39,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
末梢神経損傷に対する同種臍帯由来間葉系細胞を用いた三次元神経導管移植治療法の開発／AMED／池口良輔	池口 良輔	リハビリテーション科	10,400,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
D-1 医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現／国立大学法人東京大学(国立国際医療研究センター再委託)／黒田 知宏／SIP事業、代表:河添班	黒田 知宏	医療情報企画部	53,141,000	委	国立大学法人東京大学
差分プライバシーによる匿名加工後の医療情報の有用性の検証／戦略的創造研究推進事業 チーム型研究(CREST)／森由希子	森 由希子	医療情報企画部	13,000,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
皮膚科領域LMM構築と社会実装への挑戦／黒田知宏／代表:愛媛大学(国立国際医療研究センターSIP再委託)	黒田 知宏	医療情報企画部	1,950,000	委	国立大学法人愛媛大学 学長
ステロイド全身療法により効果不十分であったスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法／AMED再委託・新潟大学(阿部)／中島沙恵子	中島 沙恵子	炎症性皮膚疾患創薬講座	2,600,000	委	国立大学法人 新潟大学
アレルギー関連パスウェイの遺伝子解析を通じた重症アレルギー疾患の病態解明／中島沙恵子／AMED／代表:国立成育医療センター・森田班	中島 沙恵子	炎症性皮膚疾患創薬講座	650,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植／AMED／波多野悦朗／代表:熊本大学・日比班	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	3,250,000	委	国立大学法人熊本大学
切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植／AMED／波多野悦朗／代表:熊本大学・日比班	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	84,467	委	国立大学法人熊本大学

医療機器開発におけるカダバースタディーに関するガイドンス策定/分担課題名:日本外科学会CST推進委員会との調整/波多野悦朗/代表:北海道大学・七戸班 ※令和5年度課題番号誤り:・23he0822002s0101	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	260,000	委	国立大学法人北海道大学 大学院医学研究院 院長
細胞治療及び遺伝子治療を含む広範な再生医療研究の社会実装加速化に資する伴走支援/AMED/波多野悦朗→妹尾浩(2025年度)	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	130,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-03) 分担研究課題名:肝胆膵がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究/国立がん研究センター 研究開発費/波多野 悦朗/金光 幸秀班	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	500,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
視点反応・眼球運動のデジタルフェノタイプを活用した軽度認知機能異常スクリーニングプログラムの研究開発/AMED/三宅 正裕	三宅 正裕	眼科	66,800,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対するレーザー照射エネルギー減量光線力学的療法の有効性及び安全性を検証する医師主導治験/AMED/三宅 正裕	三宅 正裕	眼科	71,184,673	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
神経-免疫ネットワーク変容と光センシング機構破綻の修復に資する自然免疫記憶を用いた難治性視覚障害に対する革新的治療の開発/AMED/畑 匡侑	畑 匡侑	眼科	16,120,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ダチョウ頸動脈由来脱細胞化小口径人工血管の臨床評価準備/山中 浩気/AMED	山中 浩気	形成外科	19,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
先天性巨大色素性母斑の完全切除を目標としたScaffold-free自家培養真皮の研究開発	森本 尚樹	形成外科	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発/AMED(再委託)/田畑泰彦(代表:北野病院・高橋班)	田畑 泰彦	形成外科	1,105,000	委	公益財団法人田附興風会 理事長
ダチョウ頸動脈由来脱細胞化小口径人工血管の臨床評価準備/山中 浩気/AMED	山中 浩気	形成外科	2,647,970	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
カチオン化ハイドロゲルを用いたイヌ間葉系幹細胞由来エクソソーム徐放剤の開発/JST/田畑 泰彦	田畑 泰彦	形成外科	500,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
ヒト脂肪細胞を用いた人工乳腺組織に関する基礎研究/ 国立大学法人大阪大学、TOPPANホールディングス株式会社/森本 尚樹	森本 尚樹	形成外科	1,300,000	委	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 科長
乾燥化小口径脱細胞人工血管の滅菌バリデーションと前臨床評価/山中 浩気/AMED/代表:国立循環器病センター・馬原班	山中 浩気	形成外科	3,900,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
機能強化型肝臓オルガノイドを用いたUTOpiAシステムの開発/AMED/田畑 泰彦/代表:大阪大学・武部班	田畑 泰彦	形成外科	15,600,000	委	大阪大学
高圧殺細胞装置を用いた骨悪性、良性、良・悪性境界領域腫瘍に対する新規自家処理骨再建治療に関する研究開発/AMED/森本 尚樹	森本 尚樹	形成外科	14,859,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
CAR-T細胞療法抵抗性・耐性におけるリンパ腫組織内細胞間クロストークの時空間的解明と新規治療開発/AMED/北脇 年雄/代表:岡山大学・遠西班	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	650,000	委	国立大学法人 岡山大学

同種造血幹細胞移植における微小残存病変評価と GVHD 予測のためのバイオマーカーの開発/検証、および多階層データの統合解析による予後予測法の確立/AMED/諫田淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	14,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
アグレッシブNK 細胞白血病(ANKL)患者を対象にPPMX-T003反復持続静脈内投与時の忍容性、安全性、有効性及び薬物動態を評価する多施設共同、非盲検、用量漸増第I/II相試験/広島大学/諫田 淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	2,200,000	委	国立大学法人広島大学 学長
希少造血器腫瘍に対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Project:NCCH-1812) 諫田淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	1,525,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
希少造血器腫瘍に対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Project:NCCH-1812) 諫田淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	225,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
経済安全保障重要技術育成プログラム/有事に備えた止血剤製造技術の開発・実証/汎用性の高い人工血小板の開発/NEDO/諫田 淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	871,000	委	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長
日米医学協力計画を基軸としたHIV感染症制圧に関する研究/AMED/高折 晃史	高折 晃史	血液内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
造血器腫瘍臨床におけるクリニカルWGSのfeasibilityと有用性の検討/AMED/高折 晃史/代表:九州大学・前田班	高折 晃史	血液内科	520,000	委	国立大学法人九州大学 学長
(HIV感染者等保健福祉相談事業) HIV感染者等保健福祉相談事業	高折 晃史	血液内科	675,000	委	公益財団法人エイズ 予防財団 理事長
末梢血循環non-coding RNAを用いた白血病早期診断法・微小病変評価法の開発/AMED/阪本 貴士	阪本 貴士	血液内科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
日米医学協力計画を基軸としたアジア地域にまん延している急性呼吸器感染症に関する研究/AMED/長尾 美紀	長尾 美紀	検査部	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
再発・難治性悪性リンパ腫に対するpiggyBacトランスポゾン法によるCD19 キメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞の安全性及び有効性に関する第1/2 相医師主導治験/AMED再委託/新井康之/名古屋大学	新井 康之	検査部	1,300,000	委	国立大学法人東海国立 大学機構 機構長
「FLT3 遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者において、ギルテリチニブが同種造血幹細胞・・・/一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会/新井 康之	新井 康之	検査部	365,200	委	公益財団法人神戸医療 産業都市推進機構
パンデミックに対してレジリエントな社会・技術基盤の構築/分担課題名:感染症の流行に強い高齢者福祉・医療の構築に関する基盤研究/JST/長尾美紀	長尾 美紀	検査部	7,334,600	委	国立研究開発法人科学 技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
再発又は難治性のCD19陽性B細胞性急性リンパ芽球性白血病に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞IPCAR019の第I/II相医師主導治験/AMED再委託/新井康之/名古屋大学・高橋班	新井 康之	検査部	1,300,000	委	国立大学法人東海国立 大学機構 機構長
多剤耐性菌感染症の実態を明らかにする多施設研究ネットワーク	松村 康史	検査部	2,540,000	委	国立研究開発法人国立 国際医療研究センター 理事長
薬剤耐性菌の超高精度網羅的解析とその手法の開発/AMED/津田裕介	津田 裕介	検査部	1,560,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

疾患特異的iPS細胞を用いた病態機序解析による特発性間質性肺炎の層別化と創薬システムの開発/AMED/平井 豊博	平井 豊博	呼吸器内科	39,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	4,000	委	国立大学法人東海国立 大学機構 機構長
再発または転移性の日本人腎細胞がん患者の予後に影響する背景因子を検討することを目的とした研究/特定非営利活動法人Japan PH Registry/半田 知宏	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	11,000	委	特定非営利活動法人 Japan PH Registry
ヘルスケアで用いるうつ、不安と月経前症候群のPRO指標のエビデンスの整理と開発/AMED/江川美保/代表:国立大学法人千葉大学・沼田法子	江川 美保	産科婦人科	2,210,000	委	国立大学法人千葉大学 契約担当役 事務局長
チタンブリッジ手術を用いた痙攣性発声障害に対する国際的新規治療戦略の開発/大森孝一/AMED再委託(名古屋市立大学・讃岐徹治 代表)	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	委	公立大学法人名古屋 市立大学 理事長
一側性聴覚障害の評価手法の標準化と社会参加を促進する手法に関する研究開発/AMED/山崎 博司/代表:名古屋大学・吉田班	山崎 博司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	委	国立大学法人東海国立 大学機構 機構長
がん全ゲノム解析等による実践的個別化医療体系構築と拡充をめざした多施設共同研究/AMED/武藤 学/代表:国立がん研究センター 角南班	武藤 学	腫瘍内科	19,500,000	委	国立研究開発法人国立 がん研究センター 理事長
難治性食道がんの治療前生検を用いたサブタイプ分類に基づくPrecision Medicineに資する体外診断薬の開発/AMED/武藤 学	武藤 学	腫瘍内科	19,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
BRAF融合遺伝子陽性の進行・再発の低悪性度神経膠腫または膝癌に対するビメチニブの第Ⅱ相医師主導治験/国立がん研究センター/松原 淳一	吉岡 正博	腫瘍内科	1,320,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
がん診療の質の向上と研究開発に資するリアルワールドデータプラットフォーム開発/AMED/武藤 学	武藤 学	腫瘍内科	107,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク利活用促進に関する研究開発/AMED/武藤 学/代表:東北大学・萩島班	武藤 学	腫瘍内科	3,900,000	委	国立大学法人東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTERKEY Project)	武藤 学	腫瘍内科	7,305,000	委	国立研究開発法人国立 がん研究センター 理事長
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTERKEY Project)	武藤 学	腫瘍内科	1,845,000	委	国立研究開発法人国立 がん研究センター 理事長
血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第Ⅱ相試験/愛知県がんセンター/武藤 学	武藤 学	腫瘍内科	1,000,000	委	愛知県がんセンター
頬粘膜スワブによる食道発がんリスク層別化モデルの開発/AMED/横山 顕礼	横山 顕礼	腫瘍内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
カテコラミン依存状態の重症心不全に対する新規治療薬の開発/AMED/尾野 亘	尾野 亘	循環器内科	78,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

コレステロール応答性長鎖非コードRNAの機能解析と臨床応用／堀江 貴裕	堀江 貴裕	循環器内科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
冠動脈ステント留置後の外科手術周術期におけるアスピリン継続の有用性を検証する多施設ランダム化比較試験／塩見 紘樹	塩見 紘樹	循環器内科	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
静脈血栓塞栓症における遺伝・画像情報を含めたマルチオミクスデータベース構築を通じた精緻な予後予測スコアの創出による精密医療の実現を目指す研究開発／AMED／山下 侑吾	山下 侑吾	循環器内科	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究／国立病院機構京都医療センター／尾野 亘	尾野 亘	循環器内科	2,000,000	委	独立行政法人国立病院機構京都医療センター 院長
革新的核酸医薬技術を基盤とした神経・筋難病治療薬の開発／AMED／尾野 亘／代表:大阪大学・小比賀班	尾野 亘	循環器内科	27,300,000	委	国立大学法人大阪大学大学院薬学研究科 研究科長
心不全状態及び心不全増悪の早期発見、早期介入に関するデータベース構築研究／国立循環器病研究センター／渡邊 真	渡邊 真	循環器内科	385,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
非コードRNAの心血管代謝性疾患における機能解明と臨床応用の検討／国立研究開発法人科学技術振興機構 創発的研究支援事業／堀江 貴裕	堀江 貴裕	循環器内科	2,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
非侵襲遠隔モニタリングによる心不全増悪の早期探知アルゴリズム構築のための多機関協働プラットフォーム開発と統合AIモデルの作成および実用化に向けたPHR情報統合基盤の構築／AMED／尾野 亘／代表:国立循環器病研究センター・泉班	尾野 亘	循環器内科	6,500	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体測定による、小児期の潰瘍性大腸炎における病勢評価のエビデンス創出とクローン病の層別化に向けた探索研究	日衛嶋 栄太郎	小児科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究／AMED再委託／平松 英文／代表:国立成育医療研究センター・富澤大輔	平松 英文	小児科	1,950,000	委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長
小児およびAYA世代の再発急性リンパ性白血病に対するイノズマブ・オゾガマイシンとhyper-mini-CVDの併用療法の有効性・安全性を検討する第I相試験と疾患レジストリ構築／AMED再委託 三重大学(豊田)／加藤格	加藤 格	小児科	1,040,000	委	国立大学法人 三重大学 学長
小児がんの全ゲノム解析等のデータ基盤の充実と診療応用に資する成果の創出／AMED／滝田順子／代表:東京大学・加藤班	滝田 順子	小児科	780,000	委	国立大学法人東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
小児から成人を対象にする臨床試験による T 細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用限界年齢の検討と新規バイオマーカー探索に関する研究／分担課題名:小児T-ALLの遺伝子解／AMED／滝田順子／代表:千葉大学・堺田班	滝田 順子	小児科	130,000	委	国立大学法人千葉大学 契約担当役 事務局 局長
小児および若年成人の造血管腫瘍に対する同種造血細胞移植における移植後シクロホスファミドを用いた移植片対宿主病予防の確立に関する研究／梅田 雄嗣／国立成育・坂口班	梅田 雄嗣	小児科	260,000	委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長
小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究／AMED再委託／平松 英文／代表:国立成育医療研究センター・富澤大輔	平松 英文	小児科	650,000	委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長
小児から成人を対象にする臨床試験による T 細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用限界年齢の検討と新規バイオマーカー探索に関する研究／分担課題名:小児T-ALLの遺伝子解／AMED／滝田順子／代表:千葉大学・堺田班	滝田 順子	小児科	6,500,000	委	国立大学法人千葉大学 契約担当役 事務局 局長

The clinical trial of the novel induction therapy by low-dose cytarabine and blinatumomab for relapse/refractory ALL and invest	加藤 格	小児科	8,752,276	委	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ
移植登録一元管理プログラムおよび二次調査を用いた小児造血細胞移植における類洞閉塞症候群の予防・診断・治療に関する後方視的解析/国立研究開発法人国立成育医療研究センター/滝田 順子	滝田 順子	小児科	750,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
再発小児がんの多様性に立脚した新規克服法の開発 /AMED/滝田 順子	滝田 順子	小児科	29,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腫瘍の不均一性およびゲノム3次元構造の視点から見た乳児急性リンパ性白血病の理解と治療法に関する研究開発/AMED/加藤 格/東京医科歯科大学・高木班	加藤 格	小児科	975,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学 学長
初発の中間リスク急性リンパ芽球性白血病を有する0から24才の被験者を対象に標準的な強化療法とブリナツモマブを追加した強化療法の有効性と安全性を比較するオープンラベル、ランダム化、第2相、2群試験/独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター/加藤 格	加藤 格	小児科	440,000	委	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 院長
臨床病期I-IVA(T4を除く)胸部上中部食道扁平上皮癌に対する予防的鎖骨上リンパ節郭清省略に関するランダム化比較試験/AMED再委託(静岡県立静岡がんセンター・坪佐班)/角田 茂	角田 茂	消化管外科	3,055,000	委	静岡県立静岡がんセンター 局長
患者由来がん幹細胞培養を基盤とした革新的個別化医療開発/AMED/小瀨 和貴	小瀨 和貴	消化管外科	95,654,200	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
新規吸着カラムの開発/AMED/塩川 雅広	塩川 雅広	消化器内科	78,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
潰瘍性大腸炎特異的な治療薬の開発/AMED/塩川 雅広	塩川 雅広	消化器内科	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
次世代シーケンス技術を基盤としたC型肝炎ウイルス排除後における肝癌出現機序・病態変化の解明とバイオマーカーの開発/分担研究開発課題名:SVR後発癌症例におけるHCVゲノム解析/AMED/高井 淳/山梨大学・榎本 信幸班	高井 淳	消化器内科	910,000	委	国立大学法人山梨大学
RECKをエフェクターとした新規膵癌治療法の開発/福田 晃久/AMED	福田 晃久	消化器内科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
患者生体試料リソースプラットフォームの構築と運用/ムーンショット型研究開発事業/妹尾 浩	妹尾 浩	消化器内科	60,999,900	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
肝外胆道がん、胆嚢がんの自然史に沿った網羅的解析と治療標的の検討/AMED/妹尾 浩	妹尾 浩	消化器内科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
自己抗体同定法の確立と新規自己抗体の同定/AMED/塩川 雅広	塩川 雅広	消化器内科	119,840,090	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ヒト腎臓病における3次リンパ組織の役割の解明と治療介入対象としての蓋然性の検討/AMED/柳田 素子	柳田 素子	腎臓内科	10,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導治験の実施/AMED/柳田 素子/代表:名古屋大学・丸山班	柳田 素子	腎臓内科	1,690,000	委	国立大学法人東海国立大学機構 機構長

炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現/分担研究開発課題名:高齢腎の微小環境と炎症誘発細胞を標的とした治療薬の開発/柳田素子/東京大学・中西班/ムーンショット	柳田 素子	腎臓内科	80,600,000	委	国立大学法人東京大学 総長 代理人 医科学研究所 事務部長
三次リンパ組織を標的とした腎臓病治療法および診断法の開発/柳田素子	柳田 素子	腎臓内科	170,560,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腎臓病において組織障害と修復を制御する微小環境の解明と医学応用/AMED/柳田素子	柳田 素子	腎臓内科	67,126,806	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
人工骨単独で固定可能な高精度かつ低侵襲な次世代膝周囲骨切り術 用インプラント開発/AMED橋渡しプログラム/栗山新一	栗山 新一	整形外科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
同種iPS細胞由来板状軟骨組織による広範囲関節軟骨損傷の再生治療法開発/AMED/松田 秀一/大阪大学・妻木班/橋渡し研究プログラム(令和5年度は無償)	松田 秀一	整形外科	585,000	委	国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科長
変形性膝関節症の個別化治療実現のための下肢筋骨格シミュレータの開発/AMED/松田 秀一	松田 秀一	整形外科	4,452,500	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
マイレジストリの縦断データを活用した新規治療法開発と薬事承認の実現/AMED再委託/村井俊哉/代表:NCNP・竹田班	村井 俊哉	精神医学	1,950,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
アディクションの病態・症候・治療に関する包括的研究/精神・神経疾患研究開発費(代表:精神保健研究所・松本俊彦)/村井俊哉	村井 俊哉	精神医学	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
アルコール依存とゲーム行動症の早期発見、発症予防、実効的治療評価指標の開発:視聴覚刺激を用いた縦断的研究/鄭 志誠/AMED/代表:東京医科歯科大学・藤野班	鄭 志誠	精神科神経科	390,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学 学長
統合失調症の認知機能障害の新規スクリーニング質問票に関する調査研究/久保田 学	久保田 学	精神科神経科	2,145,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
拡散MRIを用いた新規がんトランススケールイメージング法の開発/野橋 智美/AMED/代表:名大・飯間班	野橋 智美	先制医療・生活習慣病研究センター	10,322,000	委	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
CD8 PETを用いた癌免疫療法個別化医療システムの開発/野橋 智美/AMED	野橋 智美	先制医療・生活習慣病研究センター	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「健康管理システムの構築と先制医療の実現に向けたDWH(Data Warehouse)の構築、運用、情報解析手法の開発」/山本 豪志朗	山本 豪志朗	先制医療・生活習慣病研究センター	32,050,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「生活習慣と合併症の発症・進展要因と予防戦略構築に関する研究」	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	118,343,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「放射線画像診断データを用いた早期発見・早期治療に向けた疾患メカニズムの解明および早期診断法の開発の研究」	磯田 裕義	先制医療・生活習慣病研究センター	96,849,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
心臓サルコイドーシス患者における診療の実態調査、および治療不応例・再発例に関する新規予測プログラムの開発と前向きレジストリによる検証/AMED/加藤貴雄→尾野亘(R6. 7/17~)/代表:国立循環器病研究センター・泉 知里班	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	455,000	委	国立循環器病研究センター 理事長

大規模言語モデルで構築する栄養指導記録構造化データベースを用いた糖尿病栄養指導エビデンス創出研究/池田 香織	池田 香織	先端医療研究開発機構	10,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
原発性免疫異常症患者を対象としたシロリムスの有効性及び安全性を検討する医師主導治験/AMED/井澤和司/R4からAMEDとの直接契約	井澤 和司	総合周産期母子医療センター	3,224,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
慢性膵炎等に対する膵全摘術に伴う自家膵島移植術の先進医療制度下多施設共同試験/分担研究開発課題名:自家膵島移植の臨床試験の申請承認と実施/穴澤 貴行/国立国際医療研究センター・霜田班	穴澤 貴行	臓器移植医療部	6,584,500	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長
神経変性疾患原因タンパク質の効率的な除去方法の探索/AMED/山門 穂高	山門 穂高	多系統萎縮症治療学講座(寄附)	8,998,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
多系統萎縮症霊長類モデルとミトコンドリア機能イメージングバイオマーカーの開発/AMED/上村 紀仁	上村 紀仁	多系統萎縮症治療学講座(寄附)	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
パーキンソン病前駆期モデル動物を活用した臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出/ムーンショット型研究開発事業/山門 穂高	山門 穂高	多系統萎縮症治療学講座(寄附)	44,200,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
レビー小体病モデルマウスの病態回路の解明と治療法の開発/AMED/上村 紀仁/代表:神戸学院大学・尾上班	上村 紀仁	多系統萎縮症治療学講座(寄附)	11,700,000	委	神戸学院大学 学長
アンチセンス核酸を用いたカルモジュリン遺伝子変異による重症遺伝性不整脈に対する治療薬の開発/AMED/牧山 武	牧山 武	地域医療システム学講座	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
遺伝性拡張型心筋症に対する新規抗体医薬品開発/AMED/牧山 武/代表:国立循環器病研究センター・新谷泰範	牧山 武	地域医療システム学講座	3,900,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
マトリセルラー蛋白を標的としたがん脆弱性誘導の試み/JST/創発的研究支援事業/中西 祐貴	中西 祐貴	地域医療システム学講座	9,100,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
核酸医薬を用いた、心筋症の予後を改善する新規抗不整脈治療法の開発/AMED/木下 秀之/代表:東京大学・稲住班	木下 秀之	地域医療システム学講座	2,600,000	委	国立大学法人東京大学
間質リッチ大腸がんに対する“微小環境改変免疫療法”の研究開発/AMED/中西 祐貴	中西 祐貴	地域医療システム学講座	40,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成/AMED/矢部 大介	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
((公財)糖尿病財団からの受託研究【10%】)2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DOIT3)【10%】	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	200,000	委	公益財団法人 日本糖尿病財団 理事長
実環境試料に基づく甲状腺ホルモン作用かく乱化学物質の同定・分級と複合的健康影響の評価法開発/環境研究総合推進費/山内 一郎	山内 一郎	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,550,000	委	京都府公立大学法人 理事長
糖尿病根治を目指したMYCLによるリプログラミングを介した膵島再生医療の開発/矢部 大介/東京大学・山田泰広班	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科	6,500,000	委	国立大学法人東京大学

がん細胞の熱エネルギー代謝－熱代謝治療法の開発－	川島 雅央	乳腺外科	13,390,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
がん細胞の熱エネルギー代謝－熱代謝治療法の開発－	川島 雅央	乳腺外科	13,390,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発/AMED/荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	19,497,400	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
神経膠腫に対するロムスチン療法とプロカルバジン、ロムスチン、ビンクリスチン併用療法に関する研究開発/AMED/荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	62,600,200	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
高齢者初発膠芽腫に対する分子分類に応じたテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究開発/AMED/荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	19,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
AI技術を使用した未破裂脳動脈瘤増大破裂予測システムの構築と実用化を目指した多施設共同研究/AMED/池堂 太一/代表: 国立循環器病研究センター・片山班	池堂 太一	脳神経外科	1,950,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 理事長
初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第I相試験(医師主導治験)/AMED/荒川 芳輝/東京大学→岡山大学(令和6年～)・田中將太班	荒川 芳輝	脳神経外科	260,000	委	国立大学法人 岡山大学 学長
造影病変全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究/AMED(再委託)/荒川芳輝(代表:山形大学・園田班)	荒川 芳輝	脳神経外科	260,000	委	国立大学法人山形大学 飯田キャンパス長
小児上衣腫に対する手術摘出度と分子学的マーカーを用いた治療層別化による集学的治療の安全性と有効性確立に向けた研究開発/AMED/荒川 芳輝/代表:東海国立大学機構・斎藤班	荒川 芳輝	脳神経外科	260,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構
可及的摘出されたIDH変異型星細胞腫に対する標準治療を確立する研究/AMED/荒川 芳輝/代表:神戸大学・村垣班	荒川 芳輝	脳神経外科	975,000	委	国立大学法人神戸大学 学長
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験/荒川芳輝/代表:神戸大学・村垣班/2022年9月1日から東京女子医科大(150220700049)→神戸大	荒川 芳輝	脳神経外科	500,000	委	神戸大学医学部附属病院 病院長
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験/荒川芳輝/代表:神戸大学・村垣班/2022年9月1日から東京女子医科大(150220700049)→神戸大	荒川 芳輝	脳神経外科	500,000	委	神戸大学医学部附属病院 病院長
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験/荒川芳輝/代表:神戸大学・村垣班/2022年9月1日から東京女子医科大(150220700049)→神戸大	荒川 芳輝	脳神経外科	500,000	委	神戸大学医学部附属病院 病院長
KUMADAIマグネシウムを用いた生体吸収性フローダイバーターに関する研究/AMED/千原 英夫(R6年度から石井暁先生より変更)	千原 英夫	脳神経外科	35,620,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
MRI画像によるアルツハイマー病コンピュータ支援診断プログラムの開発/AMED(再委託)/坂井千秋(代表:東北大学・舘脇班)	坂井 千秋	脳神経外科	6,500,000	委	国立大学法人東北大学加齢医学研究所 所長
フローダイバーター留置術周術期抗血小板療法期間に関する多施設共同ランダム化比較試験/国立大学法人東海国立大学機構(岐阜大学)/大川 将和	大川 将和	脳神経外科	33,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構

再発膠芽腫に対するTUG1を標的とした核酸医薬医師主導第I相試験／国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)・株式会社ファイブリングス／荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	1,800,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構
初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対する交流電場腫瘍治療システムの有効性と安全性を検証する多施設共同医師主導治験／岡山大学病院／荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	752,290	委	岡山大学病院 病院長
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究 Pipe line Flex フローダイバーターシステム	菊池 隆幸	脳神経外科	50,000	委	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会 理事長
「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」に関する国立大学法人京都大学による研究開発／研究成果展開事業 共創の場形成支援(共創の場形成支援プログラム)／高橋 良輔／国立循環器病研究センターCOI-NEXT	高橋 良輔	脳神経内科	29,998,800	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」に関する国立大学法人京都大学による研究開発／研究成果展開事業 共創の場形成支援(共創の場形成支援プログラム)／高橋 良輔／国立循環器病研究センターCOI-NEXT	高橋 良輔	脳神経内科	29,998,800	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
【症例タイプ】パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative(通称:J-PPMI))	高橋 良輔	脳神経内科	312,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	脳神経内科	62,660	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	脳神経内科	313,300	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
Type1インターフェロンが繋ぐパーキンソン病の病態解明と治療法の開発／田口 智之	田口 智之	脳神経内科	17,823,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ミクログリアの精密制御による中枢神経変性病態の治療開拓／木村 公俊	木村 公俊	脳神経内科	15,600,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
神経グリア血管単位ーリンパ管系に着目した血管性認知症および混合型認知症における臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出／ムーンショット型研究開発事業	眞木 崇州	脳神経内科	32,500,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服に向けて／ムーンショット型研究開発事業／高橋 良輔	高橋 良輔	脳神経内科	23,999,300	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
発症前コホート研究と多層オミックス解析の融合によるパーキンソン病の研究基盤高度化と疾患Trajectory解明(分担課題名:画像Trajectoryの解明と画像BMの確立)／AMED／中西 悦郎／代表:国立精神・神経医療研究センター・高橋班	中西 悦郎	脳神経内科	3,900,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-Indexに対する前臨床試験／分担研究開発課題名:コホート検体管理提供、診断性能評価／赤松 秀輔→後藤 崇之／公益財団法人がん研究会・植田 幸嗣班	後藤 崇之	泌尿器科	3,900,000	委	公益財団法人がん研究会 理事長
代謝経路に着目したサルコイドーシスの新規治療に関する研究開発／AMED／中溝 聡	中溝 聡	皮膚科	6,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
本邦のシュニツラー症候群患者の急性期炎症所見に対するカナキマブを用いた多施設医師主導治験／AMED／神戸 直智	神戸 直智	皮膚科	78,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

代謝経路に着目したサルコイドーシスの新規治療に関する研究開発/AMED/中溝 聡	中溝 聡	皮膚科	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機 構 契約担当職 理事 長
多細胞間相互作用による皮膚バリアの適応・修復機序の解明/AMED/梶島 健治	梶島 健治	皮膚科	84,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機 構 契約担当職 理事 長
皮膚における生活環境ストレスマーカーの探索とアトピー性皮膚炎の層別化医療への展開/AMED/梶島 健治	梶島 健治	皮膚科	20,800,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機 構 契約担当職 理事 長
解析・データセンターにおける情報システム基盤の研究と構築/分担研究課題名:全ゲノム解析症例のWSIおよび病理報告書等の病理データ収集体制の構築/羽賀博典/東京大学・井元班	羽賀 博典	病理診断科	1,660,000	委	国立大学法人東京大 学 総長 代理人 医 科学研究所 事務部 長
動体追尾技術と複合回転技術の融合による革新的放射線治療技術の開発と臨床評価/AMED/溝脇尚志	溝脇 尚志	放射線治療科	19,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機 構 契約担当職 理事 長
頭頸部癌化学放射線療法における予防領域照射の線量低減に関するランダム化比較試験/AMED/溝脇尚志/代表:愛知県がんセンター・古平班	溝脇 尚志	放射線治療科	520,000	委	愛知県がんセンター
High volume転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発/AMED/溝脇尚志/代表:宮崎大学・賀本班	溝脇 尚志	放射線治療科	728,000	委	国立大学法人宮崎大 学 契約担当役 理事
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験/吉村通央/AMED再委託(広島大学・村上祐司代表)	岸 徳子	放射線治療科	260,000	委	国立大学法人広島大 学 学長
薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験/AMED再委託(群馬県立がんセンター・藤澤班)/吉村通央	吉村 通央	放射線治療科	260,000	委	群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-03) 分担課題名:放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究/国立がん研究センター研究開発費/溝脇 尚志/金光幸秀班	溝脇 尚志	放射線治療科	3,822,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
核内受容体NR4Aを標的とした全身性エリテマトーデスの治療開発/AMED/日和 良介	日和 良介	免疫・膠原病内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機 構 契約担当職 理事 長
高安動脈炎における血管合併症バイオマーカーの開発に向けたエビデンス創出研究/AMED再委託/吉藤元/代表:国立循環器病研究センター・中岡良和	吉藤 元	免疫・膠原病内科	260,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究セ ンター 理事長
先天的・後天的ゲノム情報と臨床情報を用いた関節リウマチの層別化基盤の構築/AMED/森信 暁雄/代表:理研・寺尾班	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	2,925,000	委	国立研究開発法人理 化学研究所 契約担 当役 外部資金室長
早期関節リウマチの滑膜と末梢血情報による予後予測モデルの構築/AMED/森信 暁雄/代表:国立大学法人東京大学・藤尾班	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	130,000	委	国立大学法人東京大 学
先天的/後天的構造多型に着目した免疫/精神疾患病態解明に関する研究開発 /AMED再委託・理化学研究所/森信 暁雄	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	3,250,000	委	国立研究開発法人理 化学研究所 契約担 当役 外部資金室長
免疫担当細胞eQTL データを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築/AMED再委託・東京大学(藤尾)/森信 暁雄	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	260,000	委	国立大学法人東京大 学 総長 代理人 医 学部附属病院 事務 部長

吸入薬の有効性・安全性・同等性評価のための非侵襲的肺内送達量推定に関する研究開発/AMED/平 大樹	平 大樹	薬剤部	5,200,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究/国立大学法人大阪大学・山本洋一 班/渡邊 卓也	渡邊 卓也	倫理支援部	650,000	委	国立大学法人大阪大学 医学部附属病院 病院長
脳卒中超急性期臨床試験における適切な同意手続きの確立に関する研究/国立研究開発法人国立循環器病研究センター・福田真弓 班/渡邊 卓也	渡邊 卓也	倫理支援部	1,300,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長

計 529

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Uneno Y, Fukuyama K, Nishimura A, et al	血液内科	Barriers and Facilitators to the Implementation of an Electronic Patient-Reported Outcome System at Cancer Hospitals in Japan.	Cureus. 2024 Apr 19;16(4):e58611. (オンライン)	Original Article
2	Akiyama D, Kanda J, Hanyu Y, et al	血液内科	Successful Second CBT for Graft Failure After First CBT for Adult-Onset Familial Hemophagocytic Lymphohistiocytosis Type 3: A Case Report.	Transplant Proc. 2024 Jun;56(5):1205-1209.	Case Report
3	Kanda J, Mitsuyoshi T, Sakurai M, et al	血液内科	Real-World Outcomes of Graft-versus-Host Disease after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Japan: Retrospective Analysis of the Transplant Registry Unified Management Program Registry.	Transplant Cell Ther. 2024 Sep;30(9):907.e1-907.e16.	Original Article
4	Yamashita K, Nomoto Y, Hirose T, et al	血液内科	Early Diagnosis of Hereditary Angioedema in Japan Based on a US Medical Dataset: Algorithm Development and Validation.	JMIR Med Inform. 2024 Sep 13;12:e59858. (オンライン)	Original Article
5	Oshima S, Sakamoto S, Takahashi K, et al	血液内科	Intravascular Large B-Cell Lymphoma Mimicking Intrahepatic Cholangiocarcinoma.	Clin Case Rep. 2025 Jan 26;13(2):e70046. (オンライン)	Original Article
6	Shimazu Y, Kanda J, Takakuwa T, et al	血液内科	The impact of renal function on initial therapy in transplant-ineligible multiple myeloma patients.	Ann Hematol. 2024 Dec;103(12):5639-5649.	Original Article
7	Jo T, Inoue K, Ueda T, et al	血液内科	Machine learning evaluation of intensified conditioning on haematopoietic stem cell transplantation in adult acute lymphoblastic leukemia patients.	Commun Med (Lond). 2024 Nov 25;4(1):247. (オンライン)	Original Article
8	Shimazu Y, Kanda J, Suzuki K, et al	血液内科	The impact of daratumumab pretreatment on multiple myeloma patients undergoing autologous transplantation.	Cancer Sci. 2024 Jul;115(7):2384-2395.	Original Article
9	Shimazu Y, Kanda J, Onda Y, et al	血液内科	The lymphocyte/monocyte ratio predicts the efficacy of isatuximab plus pomalidomide in multiple myeloma patients.	Cancer Immunol Immunother. 2024 May 17;73(7):135. (オンライン)	Original Article
10	Seigi Oshima, Shojiro Inano, Gen Honjo, et al.	血液内科	A Case of Spontaneous Regression of Adult Multi-system Langerhans Cell Histiocytosis Presenting as Liver Tumor Rupture.	Internal medicine (Tokyo, Japan). 2024 Sep 4	Original Article
11	Sho Shibata, Yasuyuki Arai, Tadakazu Kondo, et al.	血液内科	Prognostic factors in haploidentical transplantation with post-transplant cyclophosphamide for acute myeloid leukemia	Cytotherapy. 2024 Jun	Original Article
12	Junya Kanda, Takaya Mitsuyoshi, Masatoshi Sakurai, et al.	血液内科	Real-World Outcomes of Graft-Versus-Host Disease After Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Japan: Retrospective Analysis of Transplant Registry Unified Management Program Registry: GVHD outcomes after allo-HSCT.	Transplantation and cellular therapy. 2024 Jul 1	Original Article
13	Hakata T, Ueda Y, Yamashita T, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	Nepriylsin Inhibition Promotes Skeletal Growth via the CNP/NPR-B Pathway.	Endocrinology. 2024 May 27;165(7):bqae058.	Original Article
14	Otani D, Murakami T, Murakami S, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	[(18)F]FB(ePEG12)12-exendin-4 noninvasive imaging of insulinoma negative for insulin immunostaining on specimen from endoscopic ultrasonography-guided fine needle aspiration: a case report with review of literature.	Endocr J. 2024 Sep 2;71(9):925-933.	Case Report
15	Hakata T, Yamauchi I, Kosugi D, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	High-throughput Screening for Cushing Disease: Therapeutic Potential of Thiostrepton via Cell Cycle Regulation.	Endocrinology. 2024 Jul 26;165(9):bqae089.	Original Article
16	Yabe D	糖尿病・内分泌・栄養内科	Harnessing the Therapeutic Potential of SGLT2 Inhibitors in Type 2 Diabetes: Challenges and Opportunities.	JMA J. 2024 Jul 16;7(3):401-402.	Original Article
17	Yamauchi I, Sugawa T, Hakata T, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	Transcriptomic landscape of hyperthyroidism in mice overexpressing thyroid-stimulating hormone.	iScience. 2024 Dec 10;28(1):111565. (オンライン)	Original Article
18	Yabe D, Hamamoto Y, Kawanami D, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	PIONEER REAL Japan: Primary results from a multicenter, prospective, real-world study of oral semaglutide in adults with type 2 diabetes in Japanese clinical practice.	J Diabetes Investig. 2024 Nov;15(11):1566-1577.	Original Article
19	Wada N, Murakami T, Fauzi M, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	Elevated Serum Growth Differentiation Factor 15 Levels as a Potential Biomarker of the Efficacy of Imeglimin in Individuals With Type 2 Diabetes Mellitus: An Exploratory Study.	J Clin Med Res. 2024 Oct;16(10):503-508.	Original Article
20	Hasebe M, Tsukaguchi R, Shibue K, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	Conservative Management of Symptomatic Rathke Cleft Cyst With Recurrent Inflammatory Remission.	JCEM Case Rep. 2025 Feb 10;3(3):luaf008. (オンライン)	Case Report
21	Fujikura J, Anazawa T, Toyoda T, et al	糖尿病・内分泌・栄養内科	Toward a cure for diabetes: iPSC and ESC-derived islet cell transplantation trials.	J Diabetes Investig. 2025 Mar;16(3):384-388.	Original Article
22	Hayao Yoshida, Takaaki Murakami, Atsubumi Ogawa, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Adult hypophosphatasia presenting with recurrent acute joint pain	Endocrinology, Diabetes & Metabolism Case Reports. 2025 Jan 1;2025(1)	Original Article
23	Ichiro Yamauchi, Daisuke Yabe	糖尿病・内分泌・栄養内科	Best practices in the management of thyroid dysfunction induced by immune checkpoint inhibitors	European Thyroid Journal. 2025 Jan 10;14(1)	Original Article

24	Naoki Wada, Takaaki Murakami, Muhammad Fauzi, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Elevated Serum Growth Differentiation Factor 15 Levels as a Potential Biomarker of the Efficacy of Imeglimin in Individuals With Type 2 Diabetes Mellitus: An Exploratory Study	Journal of Clinical Medicine Research. 2024 Oct ;16(10):503-508	Original Article
25	Yabe D	糖尿病・内分泌・栄養内科	Harnessing the Therapeutic Potential of SGLT2 Inhibitors in Type 2 Diabetes: Challenges and Opportunities	JMA Journal. 2024 Apr	Original Article
26	Daisuke Yabe, Yoshiyuki Hamamoto, Daiji Kawanami, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	PIONEER REAL Japan: Primary results from a multicenter, prospective, real-world study of oral semaglutide in adults with type 2 diabetes in Japanese clinical practice	Journal of Diabetes Investigation. 2024 Aug 22;15(11):1566-1577	Original Article
27	Junji Fujikura, Takayuki Anazawa, Taro Toyoda, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Toward a cure for diabetes: iPSC and ESC-derived islet cell transplantation trials	Journal of diabetes investigation. 2025 Mar	Original Article
28	Ichiro Yamauchi, Taku Sugawa, Takuro Hakata, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Transcriptomic landscape of hyperthyroidism in mice overexpressing thyroid-Stimulating hormone	iScience. 2025 Jan ;28(1):111565-111565	Original Article
29	Ryo Suzuki, Hanan Amadid, Atheline Major-Pedersen, et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	PIONEER REAL Japan: Baseline characteristics of a multicenter, prospective, real-world study of oral semaglutide in adults with type 2 diabetes in clinical practice in Japan	Journal of diabetes investigation. 2024 Aug ;15(8):1047-1056	Original Article
30	Baba D, Yamashita Y, Fukuda Y, et al	循環器内科	A Case of Fat Embolism Syndrome Treated with Methylprednisolone.	Intern Med. 2024 Dec 26.	Original Article
31	Kato ET, Hasegawa K, Ono K	循環器内科	The impact of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors in post-myocardial infarction management: insights from EMPACT-MI and DAPA-MI trials.	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother. 2024 Oct 4;10(6):486-487.	Original Article
32	Miyoshi Y, Ehara N, Toyota T, et al	循環器内科	Acute Left Main Coronary Embolization Following Transcatheter Aortic Valve Implantation.	Cureus. 2024 Apr 7;16(4):e57748. (オンライン)	Case Report
33	Yamashita Y, Hira D, Morita M, et al	循環器内科	Potential treatment option of rivaroxaban for breastfeeding women: A case series.	Thromb Res. 2024 May;237:141-144.	Case Report
34	Nishiwaki S, Shizuta S, Kohjitani H, et al	循環器内科	Insight from the microelectrodes in case of two different types of premature ventricular contractions originating from left ventricular summit.	Indian Pacing Electrophysiol J. 2024 Jul-Aug;24(4):212-216.	Case Report
35	Tanaka M, Kohjitani H, Yamamoto E, et al	循環器内科	Development of interpretable machine learning models to predict in-hospital prognosis of acute heart failure patients.	ESC Heart Fail. 2024 Oct;11(5):2798-2812.	Original Article
36	Nishiwaki S, Shizuta S, Inoue T, et al	循環器内科	Prevalence and characteristics of atrioventricular nodal reentrant tachycardia with a bystander concealed nodoventricular/nodofascicular pathway.	Heart Rhythm. 2025 Jan;22(1):139-149.	Original Article
37	Kaneda K, Yamashita Y, Morimoto T, et al	循環器内科	Temporal Changes in Long-Term Outcomes of Venous Thromboembolism From the Warfarin Era to the Direct Oral Anticoagulant Era.	J Am Heart Assoc. 2024 Aug 6;13(15):e034412.	Original Article
38	Miyoshi Y, Lucena-Cacace A, Tian Y, et al	循環器内科	SMAD3 mediates the specification of human induced pluripotent stem cell-derived epicardium into progenitors for the cardiac pericyte lineage.	Stem Cell Reports. 2024 Oct 8;19(10):1399-1416.	Original Article
39	Nishikawa R, Yamashita Y, Morimoto T, et al	循環器内科	Selection of Home Treatment and Identification of Low-Risk Patients With Pulmonary Embolism Based on Simplified Pulmonary Embolism Severity Index Score in the Era of Direct Oral Anticoagulants.	J Am Heart Assoc. 2024 Oct;13(19):e034953.	Original Article
40	Yamaji K, Kanenawa K, Morofuji T, et al	循環器内科	Serial Optical Coherence Tomography Assessment of Coronary Atherosclerosis and Long-Term Clinical Outcomes.	J Am Heart Assoc. 2024 Nov 5;13(21):e034458.	Original Article
41	Yamashita Y, Morimoto T, Muraoka N, et al	循環器内科	Rivaroxaban for 18 Months Versus 6 Months in Patients With Cancer and Acute Low-Risk Pulmonary Embolism: An Open-Label, Multicenter, Randomized Clinical Trial (ONCO PE Trial).	Circulation. 2025 Mar 4;151(9):589-600.	Original Article
42	Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, et al	循環器内科	Newly Diagnosed Cancer After Diagnosis of Venous Thromboembolism: Insights From the COMMAND VTE Registry-2.	Circ J. 2024 Dec 21.	Original Article
43	Kato T, Ines M, Minamisawa M, et al	循環器内科	Tafamidis medication adherence and persistence in patients with transthyretin amyloid cardiomyopathy in Japan.	ESC Heart Fail. 2024 Oct;11(5):2881-2888.	Original Article
44	Yamazaki H, Heni M, Wagner R, et al	循環器内科	Genetic Evidence for a Causal Link between Intra-Pancreatic Fat Deposition and Pancreatitis: a Mendelian Randomization Study.	medRxiv [Preprint]. 2024 Jun 4:2024.06.03.24308330. (オンライン)	Original Article
45	Fukuhara S, Kataoka Y, Aoki T, et al	循環器内科	International Collaboration and Commercial Involvement in Randomized Controlled Trials From 10 Leading Countries, 1997 Through 2019.	Cureus. 2024 May 27;16(5):e61205. (オンライン)	Original Article
46	Hijkata Y, Kamitani T, Yamamoto Y, et al	循環器内科	Association of occupational testicular radiation exposure with offspring sex ratio.	Ann Work Expo Health. 2025 Mar 21:wxae093.	Original Article
47	Yamazaki H, Heni M, Wagner R, et al	循環器内科	The Causal Effect of Intrapancreatic Fat Deposition on Acute and Chronic Pancreatitis: A Mendelian Randomization Study.	Am J Gastroenterol. 2024 Dec 1;119(12):2540-2544.	Original Article
48	Yuki Obayashi, Yasuaki Takeji, Tomohiko Taniguchi, et al.	循環器内科	Concomitant Mitral Regurgitation in Severe Aortic Stenosis - Insights From the CURRENT AS Registry-2.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2024 May 9	Original Article

49	Kazuya Nagao, Takao Kato, Hidenori Yaku, et al.	循環器内科	Differential Prognostic Impact of Clinical Congestion between Preserved versus Reduced Ejection Fraction in Patients Hospitalized for Acute Decompensated Heart Failure: Findings from the Japanese KCHF registry	Journal of Cardiac Failure. 2024 Sep	Original Article
50	Yugo Yamashita, Takeshi Morimoto, Ryuki Chatani, et al.	循環器内科	Newly Diagnosed Cancer After Diagnosis of Venous Thromboembolism – Insights From the COMMAND VTE Registry-2.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2024 Dec 21	Original Article
51	Kyohei Yamaji, Kenji Kanenawa, Toru Morofuji, et al.	循環器内科	Serial Optical Coherence Tomography Assessment of Coronary Atherosclerosis and Long-Term Clinical Outcomes	Journal of the American Heart Association. 2024 Nov 5;13(21):e034458	Original Article
52	Matsuyama S, Fukuda A, Matsumoto A, et al	消化器内科	Gastric Adenocarcinoma with Enteroblastic Differentiation which Demonstrated Rapid Progressive Courses.	Intern Med. 2025 Feb 1;64(3):381–386.	Case Report
53	Hiramatsu Y, Utsumi T, Ikeda M, et al	消化器内科	Rapid Progression of a Sessile Serrated Lesion.	Intern Med. 2024 Dec 1;63(23):3255–3256.	Original Article
54	Yanaidani T, Matsumori T, Yokode M, et al	消化器内科	Usefulness of a novel drill dilator in removing a migrated biliary plastic internal stent.	Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E311–E312.	Original Article
55	Hirata A, Matsumori T, Yasuda M, et al	消化器内科	A rare case of acute obstructive suppurative pancreatic ductitis (AOSPD) which developed pyogenic spondylitis.	Clin J Gastroenterol. 2024 Oct;17(5):982–988.	Case Report
56	Toyoda F, Matsumori T, Matsumoto A, et al	消化器内科	Difficulty in Identifying the Source of Hemorrhage in Duodenal Diverticula Bleeding: A Case Report.	Intern Med. 2025 Mar 29.	Original Article
57	Okabe M, Yamamoto S, Shiokawa M, et al	消化器内科	Anti-integrin I±v126 antibody as a biomarker for diagnosing ulcerative colitis: a nationwide multicenter validation study.	J Gastroenterol. 2025 Jan;60(1):86–95.	Original Article
58	Matsuyama S, Fukuda A, Yamakawa G, et al	消化器内科	A Case of Severe Post-Biopsy Bleeding and Perforation in Gastric Amyloidosis.	JGH Open. 2024 Dec 3;8(12):e70065. (オンライン)	Original Article
59	Nakayama S, Fukuda A, Nishikawa S, et al	消化器内科	A case of spontaneous acute obstructive suppurative pancreatic ductitis associated with intraductal papillary mucinous neoplasms.	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug;17(4):760–764.	Case Report
60	Muta Y, Nakanishi Y	消化器内科	Mouse colorectal cancer organoids: Lessons from syngeneic and orthotopic transplantation systems.	Eur J Cell Biol. 2025 Feb 6;104(2):151478.	Original Article
61	Matsuyama S, Fukuda A, Agatsuma N, et al	消化器内科	A case of duodenal adenocarcinoma with a gastric phenotype demonstrating a rapidly progressive course.	Intern Med. 2024 Nov 8.	Original Article
62	Yasuda M, Shiokawa M, Kuwada T, et al	消化器内科	Anti-integrin I±v126 autoantibody in primary sclerosing cholangitis: a Japanese nationwide study.	J Gastroenterol. 2025 Jan;60(1):118–126.	Original Article
63	Ikeda M, Nakanishi Y, Seno H	消化器内科	Cancer pathways in serrated polyposis syndrome: is conventional more crucial than serrated?	J Gastroenterol. 2025 Jan;60(1):127–128.	Original Article
64	Mori Y, Iwano K, Ito R, et al	消化器内科	Successful endoscopic ultrasound-guided drainage using contrast-enhanced harmonic imaging.	Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E1016–E1017.	Original Article
65	Ueno M, Takeda H, Takai A, et al	消化器内科	CRAFITY score as a predictive marker for refractoriness to atezolizumab plus bevacizumab therapy in hepatocellular carcinoma: a multicenter retrospective study.	J Gastroenterol. 2024 Dec;59(12):1107–1118.	Original Article
66	Mishima M, Takai A, Takeda H, et al	消化器内科	TERT upregulation promotes cell proliferation via degradation of p21 and increases carcinogenic potential.	J Pathol. 2024 Nov;264(3):318–331.	Original Article
67	Kawai M, Fukuda A, Otomo R, et al	消化器内科	Early detection of pancreatic cancer by comprehensive serum miRNA sequencing with automated machine learning.	Br J Cancer. 2024 Oct;131(7):1158–1168.	Original Article
68	Yaku H, Takahashi K, Okada H, et al	消化器内科	Near-infrared photoimmunotherapy as a complementary modality to in situ vaccine in a preclinical pancreatic cancer model.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Dec 10;737:150534.	Original Article
69	Nagao M, Fukuda A, Kashima H, et al	消化器内科	Cholangiocyte organoids for disease, cancer, and regenerative medicine.	Eur J Cell Biol. 2025 Mar;104(1):151472.	Original Article
70	Inoue T, Agatsuma N, Utsumi T, et al	消化器内科	Development and validation of a claims-based algorithm to identify incidents and determine the progression phases of gastric cancer cases in Japan.	J Gastroenterol. 2025 Feb;60(2):141–151.	Original Article
71	Nakanishi R, Kuwada T, Shiokawa M, et al	消化器内科	Anti-integrin I±v126 Antibodies Predict Pouchitis in Patients With Ulcerative Colitis After Restorative Proctocolectomy With Ileal Pouch-Anal Anastomosis.	Inflamm Bowel Dis. 2025 Mar 3;31(3):777–785.	Original Article
72	Mima A, Kimura A, Ito R, et al	消化器内科	Mechanistic elucidation of human pancreatic acinar development using single-cell transcriptome analysis on a human iPSC differentiation model.	Sci Rep. 2025 Feb 7;15(1):4668. (オンライン)	Original Article
73	Makoto Okabe, Shuji Yamamoto, Masahiro Shiokawa, et al.	消化器内科	Anti-integrin α v β 6 antibody as a biomarker for diagnosing ulcerative colitis: a nationwide multicenter validation study.	Journal of gastroenterology. 2025 Jan ;60(1):86–95	Original Article

74	Masataka Yokode, Masahiro Shiokawa, Hisato Kawakami, et al.	消化器内科	Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ autoantibodies are a potential biomarker for ulcerative colitis-like immune checkpoint inhibitor-induced colitis.	British journal of cancer. 2024 May ;130(9):1552-1560	Original Article
75	Yasuda M, Hiroyuki Yoshida, Kuwada T, et al.	消化器内科	Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ autoantibody in primary sclerosing cholangitis: a Japanese nationwide study.	Journal of gastroenterology. 2024 Nov 16	Original Article
76	Takahiro Inoue, Nobukazu Agatsuma, Takahiro Utsumi, et al.	消化器内科	Development and validation of a claims-based algorithm to identify incidents and determine the progression phases of gastric cancer cases in Japan	Journal of Gastroenterology. 2025 Feb	Original Article
77	Munenori Kawai, Akihisa Fukuda, Ryo Otomo, et al.	消化器内科	Early detection of pancreatic cancer by comprehensive serum miRNA sequencing with automated machine learning	British Journal of Cancer. 2024 Aug 28	Original Article
78	Makoto Okabe, Shuji Yamamoto, Masahiro Shiokawa, et al.	消化器内科	Publisher Correction: Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ antibody as a biomarker for diagnosing ulcerative colitis: a nationwide multicenter validation study.	Journal of gastroenterology. 2024 Dec 27	Original Article
79	Sawada K, Tomoaki Matsumori, Nishikawa Y, et al.	消化器内科	Removal of a torn biliary stent fragment using a novel tapered-tip sheath system.	Endoscopy. 2024 Apr 29	Original Article
80	Shiraishi Y, Tanabe N, Sakamoto R, et al	呼吸器内科	Longitudinal assessment of interstitial lung abnormalities on CT in patients with COPD using artificial intelligence-based segmentation: a prospective observational study.	BMC Pulm Med. 2024 Apr 23;24(1):200. (オンライン)	Original Article
81	Tanabe N, Matsumoto H, Morimoto C, et al	呼吸器内科	Mucus plugging on computed tomography and the sputum microbiome in patients with asthma, chronic obstructive pulmonary disease, and asthma-COPD overlap.	Allergol Int. 2024 Oct;73(4):515-523.	Original Article
82	Matsunashi A, Zhipeng W, Sugimoto A, et al	呼吸器内科	An Autopsied Case of Erdheim-Chester Disease with Severe Cardiovascular Involvement.	Intern Med. 2024 Nov 28.	Original Article
83	Hosoya K, Ozasa H, Tanji M, et al	呼吸器内科	Performance status improvement and advances in systemic treatment after brain metastases resection: a retrospective single-center cohort study of non-small cell lung cancer patients.	BMC Cancer. 2024 Aug 21;24(1):1030. (オンライン)	Original Article
84	Shima Y, Yoshida H, Suminaga K, et al	呼吸器内科	Safety and efficacy of pemetrexed for patients with non-small cell lung cancer in the setting of renal impairment: a retrospective study.	BMC Cancer. 2025 Mar 4;25(1):388. (オンライン)	Original Article
85	Hayashi Y, Tanabe N, Shimizu K, et al	呼吸器内科	Lower skeletal muscle density and airway structure on computed tomography in asthma.	Ann Allergy Asthma Immunol. 2024 Dec;133(6):667-674.e4.	Original Article
86	Ajimizu H, Sakamori Y	呼吸器内科	Narrative review of indication and management of induction therapy for thymic epithelial tumors.	Mediastinum. 2024 May 31;8:44. (オンライン)	Original Article
87	Tanabe N, Nakagawa H, Sakao S, et al	呼吸器内科	Lung imaging in COPD and asthma.	Respir Investig. 2024 Nov;62(6):995-1005.	Original Article
88	Tanabe N, Hara Y, Shimizu K, et al	呼吸器内科	A protocol for a Japanese prospective cohort evaluating the features of patients with uncontrolled asthma achieving clinical remission: J-CIRCLE.	Respir Investig. 2024 Nov;62(6):1209-1214.	Original Article
89	Maetani T, Tanabe N, Tanizawa K, et al	呼吸器内科	Computed tomography morphological assessments of central airways in interstitial lung abnormalities and idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Res. 2024 Nov 10;25(1):404. (オンライン)	Original Article
90	Yamada S, Murase K, Harima E, et al	呼吸器内科	Acute-onset Black Pleural Effusion Due to Pancreaticopleural Fistula.	Intern Med. 2024 Nov 1.	Original Article
91	Tanabe N	呼吸器内科	Further evidence for the roles of computed tomography in managing severe asthma.	Ann Allergy Asthma Immunol. 2025 Mar;134(3):251-252.	Original Article
92	Suminaga K, Nomizo T, Yoshida H, et al	呼吸器内科	The impact of PD-L1 polymorphisms on the efficacy of immune checkpoint inhibitors depends on the tumor proportion score: a retrospective study.	J Cancer Res Clin Oncol. 2025 Feb 4;151(2):61. (オンライン)	Original Article
93	Uyama M, Handa T, Uozumi R, et al	呼吸器内科	Prognostic value of a composite physiologic index developed by adding bronchial and hyperlucent volumes quantified via artificial intelligence technology.	Respir Res. 2024 Dec 24;25(1):442. (オンライン)	Original Article
94	Tanabe N	呼吸器内科	Is the Global Lung Function Initiative Race-Neutral Spirometry Reference Equation Ready for Clinical Use Around the World?	Chest. 2025 Feb;167(2):303-304.	Original Article
95	Minami T, Yoshizawa T, Murase K, et al	呼吸器内科	Associations Among Sleep Apnea, Objective or Subjective Sleep Duration, and Recurrence of Atrial Fibrillation in Patients Who Undergo Radiofrequency Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation: A Prospective Observational Study.	Circ J. 2025 Jan 24;89(2):184-194.	Original Article
96	Tanabe N, Shimizu K, Shima H, et al	呼吸器内科	Computed tomography mucus plugs and airway tree structure in patients with chronic obstructive pulmonary disease: Associations with airflow limitation, health-related independence and mortality.	Respirology. 2024 Nov;29(11):951-961.	Original Article
97	Yoshida H, Ozasa H, Hashimoto K, et al	呼吸器内科	Detection of a co-mutation in the epidermal growth factor receptor gene exon 20 H773L/V774M by FoundationOne test and treatment with osimertinib: A case report	CURR PROB CANCER-C R.2024 JUN:14:4	Original Article
98	Kazutaka Hosoya, Hiroaki Ozasa, Masahiro Tanji, et al.	呼吸器内科	Performance status improvement and advances in systemic treatment after brain metastases resection: a retrospective single-center cohort study of non-small cell lung cancer patients	BMC Cancer. 2024 Aug 21;24(1):1030-1030	Original Article

99	Yusuke Shima, Hironori Yoshida, Keiichiro Suminaga, et al.	呼吸器内科	Safety and efficacy of pemetrexed for patients with non-small cell lung cancer in the setting of renal impairment: a retrospective study	BMC Cancer. 2025 Mar 4;25(1)	Original Article
100	Manabe A, Sada RM, Miyake H, et al	免疫・膠原病内科	An observational study to identify causative factors for not using hydroxychloroquine in systemic lupus erythematosus.	Sci Rep. 2024 Apr 2;14(1):7750. (オンライン)	Original Article
101	Tsuji H, Nakashima R, Mimori T	免疫・膠原病内科	Perspectives in the treatment of interstitial lung disease accompanied with anti-melanoma differentiation-associated gene 5-positive dermatomyositis.	Int J Rheum Dis. 2024 May;27(5):e15201.	Original Article
102	Sasai T, Nakashima R, Handa T, et al	免疫・膠原病内科	Anti-interferon gamma-inducible protein 16 antibodies: Identification of a novel autoantigen in idiopathic interstitial pneumonia and its clinical characteristics based on a multicenter cohort study.	Clin Immunol. 2024 Nov;268:110372.	Original Article
103	Tsuji H, Nakashima R, Yasumi T, et al	免疫・膠原病内科	Differences in the autoantibody phenotypes and long-term outcomes between juvenile- and adult-idiopathic inflammatory myopathies.	Semin Arthritis Rheum. 2024 Oct;68:152530.	Original Article
104	Nakakubo Y, Tsuji H, Takase Y, et al	免疫・膠原病内科	The Association of Anti-dsDNA Antibodies with Patient-reported Outcomes of Patients with Systemic Lupus Erythematosus in a Two-consecutive Year Prospective Study.	Kobe J Med Sci. 2025 Feb 3;70(4):E113-E124. (オンライン)	Original Article
105	Tsuji H, Shirakashi M, Hiwa R, et al	免疫・膠原病内科	Differences in the autoantibody phenotypes and long-term outcomes between juvenile- and adult-onset systemic sclerosis.	Mod Rheumatol. 2025 Jan 17:roaf005.	Original Article
106	Sasai T, Hiwa R, Kachi S, et al	免疫・膠原病内科	Necrotizing Renal Vasculitis Associated with Sarcoidosis in a Patient with Esophageal Cancer: A Case Report.	Mod Rheumatol Case Rep. 2025 Mar 6:rxaf018.	Original Article
107	Tsuneo Sasai, Yuki Ishikawa, Ran Nakashima, et al.	免疫・膠原病内科	Anti-aminoacyl tRNA synthetase antibodies showing the discrepancy between enzyme-linked immunosorbent assay and RNA-immunoprecipitation.	Immunological medicine. 2024 Sep ;47(3):166-175	Original Article
108	Tomoki Taniguchi, Ryosuke Hiwa, Mikihito Shoji, et al.	免疫・膠原病内科	Avacopan's potential to decrease MPO-ANCA titres concurrent with ameliorated activity in ANCA-associated vasculitis	Modern Rheumatology Case Reports. 2024 Jul 8	Original Article
109	Nozomi Nishimura, Akira Onishi, Wataru Yamamoto, et al.	免疫・膠原病内科	Comparative effects of biological and targeted synthetic DMARDs on incident chronic kidney disease in patients with rheumatoid arthritis	Rheumatology. 2024 Oct 30(0):-	Original Article
110	Hideaki Tsuji, Mirei Shirakashi, Ryosuke Hiwa, et al.	免疫・膠原病内科	Differences in the autoantibody phenotypes and long-term outcomes between juvenile- and adult-onset systemic sclerosis	Modern Rheumatology. 2025 Jan 17	Original Article
111	Tsuneo Sasai, Ryosuke Hiwa, Shion Kachi, et al.	免疫・膠原病内科	Necrotizing Renal Vasculitis Associated with Sarcoidosis in a Patient with Esophageal Cancer: A Case Report	Modern Rheumatology Case Reports. 2025 Mar 6	Original Article
112	Shirakawa Y, Jingami N, Ishiguro Y, et al	初期診療・救急科	Facial trauma with life-threatening bleeding treated by andexanet alfa administration: A case report.	Heliyon. 2024 Aug 24;10(17):e36922. (オンライン)	Case Report
113	Jingami N, Cho K, Nitta T, et al	初期診療・救急科	Case report: Consecutive hyperbaric oxygen therapy for delayed post-hypoxic leukoencephalopathy resulting from CHANTER syndrome caused by opioid intoxication.	Front Med (Lausanne). 2024 Apr 17;11:1364038. (オンライン)	Case Report
114	Takuma Minami, Takashi Yoshizawa, Kimihiko Murase, et al.	初期診療・救急科	Associations Among Sleep Apnea, Objective or Subjective Sleep Duration, and Recurrence of Atrial Fibrillation in Patients Who Undergo Radiofrequency Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation — A Prospective Observational Study —	Circulation Journal. 2024 Nov 12(0):-	Original Article
115	Minami T, Yoshizawa T, Murase K, et al.	初期診療・救急科	Associations Among Sleep Apnea, Objective or Subjective Sleep Duration, and Recurrence of Atrial Fibrillation in Patients Who Undergo Radiofrequency Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation — A Prospective Observational Study.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2024 Nov 12	Original Article
116	Takahiko Tsutsumi, Keita Fukuyama, Kazumasa Kishimoto, et al.	初期診療・救急科	Operating table stability and patient safety during an earthquake based on the results of a shaking table experiment	BJA Open. 2024 Sep ;11	Original Article
117	Takahiko Tsutsumi, Keita Fukuyama, Kazumasa Kishimoto, et al.	初期診療・救急科	Operating table stability and patient safety during an earthquake based on the results of a shaking table experiment.	BJA open. 2024 Sep ;11:100301-100301	Original Article
118	Kobayashi K, Ikeda A	脳神経内科	Ictal Semiology Important for Electrode Implantation and Interpretation of Stereoelectroencephalography.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Jun 15;64(6):215-221.	Original Article
119	Ishimoto T, Oono M, Kaji S, et al	脳神経内科	A novel mouse model for investigating I±-synuclein aggregates in oligodendrocytes: implications for the glial cytoplasmic inclusions in multiple system atrophy.	Mol Brain. 2024 May 24;17(1):28. (オンライン)	Original Article
120	Nishigori R, Hamatani M, Yoshitomi H, et al	脳神経内科	CD21lo B cell subsets are recruited to the central nervous system in acute neuromyelitis optica.	Brain. 2025 Mar 5:awaf086.	Original Article
121	Sato K, Hitomi T, Kobayashi K, et al	脳神経内科	Electroencephalography can Ubiquitously Delineate the Brain Dysfunction of Neurodegenerative Dementia by Both Visual and Automatic Analysis Methods: A Preliminary Study.	Clin EEG Neurosci. 2025 Mar;56(2):185-196.	Original Article
122	Tomoyuki Ishimoto, Miki Oono, Seiji Kaji, et al.	脳神経内科	A novel mouse model for investigating α-synuclein aggregates in oligodendrocytes: implications for the glial cytoplasmic inclusions in multiple system atrophy	Molecular Brain. 2024 May 24;17(1)	Original Article
123	Ryusei Nishigori, Mio Hamatani, Hiroyuki Yoshitomi, et al.	脳神経内科	CD21lo B cell subsets are recruited to the central nervous system in acute neuromyelitis optica	Brain. 2025 Mar 5	Original Article

124	Yutaka Yamamoto, Chikako Yamauchi, Tatsuya Toyama, et al.	脳神経内科	Correction: The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for Breast Cancer, 2022 Edition: changes from the 2018 edition and general statements on breast cancer treatment.	Breast cancer (Tokyo, Japan). 2024 Jul ;31(4):736-737	Original Article
125	Keisuke Kido, Naoko Sugita, Toshiya Murai, et al.	脳神経内科	Diagnostic usefulness of 24-h polysomnography for idiopathic hypersomnia co-occurring with neurodevelopmental disorders: A case report	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports. 2024 Nov 17;3(4)	Original Article
126	Yutaka Yamamoto, Chikako Yamauchi, Tatsuya Toyama, et al.	脳神経内科	The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for Breast Cancer, 2022 Edition: changes from the 2018 edition and general statements on breast cancer treatment.	Breast cancer (Tokyo, Japan). 2024 May ;31(3):340-346	Original Article
127	Yamamoto S, Yamamoto S, Takahashi M, et al	腎臓内科	Visualization of intracellular ATP dynamics in different nephron segments under pathophysiological conditions using the kidney slice culture system.	Kidney Int. 2024 Sep;106(3):470-481.	Original Article
128	Yoshikawa T, Yanagita M	腎臓内科	Tertiary lymphoid structures: chronic inflammatory microenvironments in kidney diseases.	Int Immunol. 2025 Mar 24;dxaf017.	Original Article
129	Yoshikawa T, Yanagita M	腎臓内科	Single-Cell Analysis Provides New Insights into the Roles of Tertiary Lymphoid Structures and Immune Cell Infiltration in Kidney Injury and Chronic Kidney Disease.	Am J Pathol. 2025 Jan;195(1):40-54.	Original Article
130	Kitai Y, Toriu N, Yoshikawa T, et al	腎臓内科	Female sex hormones inversely regulate acute kidney disease susceptibility throughout life.	Kidney Int. 2025 Jan;107(1):68-83.	Original Article
131	Takahashi M, Yamamoto S, Yamamoto S, et al	腎臓内科	ATP dynamics as a predictor of future podocyte structure and function after acute ischemic kidney injury in female mice.	Nat Commun. 2024 Nov 22;15(1):9977. (オンライン)	Original Article
132	Tatsuaki Kosaka, Koji Takaori, Azusa Izumiya, et al.	腎臓内科	A Case of Radiation Nephropathy Complicated by Tubulointerstitial Nephritis with Predominantly Lymphocyte and Plasma Cell Infiltration.	Internal medicine (Tokyo, Japan). 2024 Nov 1	Original Article
133	Yuichiro Kitai, Naoya Toriu, Takahisa Yoshikawa, et al.	腎臓内科	Female sex hormones inversely regulate acute kidney disease susceptibility throughout life	Kidney International. 2025 Jan ;107(1):68-83	Original Article
134	Takahisa Yoshikawa, Motoko Yanagita	腎臓内科	Single-Cell Analysis Provides New Insights into the Roles of Tertiary Lymphoid Structures and Immune Cell Infiltration in Kidney Injury and Chronic Kidney Disease	The American Journal of Pathology. 2025 Jan	Original Article
135	Hiroyuki Arai, Takashi Tsuda, Yu Sunakawa, et al.	腎臓内科	Switching from <i>FOLFIRI</i> plus cetuximab to <i>FOLFIRI</i> plus bevacizumab based on early tumor shrinkage in <i>RAS</i> wild-type metastatic colorectal cancer: A phase II trial (HYBRID)	Cancer Medicine. 2024 Apr 9;13(7)	Original Article
136	Takahisa Yoshikawa, Motoko Yanagita	腎臓内科	Tertiary lymphoid structures: chronic inflammatory microenvironments in kidney diseases	International Immunology. 2025 Mar 24	Original Article
137	Nomura M, Yamaguchi T, Chin K, et al	腫瘍内科	Phase II Trial of Adjuvant S-1 Following Neoadjuvant Chemotherapy and Surgery in Patients with Locally Advanced Esophageal Squamous Cell Carcinoma: The PIECE Trial.	Ann Surg Oncol. 2025 Jan;32(1):302-311.	Original Article
138	Yamada A, Doi Y, Minamiguchi S, et al	腫瘍内科	Lynch syndrome screening in patients with young-onset extra-colorectal Lynch syndrome-associated cancers.	Int J Clin Oncol. 2024 Nov;29(11):1696-1703.	Original Article
139	Uneno Y, Mori M, Saito J, et al	腫瘍内科	Awareness, information sources, and beliefs regarding palliative care in the general population in Japan: a nationwide cross-sectional survey (INFORM study 2023).	Jpn J Clin Oncol. 2024 Nov 2;54(11):1171-1179.	Original Article
140	Katada C, Yokoyama T, Watanabe A, et al	腫瘍内科	Optimizing Organ-Preservation Strategies Through Chemotherapy-Based Selection in Esophageal Squamous Cell Carcinoma: Results From the CROC Multi-Institutional Phase 2 Clinical Trial.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2024 Dec 1;120(5):1353-1362.	Original Article
141	Kondo T, Kikuchi O, Yamamoto Y, et al	腫瘍内科	Colorectal cancer harboring EGFR kinase domain duplication response to EGFR tyrosine kinase inhibitors.	Oncologist. 2025 Feb 6;30(2):oyae113.	Case Report
142	Matsubara J, Li YF, Koul S, et al	腫瘍内科	The E2F4 transcriptional repressor is a key mechanistic regulator of colon cancer resistance to irinotecan (CPT-11).	bioRxiv [Preprint]. 2025 Jan 24;2025.01.22.633435. (オンライン)	Original Article
143	Yuki Kondo, Shinya Ohashi, Chikatoshi Katada, et al.	腫瘍内科	Aldh2 and the tumor suppressor Trp53 play important roles in alcohol-induced squamous field cancerization.	Journal of gastroenterology. 2025 Feb 6	Original Article
144	Yu Uneno, Keita Fukuyama, Ayumi Nishimura, et al.	腫瘍内科	Barriers and Facilitators to the Implementation of an Electronic Patient-Reported Outcome System at Cancer Hospitals in Japan	Cureus. 2024 Apr 19	Original Article
145	Shogo Yamamura, Masashi Kanai, Yasuhide Takeuchi, et al.	腫瘍内科	Response to capmatinib in a patient with neuroendocrine carcinoma of the gallbladder origin harboring MET amplification.	International cancer conference journal. 2024 Apr ;13(2):83-87	Original Article
146	Junichi Matsubara, Yong Fuga Li, Sanjay Koul, et al.	腫瘍内科	The E2F4 transcriptional repressor is a key mechanistic regulator of colon cancer resistance to irinotecan (CPT-11)	bioRxiv. 2025 Jan 24	Original Article
147	Uneno Y, Kotera Y, Kikuchi K, et al	緩和医療科	Self-compassion-based online group psychotherapy for bereavement-related grief: The COMPACT feasibility trial.	Gen Hosp Psychiatry. 2024 Sep-Oct;90:116-123.	Original Article
148	Yokomizo A, Nakashima K, Iba A, et al	早期医療開発科	Efficacy and safety of dexamethasone sparing for the prevention of nausea and vomiting associated with highly emetogenic risk antineoplastic agents: a systematic review and meta-analysis of the Clinical Practice Guidelines for Antiemesis 2023 from the Japan Society of Clinical Oncology	Int J Clin Oncol. 2024 Nov;29(11):1632-1640.	Original Article

149	Shimazu Y	早期医療開発科	Artificial intelligence-assisted personalized adjuvant chemotherapy in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma.	Ann Oncol. 2025 Jan;36(1):118.	Letter
150	Shimazu Y	早期医療開発科	Human Leukocyte Antigen Mismatching and the Role of Killer Cell Immunoglobulin-Like Receptor Mismatch in Hematopoietic Cell Transplantation for Hematologic Malignancies.	J Clin Oncol. 2025 Feb 20;43(6):759.	Letter
151	Ayako Yokomizo, Kazuhisa Nakashima, Arisa Iba, et al.	早期医療開発科	Efficacy and safety of dexamethasone sparing for the prevention of nausea and vomiting associated with highly emetogenic risk antineoplastic agents: a systematic review and meta-analysis of the Clinical Practice Guidelines for Antiemesis 2023 from the Jap	International Journal of Clinical Oncology. 2024 Sep 28;29(11):1632-1640	Original Article
152	Yoshiro Itatani, Koya Hida, Ryosuke Okamura, et al.	消化管外科	Initial Clinical Experience of Robot-Assisted Rectal Surgery by Using Hugo RAS System: Horizontal Line Port Placement With Contralateral Reserve Arm Manipulation	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 2025 Jan	Original Article
153	Ryosuke Okamura, Ryuhei Aoyama, Shigeru Tsunoda, et al.	消化管外科	Management challenges and the role of adjuvant chemotherapy in remnant gastric cancer: an analysis of 313 patients from the KEGG multicenter observational study	Gastric Cancer. 2024 Aug 8	Original Article
154	Tatsuto Nishigori, Hiraku Kumamaru, Kazutaka Obama, et al.	消化管外科	Short-term outcomes of robot-assisted versus conventional minimally invasive esophagectomy: A propensity score-matched study via a nationwide database	Annals of Gastroenterological Surgery. 2024 Aug 29	Original Article
155	Maeshima Y, Kataoka TR, Vandenbon A, et al	乳腺外科	Intra-patient spatial comparison of non-metastatic and metastatic lymph nodes reveals the reduction of CD169(+) macrophages by metastatic breast cancers.	EBioMedicine. 2024 Sep;107:105271.	Original Article
156	Yurina Maeshima, Tatsuki R Kataoka, Alexis Vandenbon, et al.	乳腺外科	Intra-patient spatial comparison of non-metastatic and metastatic lymph nodes reveals a reduction in CD169+ macrophages within metastatic breast cancers.	EBioMedicine. 2024 Aug 21;107:105271-105271	Original Article
157	Yurina Maeshima, Tatsuki R. Kataoka, Alexis Vandenbon, et al.	乳腺外科	Intra-patient spatial comparison of non-metastatic and metastatic lymph nodes reveals the reduction of CD169+ macrophages by metastatic breast cancers	eBioMedicine. 2024 Jul :105271-105271	Original Article
158	Anazawa T, Marubashi S, Kodama S, et al	肝胆膵・移植外科	Efficacy and Safety of Allogeneic Islet Transplantation Demonstrated by a Multicenter Clinical Trial in Japan.	Transplant Direct. 2025 Feb 7;11(3):e1765. (オンライン)	Original Article
159	Yamane K, Nagai K, Anazawa T, et al	肝胆膵・移植外科	Optimizing terminology for pancreatectomy: Introducing a new notation system.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Oct;31(10):691-696.	Original Article
160	Hata K, Ohno T, Hatano E	肝胆膵・移植外科	Membranous Caval Obliteration and "Showerhead"-like Venous Obstruction in Budd-Chiari Syndrome.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2025 Mar;23(4):A33-A34.e1.	Original Article
161	Takuma Karasuyama, Takamichi Ishii, Tomoaki Yoh, et al.	肝胆膵・移植外科	Aggressive Multidisciplinary Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: The Achievement of a Pathologic Complete Response and Long-Term Survival	Annals of Surgical Oncology. 2024 Dec 13;32(3):1819-1820	Original Article
162	Takuma Karasuyama, Takamichi Ishii, Tomoaki Yoh, et al.	肝胆膵・移植外科	ASO Author Reflections: The Role of Salvage Surgery in Multidisciplinary Treatment for Unresectable Advanced Hepatocellular Carcinoma	Annals of Surgical Oncology. 2024 Dec 12;32(3):1837-1838	Original Article
163	Kenta Makino, Takamichi Ishii, Haruhiko Takeda, et al.	肝胆膵・移植外科	Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency	Journal of Pathology. 2024 May ;263(1):32-46	Original Article
164	Kenta Makino, Takamichi Ishii, Haruhiko Takeda, et al.	肝胆膵・移植外科	Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency	The Journal of Pathology. 2024 May ;263(1):32-46	Original Article
165	Kenta Makino, Takamichi Ishii, Haruhiko Takeda, et al.	肝胆膵・移植外科	Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency.	The Journal of pathology. 2024 May ;263(1):32-46	Original Article
166	Takashi Ito, Kojiro Taura, Ken Fukumitsu, et al.	肝胆膵・移植外科	Safety and efficacy of living donor liver transplantation for unresectable perihilar cholangiocarcinoma: A single center prospective study	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences. 2025 Feb 25;32(4):276-286	Original Article
167	Koichiro Hata, Takahiro Nishio, Motoyuki Kumagai, et al.	肝胆膵・移植外科	Venous outflow reconstruction in living-donor liver transplantation for Budd-Chiari syndrome involving vena cava.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences. 2024 Aug ;31(8)	Original Article
168	Osada H, Sakaguchi H, Yamazaki K, et al	心臓血管外科	Mycotic pulmonary artery pseudoaneurysm following total arch replacement: a case report.	Surg Case Rep. 2024 May 3;10(1):109. (オンライン)	Original Article
169	Matsuo T, Shimamoto T, Fuku Y, et al	心臓血管外科	Brachiocephalic Artery Access Without A?Sternotomy in Older Asian Patients Undergoing Transcatheter Aortic Valve Replacement.	JACC Asia. 2024 May 14;4(6):495-499. (オンライン)	Original Article
170	Iida J, Kotani K, Murata K, et al	心臓血管外科	Retention of locally injected human iPS cell-derived cardiomyocytes into the myocardium using hydrolyzed gelatin.	Sci Rep. 2025 Feb 7;15(1):4635. (オンライン)	Original Article
171	Minatoya K	心臓血管外科	Commentary: TEVAR or not TEVAR: That is the question.	JTCVS Tech. 2024 Sep 19;28:8-9. (オンライン)	Original Article
172	Hiroaki Osada, Kyohei Yamaji, Tsutomu Suzuki, et al.	心臓血管外科	Anomalous right coronary artery arising from the left main coronary artery causing myocardial infarction.	JTCVS techniques. 2024 Apr ;24:105-108	Original Article
173	Date N, Ohsumi A, Minatoya K, et al	呼吸器外科	Living-donor lobar lung transplantation for pulmonary Langerhans cell histiocytosis complicated by extensive thrombi in central pulmonary arteries.	Surg Case Rep. 2024 Jul 11;10(1):169. (オンライン)	Original Article

174	Sakanoue I, Hamaji M, Nakajima D, et al	呼吸器外科	Pulmonary Metastasectomy after Immune Checkpoint Inhibitors in Renal Cell Carcinoma.	Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Jan;73(1):86-89.	Case Report
175	Tanaka S, Takahashi M, Kayawake H, et al	呼吸器外科	Differences in chronic lung allograft dysfunction between deceased-donor lung transplantation and living-donor lobar lung transplantation.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Oct 10;S0022-5223(24)00913-9.	Original Article
176	Kayawake H, Okami J, Shintani Y, et al	呼吸器外科	Predictors of nodal upstaging in clinical N1 nonsmall cell lung cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Mar 5;55(3):283-289.	Original Article
177	Kayawake H, Sakanoue I, Tanaka S, et al	呼吸器外科	Influence of HLA mismatch between donors and recipients on postoperative outcomes in cadaveric lung transplantation.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec 9.	Original Article
178	Yutaka Y, Ryo T, Date H	呼吸器外科	Sleeve basal segmentectomy with pulmonary artery division for lung cancer: how to do it.	Surg Today. 2025 Feb 7.	Original Article
179	Nakajima D, Sakanoue I, Kayawake H, et al	呼吸器外科	Adult living-donor lobar lung transplant using a small-for-size graft.	Eur J Cardiothorac Surg. 2024 Nov 28;66(6):ezae390.	Original Article
180	Ryo T, Nakajima D, Kimura S, et al	呼吸器外科	Lung transplantation for diffuse pulmonary arteriovenous malformations associated with juvenile polyposis-hereditary hemorrhagic telangiectasia overlap syndrome: a case report.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2024 Dec 27;3(1):57. (オンライン)	Original Article
181	Yutaka Y, Nishikawa S, Tanaka S, et al	呼吸器外科	Extended segmentectomy for intersegmental lesions with intraoperative surgical margin assessment by radiofrequency identification markers.	JTCVS Tech. 2024 Sep 11;28:141-150. (オンライン)	Original Article
182	Yojiro Yutaka, Shigeto Nishikawa, Satona Tanaka, et al.	呼吸器外科	Extended segmentectomy for intersegmental lesions with intraoperative surgical margin assessment by radiofrequency identification markers	JTCVS Techniques. 2024 Sep	Original Article
183	Yojiro Yutaka, Masatsugu Hamaji, Toshi Menju, et al.	呼吸器外科	Thoracoscopic precision excision technique for small lung lesions using radiofrequency identification marking	Surgery Today. 2024 May	Original Article
184	Yojiro Yutaka, Taichi Matsubara, Satona Tanaka, et al.	呼吸器外科	Uniportal thoracoscopic posterior basal (S10) segmentectomy using a posterior approach.	Multimedia manual of cardiothoracic surgery : MMCTS. 2024 Dec 12;2024	Original Article
185	Sakai C, Sakai N, Peterson C, et al	脳神経外科	Investigator-initiated clinical trial of stabilizer device: A novel intracranial exchange guidewire for neuroendovascular treatments.	Interv Neuroradiol. 2024 Aug 7;15910199241262851.	Original Article
186	Takada S, Kamata T, Yamashita H, et al	脳神経外科	False-Negative Motor-Evoked Potential Due to Contrast-Induced Encephalopathy During Coil Embolization for Intracranial Aneurysm: A Case Report.	Cureus. 2024 Nov 11;16(11):e73487. (オンライン)	Case Report
187	Akiyama R, Ishii A, Sasaki N, et al	脳神経外科	Magnesium-based bioresorbable flow diverter for intracranial aneurysms: a pilot study of biocompatibility and bioresorption in a rabbit vascular model.	J Neurointerv Surg. 2025 Jan 27;jnis-2024-022527.	Original Article
188	Funaki T, Miyamoto S	脳神経外科	Moyamoya Periventricular Choroidal Collateral Registry-A Multicenter Cohort Study of Moyamoya Disease with Choroidal Anastomosis: Study Protocol.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Oct 15;64(10):376-381.	Original Article
189	Itani M, Okada A, Arakawa Y, et al	脳神経外科	The potential of disulfiram as a drug to improve the prognosis after the onset of subarachnoid hemorrhage.	Neuroscience. 2024 Oct 4;557:51-55.	Original Article
190	Sasagasako T, Mineharu Y, Funaki T, et al	脳神経外科	RNF213 Mutation Associated with the Progression from Middle Cerebral Artery Steno-Occlusive Disease to Moyamoya Disease.	Transl Stroke Res. 2024 Aug 27.	Original Article
191	Sasagasako T, Ueda A, Mineharu Y, et al	脳神経外科	Postoperative Karnofsky performance status prediction in patients with IDH wild-type glioblastoma: A multimodal approach integrating clinical and deep imaging features.	PLoS One. 2024 Nov 11;19(11):e0303002. (オンライン)	Original Article
192	Inai S, Sano N, Takeuchi Y, et al	脳神経外科	Cerebral cavernous malformation with prolonged postoperative paralysis due to perilesional inflammation: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Dec 2;8(23):CASE24570. (オンライン)	Original Article
193	Shigeki Takada, Yasuhide Takeuchi, Yasuhide Makino, et al.	脳神経外科	AB014. The accurate classification of high-grade glioma, IDH-wildtype, is based on methylation profiling: a case report.	Chinese clinical oncology. 2024 Aug ;13:AB014	Original Article
194	Takuya Wakabayashi, Shigeki Takada, Yoshitaka Tsujimoto, et al.	脳神経外科	Cerebral Venous Sinus Thrombosis Associated With Subclinical Hypothyroidism: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2024 Jun ;16(6):e62333	Original Article
195	So Matsukawa, Akira Ishii, Yasutaka Fushimi, et al.	脳神経外科	Efficacy of high-resolution vessel wall MRI in the postoperative assessment of intracranial aneurysms following flow diversion treatment.	Journal of neurosurgery. 2024 Aug 30:1-10	Original Article
196	Ryo Akiyama, Akira Ishii, Natsuhi Sasaki, et al.	脳神経外科	Magnesium-based bioresorbable flow diverter for intracranial aneurysms: a pilot study of biocompatibility and bioresorption in a rabbit vascular model	Journal of NeuroInterventional Surgery. 2024 Nov 20;jnis-2024	Original Article
197	Akada M, Muraoka Y, Morooka S, et al	眼科	Severe Circulatory Disturbance in Optic Disc, Retina, and Choroid Following Sub-Tenon Triamcinolone Acetonide Injection for Posterior Scleritis.	Retin Cases Brief Rep. 2024 Jul 23.	Original Article
198	Nakao SY, Miyata M, Yamamoto A, et al	眼科	Differences in the corrective effects of vertical transposition accompanied by recession-resection of the horizontal rectus muscles for complicated vertical deviation.	Eye (Lond). 2024 Dec;38(17):3252-3257.	Original Article

199	Miyake M, Mori Y, Wada S, et al	眼科	Comparison of a Novel Head-Mounted Objective Auto-perimetry (Gaze Analyzing Perimeter) and Humphrey Field Analyzer.	Ophthalmol Glaucoma. 2024 Sep-Oct;7(5):445-453.	Original Article
200	Sato Y, Ueda-Arakawa N, Takahashi A, et al	眼科	Clinical Characteristics and Progression of Pachychoroid and Conventional Geographic Atrophy.	Ophthalmol Sci. 2024 Apr 10;4(5):100528. (オンライン)	Original Article
201	Akada M, Muraoka Y, Morooka S, et al	眼科	Blood flow alterations in cavernous sinus dural arteriovenous fistula: Optical coherence tomography angiography findings.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2024 May 3;34:102066. (オンライン)	Case Report
202	Kogo T, Muraoka Y, Ishikura M, et al	眼科	Structural changes in laser-induced retinopathy examined by adaptive optics optical coherence tomography.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2024 Apr 10;34:102052. (オンライン)	Case Report
203	Kogo T, Muraoka Y, Kubota H, et al	眼科	Transient Retinal Vessel Whitening After Whole-Ventricle Radiotherapy.	Cureus. 2025 Mar 6;17(3):e80178. (オンライン)	Case Report
204	Ikeda HO, Hasegawa T, Abe H, et al	眼科	Efficacy and Safety of Branched Chain Amino Acids on Retinitis Pigmentosa: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Clinical Trial.	Transl Vis Sci Technol. 2024 Aug 1;13(8):29.	Original Article
205	Mori Y, van Dijk EHC, Miyake M, et al	眼科	Genome-wide association and multi-omics analyses provide insights into the disease mechanisms of central serous chorioretinopathy.	Sci Rep. 2025 Mar 17;15(1):9158. (オンライン)	Original Article
206	Yoshida M, Murakami T, Nishikawa K, et al	眼科	Severity Scale of Diabetic Macular Ischemia Based on the Distribution of Capillary Nonperfusion in OCT Angiography.	Ophthalmol Sci. 2024 Sep 7;5(1):100603. (オンライン)	Original Article
207	Akiyama Y, Muraoka Y, Kogo T, et al	眼科	Multimodal chorioretinal imaging in Wyburn-Mason syndrome: A case report.	Heliyon. 2024 Jul 20;10(14):e34872. (オンライン)	Case Report
208	Kogo T, Muraoka Y, Hata M, et al	眼科	Preferential Locations of Polypoidal Lesions and Adjacent Pigment Epithelium Detachments in Polypoidal Choroidal Vasculopathy in a Japanese Population.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2025 Feb 3;66(2):70.	Original Article
209	Takuro Kamei, Masahiro Miyake, Ai Kido, et al.	眼科	Annual Trend of Myopia and High Myopia in Children in Japan: a Nationwide Claims Database Study	Ophthalmology Science. 2025 Feb	Original Article
210	Akada M, Muraoka Y, Morooka S, et al.	眼科	Blood flow alterations in cavernous sinus dural arteriovenous fistula: Optical coherence tomography angiography findings	American Journal of Ophthalmology case reports. 2024 Jun ;34:102066	Original Article
211	Yukiko Sato, Naoko Ueda-Arakawa, Ayako Takahashi, et al.	眼科	Clinical Characteristics and Progression of Pachychoroid and Conventional Geographic Atrophy	Ophthalmology Science. 2024 Sep ;4(5):100528-100528	Original Article
212	Masayuki Hata, Maki Hata, Agnieszka Dejda, et al.	眼科	Corticosteroids reduce pathological angiogenesis yet compromise reparative vascular remodeling in a model of retinopathy	Proceedings of the National Academy of Sciences. 2024 Dec 24	Original Article
213	Katsumasa Sakurai, Kenji Suda, Tadamichi Akagi, et al.	眼科	Effect of Ripasudil on the Change Rates of the Circumpapillary Retinal Nerve Fiber Layer Thickness in Patients With Primary Open-Angle Glaucoma	Journal of Ophthalmology. 2025 Jan	Original Article
214	TAKAHIRO KOGO, YUKI MURAOKA, MASAHARU ISHIKURA, et al.	眼科	Pigment Epithelial Detachment and Leak Point Locations in Central Serous Chorioretinopathy	American Journal of Ophthalmology. 2024 May ;261:19-27	Original Article
215	Manabu Miyata, Ai Kido, Masahiro Miyake, et al.	眼科	Prevalence and Incidence of Strabismus by Age Group in Japan: A Nationwide Population-Based Cohort Study	American Journal of Ophthalmology. 2024 Jun	Original Article
216	Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Outcomes of laryngeal framework surgeries for unilateral vocal cord paralysis in the elderly patients.	Auris Nasus Larynx. 2024 Aug;51(4):703-707.	Original Article
217	Suehiro A, Honda K, Kishimoto Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Modified method for tracheoesophageal fistula closure in intractable cases.	Auris Nasus Larynx. 2024 Aug;51(4):774-778.	Case Report
218	Suehiro A, Kojima T, Iwanaga K, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Phonosurgery training using Japanese deer larynx.	Auris Nasus Larynx. 2024 Aug;51(4):713-716.	Original Article
219	Yamazaki H, Moroto S, Yamazaki T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Significant influence of prelingual deafness but less impact of elderly age at implantation on long-term psychoacoustic CI programming parameters.	Auris Nasus Larynx. 2024 Oct;51(5):846-852.	Original Article
220	Kishimoto Y, Mizuno K, Kawai Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	National epidemiological survey on pharyngeal, laryngeal, and tracheal stenosis in Japan: A national survey on airway stenosis.	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec;51(6):911-916.	Original Article
221	Mizuno K, Ohnishi H, Kishimoto Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transplantation of Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Airway Epithelia at Different Induction Stages into Nude Rat.	Cell Reprogram. 2024 Dec;26(6):156-163.	Original Article
222	Koki Hasebe, Tsuyoshi Kojima, Yusuke Okanoue, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Novel evaluation method for facial nerve palsy using 3D facial recognition system in iPhone.	Auris, nasus, larynx. 2024 Jun ;51(3):460-464	Original Article
223	Tsuyoshi Kojima, Shintaro Fujimura, Koki Hasebe, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Objective Assessment of Pathological Voice Using Artificial Intelligence Based on the GRBAS Scale.	Journal of voice : official journal of the Voice Foundation. 2024 May ;38(3):561-566	Original Article

224	Watanabe T, Uozumi R, Yamazaki A, et al	歯科口腔外科	Angled channel retractor for sagittal split ramus osteotomy.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2024 Dec;53(12):1058-1061.	Original Article
225	Watanabe T, Hirota M	歯科口腔外科	Revision surgery for malocclusion after open reduction of mandibular fracture: a case report.	J Korean Assoc Oral Maxillofac Surg. 2025 Feb 28;51(1):54-58.	Case Report
226	Watanabe T, Inoue R, Kawamura T, et al	歯科口腔外科	Intravascular papillary endothelial hyperplasia of the upper lip	J ORAL MAX SURG MED.2024 NOV;36(6):6	Original Article
227	Watanabe T, Inoue R, Kawamura T, et al	歯科口腔外科	Influence of implant length and diameter on implant failure: A retrospective study	J ORAL MAX SURG MED.2024 NOV;36(6):5	Original Article
228	Watanabe T, Mano N, Yamashita K	歯科口腔外科	Maxillary sinus augmentation in a patient with hereditary angioedema with normal C1 inhibitor and familial Mediterranean fever	J ORAL MAX SURG MED.2024 NOV;36(6):5	Original Article
229	Watanabe T, Tokumochi S, Nanashima K, et al	歯科口腔外科	A case of stomatitis caused by Arisaema serratum	J ORAL MAX SURG MED.2024 JUL;36(4):4	Original Article
230	Kashiwagi M, Yamanaka S, Asai K, et al	歯科口腔外科	The role of the cartilage guanylyl cyclase-B receptor in craniofacial skeletal development	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN;37(1):5	Original Article
231	Watanabe T, Kawahara D, Kawamura T, et al	歯科口腔外科	Sialolithiasis of minor salivary glands in multiple areas of the lips: Scanning electron microscopy and energy dispersive X-ray spectroscopy analysis	J ORAL MAX SURG MED.2025 MAR;37(2):6	Original Article
232	T. Watanabe, R. Uozumi, A. Yamazaki, et al.	歯科口腔外科	Angled channel retractor for sagittal split ramus osteotomy	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. 2024 Dec ;53(12):1058-1061	Original Article
233	Takuma Watanabe, Makoto Hirota	歯科口腔外科	Revision surgery for malocclusion after open reduction of mandibular fracture: a case report	Journal of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons. 2025 Feb 28;51(1):54-58	Original Article
234	Otsuki B, Kimura H, Fujibayashi S, et al	整形外科	Posterior Instrumentation without Curettage Promotes Rapid Restoration of Adult Spinal Langerhans Cell Histiocytosis.	Spine Surg Relat Res. 2024 Jun 10;8(6):637-643. (オンライン)	Original Article
235	Murata K, Otsuki B, Shimizu T, et al	整形外科	Sagittal Section Hounsfield Units of the Upper Instrumented Vertebrae as a Predictor of Proximal Junctional Vertebral Fractures Following Adult Spinal Deformity Surgery.	Asian Spine J. 2024 Apr;18(2):209-217.	Original Article
236	Okuzu Y, Tsukanaka M, Goto K, et al	整形外科	Morphological Changes and Concentricity of the Hip Joint During Gradual Reduction in Infants with Late-Detected Developmental Dysplasia of the Hip: A Retrospective Study.	Indian J Orthop. 2024 May 15;58(7):955-963. (オンライン)	Original Article
237	Shimizu T, Otsuki B, Masuda S, et al	整形外科	Factors affecting indirect dural expansion in lateral interbody fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis.	Eur Spine J. 2025 Feb 14.	Original Article
238	Ikezaki T, Kuroda Y, Kawai T, et al	整形外科	Exosomes secreted from human-derived adipose stem cells prevent progression of osteonecrosis of the femoral head.	J Orthop Surg Res. 2024 Nov 26;19(1):793. (オンライン)	Original Article
239	Ikezaki T, Kawai T, Okuzu Y, et al	整形外科	Effects of prior shelf procedure on subsequent conversion total hip arthroplasty.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Nov 26;25(1):963. (オンライン)	Original Article
240	Morita Y, Kuriyama S, Yamawaki Y, et al	整形外科	An anatomical artificial bone implant can improve three-dimensional correction accuracy in open-wedge high tibial osteotomy.	Knee. 2025 Jan;52:78-89.	Original Article
241	Okuzu Y, Tsukanaka M, Shimozono F, et al	整形外科	Clinical outcomes of gradual reduction of late-detected developmental dysplasia of the hip using ultrasound-guided flexion abduction continuous traction: a midterm follow up study.	J Pediatr Orthop B. 2025 Jan 1;34(1):51-56.	Original Article
242	Sono T, Shimizu T, Murata K, et al	整形外科	Correlation Between Quantitative Cage Pressure Measurements and Surgeons' Qualitative Tactile Assessments During Extraction in Lumbar Lateral Interbody Fusion: A Cadaveric Study.	Spine (Phila Pa 1976). 2024 Oct 11.	Original Article
243	Sono T, Shima K, Shimizu T, et al	整形外科	Regenerative therapies for lumbar degenerative disc diseases: a literature review.	Front Bioeng Biotechnol. 2024 Aug 26;12:1417600. (オンライン)	Original Article
244	Shimozono Y, Mori D, Mizuno Y, et al	整形外科	Focused Extracorporeal Shock Wave Therapy for Painful Delayed Union or Nonunion of Fractures of Interphalangeal Coalition.	Foot Ankle Orthop. 2024 Aug 21;9(3):24730114241268307. (オンライン)	Original Article
245	Kawai T, Nishitani K, Okuzu Y, et al	整形外科	Association between acetabular coverage over femoral head and rate of joint space narrowing in non-arthritic hips.	Bone Jt Open. 2025 Jan 15;6(1):93-102. (オンライン)	Original Article
246	Nishitani K, Kobori Y, Yoshitomi H, et al	整形外科	Correspondence on 'Unveiling inflammatory and prehypertrophic cell populations as key contributors to knee cartilage degeneration in osteoarthritis using multi-omics data integration' by Fan et al.	Ann Rheum Dis. 2025 Mar;84(3):e10-e11.	Letter
247	Sono T, Ijiri K, Kakehi K, et al	整形外科	The Cross-Sectional Areas and Anterior-Posterior Balance of the Cervical Paraspinal Muscles in Dropped Head Syndrome and Cervical Spondylotic Myelopathy: A Propensity Score-Matched Analysis.	JOR Spine. 2025 Jan 30;8(1):e70047. (オンライン)	Original Article
248	Ikezaki T, Murata K, Fujii T, et al	整形外科	Factors Associated With Hallux Valgus Progression in Patients With Rheumatoid Arthritis: Insights From Non-Weight-Bearing Radiographs in the KURAMA Cohort.	Int J Rheum Dis. 2025 Feb;28(2):e70131.	Original Article

249	Nakamura S, Kuriyama S, Nishitani K, et al	整形外科	Medial Laxity Leads to Inferior Postoperative Clinical Outcomes and Function in Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty. 2025 Feb 27;S0883-5403(25)00191-3.	Original Article
250	Onishi A, Tanaka M, Fujii T, et al	整形外科	Comparative effectiveness of subcutaneous sarilumab 200A?mg biweekly, subcutaneous Tocilizumab 162A?mg biweekly, and intravenous Tocilizumab 8A?mg/kg every 4 weeks in patients with rheumatoid arthritis: a prospective cohort study.	Arthritis Res Ther. 2025 Mar 7;27(1):52. (オンライン)	Original Article
251	Murata K, Uozumi R, Fujii T, et al	整形外科	Effects of IL-6, JAK, TNF inhibitors, and CTLA4-Ig on knee symptoms in patients with rheumatoid arthritis.	Sci Rep. 2024 Jul 2;14(1):15226. (オンライン)	Original Article
252	Fujii T, Murata K, Onizawa H, et al	整形外科	The influence of medial cuneiform inclination on postoperative hallux valgus recurrence in rheumatoid arthritis patients: Insights from the KURAMA cohort study.	Int J Rheum Dis. 2024 May;27(5):e15168.	Original Article
253	Fujii T, Murata K, Kohjitan H, et al	整形外科	Predicting rheumatoid arthritis progression from seronegative undifferentiated arthritis using machine learning: a deep learning model trained on the KURAMA cohort and externally validated with the ANSWER cohort.	Arthritis Res Ther. 2025 Mar 26;27(1):65. (オンライン)	Original Article
254	Shimozono Y, Mizuno Y, Funakoshi N, et al	整形外科	Ganglion Cyst of the Foot Causing Second and Third Metatarsal Stress Reactions and Fractures: A Case Report.	Cureus. 2024 Jul 25;16(7):e65387. (オンライン)	Case Report
255	Kohei Nishitani, Yu Kobori, Hiroyuki Yoshitomi, et al.	整形外科	Correspondence on ‘Unveiling inflammatory and prehypertrophic cell populations as key contributors to knee cartilage degeneration in osteoarthritis using multi-omics data integration’ by Fan et al	Annals of the Rheumatic Diseases. 2025 Mar	Original Article
256	Tatsuhito Ikezaki, Koichi Murata, Takayuki Fujii, et al.	整形外科	Factors Associated With Hallux Valgus Progression in Patients With Rheumatoid Arthritis: Insights From Non-Weight-Bearing Radiographs in the KURAMA Cohort	International Journal of Rheumatic Diseases. 2025 Feb	Original Article
257	Takashi Sono, Kenji Nakatani, Kazuaki Morizane, et al.	整形外科	Massive lumbar disc herniation treated with a transdural approach and posterior fusion. A case report	Interdisciplinary Neurosurgery. 2024 Jun	Original Article
258	Atsushi Tanaka, Keiji Tsuji, Yasuyuki Komiyama, et al.	整形外科	RECAM-J 2023-Validation and development of the Japanese version of RECAM for the diagnosis of drug-induced liver injury.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology. 2024 Apr 20;54(6):503-512	Original Article
259	Takashi Sono, Kenta Ijiri, Kensaku Kakehi, et al.	整形外科	The Cross-Sectional Areas and Anterior?Posterior Balance of the Cervical Paraspinal Muscles in Dropped Head Syndrome and Cervical Spondylotic Myelopathy: A Propensity Score-Matched Analysis	JOR SPINE. 2025 Mar	Original Article
260	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al	形成外科	Simultaneous Reconstruction of the Bilateral Maxillae and Nasal Hard Structure Using a Vascularized and Nonvascularized Fibula.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2024 Jun 25;12(6):e5936. (オンライン)	Case Report
261	Utsunomiya N, Katsube M, Yamaguchi Y, et al	形成外科	Sella turcica and facial bones: Morphological integration in the human fetal cranium.	Orthod Craniofac Res. 2024 Dec;27(6):938-949.	Original Article
262	Saito S, Makino A, Morimoto N	形成外科	Sustained increase of pinch strength after traction treatment for symptomatic distal interphalangeal joint osteoarthritis.	Heliyon. 2024 Jun 11;10(12):e32830. (オンライン)	Original Article
263	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al	形成外科	Double-Flap Elevation From the Ipsilateral Lower Extremity: The Anterior Approach to Fibula Osteo-Cutaneous Flap Elevation.	Ann Plast Surg. 2024 Sep 1;93(3):343-345.	Original Article
264	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al	形成外科	Multiple Buttress Reconstruction for Extended Total Maxillectomy by Mixed Use of Vascularized and Nonvascularized Fibula.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2024 Jun 11;12(6):e5901. (オンライン)	Case Report
265	Tsuge I, Saito S, Munisso MC, et al	形成外科	Noninvasive visualization of the midline-crossing arterial variation in the deep inferior epigastric artery perforator flap using photoacoustic tomography for application in patients with abdominal scars.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2024 Dec;99:1-10.	Original Article
266	Tsuge I, Saito S, Munisso MC, et al	形成外科	Real-Time Subcutaneous Arterial Navigation for Thinning of an Anterolateral Thigh Flap Using Photoacoustic Imaging and Projection Mapping: A Case Report.	Microsurgery. 2025 Jan;45(1):e70013.	Case Report
267	Tsuge I, Saito S, Takatoku K, et al	形成外科	Planned Y-shaped Muscle Wrapping for Salvaging Aortic Graft Infection: Latissimus Dorsi and Reverse Serratus Anterior Muscles.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2024 Nov 25;12(11):e6350. (オンライン)	Case Report
268	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al.	形成外科	Double-flap elevation from the ipsilateral lower extremity: The anterior approach to fibula osteo-cutaneous flap elevation	Annals of Plastic Surgery. 2024 Sep ;93(3):343-345	Original Article
269	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al.	形成外科	Multiple buttress reconstruction for extended total maxillectomy by mixed use of vascularized and nonvascularized fibula	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open. 2024 Jun ;12(6):e5901	Original Article
270	Tsuge I, Saito S, Munisso MC, et al.	形成外科	Non-invasive visualization of the midline-crossing arterial variation in the deep inferior epigastric artery perforator flap using photoacoustic tomography for application in patients with abdominal scars	Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery. 2024 Dec ;99:1-10	Original Article
271	Tsuge I, Saito S, Takatoku K, et al.	形成外科	Planned Y-shaped muscle wrapping for salvaging aortic graft infection: Latissimus dorsi and reverse serratus anterior muscles	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open. 2024 Nov ;12(11):e6350	Original Article
272	Li Y, Sakamoto M, Matsuno K, et al.	形成外科	Potential of gelatin hydrogel nonwoven fabrics (Genocel) as a skin substitute in a diabetic mouse skin defect model	Regenerative Therapy. 2024 May ;27:482-487	Original Article
273	Tsuge I, Saito S, Munisso MC, et al.	形成外科	Real-time subcutaneous arterial navigation for thinning of an anterolateral thigh flap using photoacoustic imaging and projection mapping: A case report	Microsurgery. 2025 Jan ;45(1):e70013	Original Article

274	Itaru Tsuge, Susumu Saito, Maria Chiara Munisso, et al.	形成外科	Real-Time Subcutaneous Arterial Navigation for Thinning of an Anterolateral Thigh Flap Using Photoacoustic Imaging and Projection Mapping: A Case Report	Microsurgery. 2025 Jan 4;45(1)	Original Article
275	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M, et al.	形成外科	Simultaneous reconstruction of the bilateral maxillae and nasal hard structure using a vascularized and nonvascularized fibula	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open. 2024 Jun ;12(6):e5936	Original Article
276	Susumu Saito, Aiko Makino, Naoki Morimoto, et al.	形成外科	Sustained increase of pinch strength after traction treatment for symptomatic distal interphalangeal joint osteoarthritis	Heliyon. 2024 Jun ;10(12):e32830	Original Article
277	Komatsu M, Chigusa Y, Murakami R, et al	産科婦人科	X-ray Pelvimetry Has No Impact on the Outcomes of Trial of Labor after Cesarean Delivery: A Retrospective Single-center Study.	Kobe J Med Sci. 2024 Jun 19;70(2):E70-E76. (オンライン)	Original Article
278	Suzuki N, Chigusa Y, Mogami H, et al	産科婦人科	Current Status and Management Strategies of Obstetric Hemorrhage Using Contrast-enhanced Dynamic Computed Tomography in a Representative Tertiary Perinatal Medical Center in Japan.	JMA J. 2025 Jan 15;8(1):242-248.	Original Article
279	Hamada K, Yamanoi K, Hayashi N, et al	産科婦人科	Re-evaluating prognostic factors for cervical cancer with lymph node metastasis: a Japanese multicenter cohort study based on FIGO 2018.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar;30(3):584-592.	Original Article
280	Sakurai A, Yamaguchi K, Ishida K, et al	産科婦人科	Prognostic significance of neutrophil-to-lymphocyte ratio, platelet-to-lymphocyte ratio, and monocyte-to-lymphocyte ratio in uterine carcinosarcoma.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar;30(3):570-583.	Original Article
281	Koyama S, Okamoto H, Yamanoi K, et al	産科婦人科	A case of grade1 follicular lymphoma diagnosed by laparoscopic lymph node resection: differentiating from late lymph node recurrence of endometrial cancer.	Int Cancer Conf J. 2024 Sep 17;13(4):525-531. (オンライン)	Original Article
282	Yamaguchi K, Higashiyama N, Umemiya M, et al	産科婦人科	Electronic patient-reported outcomes as digital therapeutics for patients with cancer: a narrative review of current practices and future directions.	Int J Clin Oncol. 2025 Jan;30(1):1-16.	Original Article
283	Kitawaki Y, Horie A, Ikeda A, et al	産科婦人科	Intrauterine administration of peripheral blood mononuclear cells helps manage recurrent implantation failure by normalizing dysregulated gene expression including estrogen-responsive genes in mice.	Cell Commun Signal. 2024 Dec 5;22(1):587. (オンライン)	Original Article
284	Inayama Y, Yamaguchi K, Mizuno K, et al	産科婦人科	Changes in Physical Activity Across Cancer Diagnosis and Treatment Based on Smartphone Step Count Data Linked to a Japanese Claims Database: Retrospective Cohort Study.	JMIR Cancer. 2025 Jan 20;11:e58093. (オンライン)	Original Article
285	Tsuyuki K, Egawa M, Ohsuga T, et al	産科婦人科	Association between maternal overprotection and premenstrual disorder: a machine learning based exploratory study.	Biopsychosoc Med. 2025 Feb 24;19(1):4. (オンライン)	Original Article
286	Mandai M	産科婦人科	Celebrating 30A?years of IJCO: shaping the future of clinical oncology.	Int J Clin Oncol. 2025 Feb;30(2):169.	Original Article
287	Ohsuga T, Egawa M, Tsuyuki K, et al	産科婦人科	Association of preconception premenstrual disorders with perinatal depression: an analysis of the perinatal clinical database of a single Japanese institution.	Biopsychosoc Med. 2024 Dec 23;18(1):24. (オンライン)	Original Article
288	Yasuda E, Kawamura Y, Ueda Y, et al	産科婦人科	Potential mechanisms for chorioamniotic membrane rupture after subchorionic hematoma.	Am J Obstet Gynecol. 2025 Jan 30:S0002-9378(25)00064-X.	Original Article
289	Ohsuga T, Egawa M, Takahashi Y, et al	産科婦人科	Association between low MCV in early pregnancy and perinatal mental health in the Japan Environment and Children's Study and the possible effect of iron deficiency.	J Affect Disord. 2024 Jul 1;356:34-40.	Original Article
290	Kohei Hamada, Ryusuke Murakami, Akihiko Ueda, et al.	産科婦人科	A Deep Learning-Based Assessment Pipeline for Intraepithelial and Stromal Tumor-Infiltrating Lymphocytes in High-Grade Serous Ovarian Carcinoma.	The American journal of pathology. 2024 Jul ;194(7):1272-1284	Original Article
291	T. Ohsuga, M. Egawa, Y. Takahashi, et al.	産科婦人科	Association between low MCV in early pregnancy and perinatal mental health in the Japan Environment and Children's Study and the possible effect of iron deficiency	Journal of Affective Disorders. 2024 Jul 1;356:34-40	Original Article
292	Kaori Tsuyuki, Miho Egawa, Takuma Ohsuga, et al.	産科婦人科	Association between maternal overprotection and premenstrual disorder: a machine learning based exploratory study	BioPsychoSocial Medicine. 2025 Feb 24	Original Article
293	Takuma Ohsuga, Miho Egawa, Kaori Tsuyuki, et al.	産科婦人科	Association of preconception premenstrual disorders with perinatal depression: an analysis of the perinatal clinical database of a single Japanese institution	BioPsychoSocial Medicine. 2024 Dec 23;18(1):24-24	Original Article
294	Yoshitsugu Chigusa, Asako Mito, Shintaro Maki, et al.	産科婦人科	Health care provider system for hypertensive disorders of pregnancy in Japan	Hypertension Research in Pregnancy. 2024 Aug 30;12(3):53-57	Original Article
295	Azusa Sakurai, Koji Yamanoi, Ken Yamaguchi, et al.	産科婦人科	Neuroendocrine carcinoma of the uterine cervix with extensive pagetoid spread pattern.	The journal of obstetrics and gynaecology research. 2024 Apr ;50(4):758-763	Original Article
296	Yoshitsugu Chigusa	産科婦人科	Stage 1 hypertension in early pregnancy: a key indicator of adverse perinatal outcomes.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension. 2024 Dec 17	Original Article
297	Misako Yamamoto, Shunsuke Kawahara, Ryusuke Murakami, et al.	産科婦人科	Successful correction of the transverse vaginal septum with a pinhole vaginal foramen using Y-V plasty: A case report.	Case reports in women's health. 2024 Jun ;42	Original Article
298	Masui K, Kume N, Nakao M, et al	泌尿器科	Vision-based estimation of manipulation forces by deep learning of laparoscopic surgical images obtained in a porcine excised kidney experiment.	Sci Rep. 2024 Apr 27;14(1):9686. (オンライン)	Original Article

299	Kita Y, Nomura T, Nakajima S, et al	泌尿器科	Safety and Efficacy of Prophylactic Topical Steroid Administration for Enfortumab Vedotin-related Cutaneous Toxicity.	Eur Urol Open Sci. 2024 Oct 11;70:18-20. (オンライン)	Original Article
300	Sakatani T, Sumiyoshi T, Kita Y, et al	泌尿器科	Clinical Utility of Serial Circulating Tumor DNA Analysis as a Minimally Invasive Biomarker in Advanced Urothelial Cancer.	JCO Precis Oncol. 2025 Jan;9:e2400472.	Original Article
301	Toshihiro Magaribuchi, Masanao Koeda, Kimihiko Masui, et al.	泌尿器科	Accuracy Evaluation of AR Navigation in Partial Nephrectomy	Lecture Notes in Computer Science. 2024 Jun 1:194-202	Original Article
302	Toshihiro Magaribuchi, Kimihiko Masui, Takayuki Goto, et al.	泌尿器科	Current status and challenges of 3D navigation in partial nephrectomy	Mini-invasive Surgery. 2024 Apr 28	Original Article
303	Hajime Takamori, Takayuki Goto, Soki Kashima, et al.	泌尿器科	The real prevalence and clinical courses of non-metastatic castration-resistant prostate cancer: a retrospective single-institutional study.	Japanese journal of clinical oncology. 2025 Jan 17	Original Article
304	Kimihiko Masui, Naoto Kume, Megumi Nakao, et al.	泌尿器科	Vision-based estimation of manipulation forces by deep learning of laparoscopic surgical images obtained in a porcine excised kidney experiment	Scientific Reports. 2024 Apr 27;14(1)	Original Article
305	Mizota T, Hamada M, Hirotsu A, et al	麻酔科	Preoperative forced expiratory volume in one second and postoperative respiratory outcomes in nonpulmonary and noncardiac surgery: a retrospective cohort study.	JA Clin Rep. 2024 Jul 25;10(1):44. (オンライン)	Original Article
306	Taguchi A, Kai S, Matsukawa S, et al	麻酔科	Volatile Anesthetic-Induced Skeletal Muscle Atrophy in Mice and Murine-Derived Myotubes: The Role of the Akt Pathway.	Anesth Analg. 2025 Mar 13.	Original Article
307	Eriko Kusudo, Shuji Kawamoto, Moritoki Egi, et al.	麻酔科	Enhancing acute normovolemic hemodilution in cardiac surgery: the role of remimazolam and hemodynamic stability	Journal of Anesthesia. 2024 Dec 9	Original Article
308	Kume E, Yamakawa M, Miyakoshi C, et al	小児科	Molecular Autopsy With Banked Cord Blood Reveals Brugada Syndrome in Past Sudden Death Case.	Pediatrics. 2024 May 9;153(6):e2023063054. (オンライン)	Case Report
309	Yano N, Chong PF, Kojima KK, et al	小児科	Long-read sequencing identifies an SVA_D retrotransposon insertion deep within the intron of ATP7A as a novel cause of occipital horn syndrome.	J Med Genet. 2024 Sep 24;61(10):950-958. (オンライン)	Case Report
310	Akagi K, Baba S, Fujita H, et al	小児科	HOIL-1L deficiency induces cell cycle alteration which causes immaturity of skeletal muscle and cardiomyocytes.	Sci Rep. 2024 Apr 17;14(1):8871. (オンライン)	Original Article
311	Tomotaki S, Isayama T, Kobayashi T, et al	小児科	Proactive Diagnosis and Tailor-Made Treatment of Patent Ductus Arteriosus in Very Preterm Infants with Routine Echocardiography in Japan: A post hoc Analysis of the PLASE Study.	Neonatology. 2024;121(4):503-511.	Original Article
312	Uchihara Y, Umeda K, Yamada Y, et al	小児科	MGMT protein expression is a reliable predictive biomarker for temozolomide-containing chemotherapy in osteosarcoma.	Cancer Sci. 2024 Oct;115(10):3394-3402.	Original Article
313	Kato I, Tomizawa D, Kato M, et al	小児科	Real-world Outcomes of Commercial Tisagenlecleucel for Children, Adolescents, and Young Adults With Acute Lymphoblastic Leukemia in Japan.	Transplant Cell Ther. 2025 Feb;31(2):86-96.	Original Article
314	Naoko Yano, Pin Fee Chong, Kenji K Kojima, et al.	小児科	Long-read sequencing identifies an SVA_D retrotransposon insertion deep within the intron of ATP7A as a novel cause of occipital horn syndrome	Journal of Medical Genetics. 2024 Jul 2	Original Article
315	Yoshimura M, Yamauchi C, Sanuki N, et al	放射線治療科	The Japanese breast cancer society clinical practice guidelines for radiation treatment of breast cancer, 2022 edition.	Breast Cancer. 2024 May;31(3):347-357.	Original Article
316	Iramina H, Nakamura M, Sasaki M, et al	放射線治療科	Performance of cone-beam computed tomography imaging during megavoltage beam irradiation under phase-gated conditions.	Phys Med. 2024 Jul;123:103409.	Original Article
317	Aizawa R, Ishikawa H, Kato M, et al	放射線治療科	Significance of androgen-deprivation therapy for intermediate- and high-risk prostate cancer treated with high-dose radiotherapy: A literature review.	Int J Urol. 2024 Oct;31(10):1068-1079.	Original Article
318	Yoneyama M, Matsuo Y, Kishi N, et al	放射線治療科	Quantitative analysis of interstitial lung abnormalities on computed tomography to predict symptomatic radiation pneumonitis after lung stereotactic body radiotherapy.	Radiother Oncol. 2024 Sep;198:110408.	Original Article
319	Iizuka Y, Inoue M, Kokubo M, et al	放射線治療科	Long-term results of dynamic tumor-tracking stereotactic body radiotherapy with real-time monitoring using a gimbal-mounted linac for liver tumors: a multicenter observational study.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar 21.	Original Article
320	Iramina H, Tsuneda M, Okamoto H, et al	放射線治療科	Multi-institutional questionnaire-based survey on online adaptive radiotherapy performed using commercial systems in Japan in 2023.	Radiol Phys Technol. 2024 Sep;17(3):581-595.	Original Article
321	Hirashima H, Adachi H, Ono T, et al	放射線治療科	Determination of patient-specific trajectory for biaxially rotational dynamic-radiation therapy using a new O-ring-shaped image guided radiotherapy system.	Phys Imaging Radiat Oncol. 2025 Jan 20;33:100698. (オンライン)	Original Article
322	Yoshimura M, Hiraoka M, Kokubo M, et al	放射線治療科	Multi-Institutional Phase II Study on the Efficacy and Safety of Dynamic Tumor-Tracking, Moderately Hypofractionated Intensity-Modulated Radiotherapy in Patients With Locally Advanced Pancreatic Cancer.	Cancer Med. 2025 Feb;14(3):e70648.	Original Article
323	Adachi T, Mukumoto N, Inokuchi H, et al	放射線治療科	Evaluation of Intrafractional Anatomical Variations During Liver Magnetic Resonance-guided Adaptive Radiation Therapy Under Abdominal Compression Using Optical Flow Calculation.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2025 Mar 15:S0360-3016(25)00239-1.	Original Article

324	Sakanaka K, Fujii K, Kokubo M, et al	放射線治療科	Improvement in Quality of Life and Dysphagia After Palliative External Beam Radiotherapy for Malignant Esophageal Stenosis of Esophageal Cancer.	JCO Oncol Pract. 2025 Mar 13;OP2400429.	Original Article
325	Adachi T, Nakamura M, Matsuo Y, et al	放射線治療科	Prospective external validation of radiomics-based predictive model of distant metastasis after dynamic tumor tracking stereotactic body radiation therapy in patients with non-small-cell lung cancer: A multi-institutional analysis.	J Appl Clin Med Phys. 2024 Oct;25(10):e14475.	Original Article
326	Uto M, Iramina H, Iwai T, et al	放射線治療科	Treatment Time and Dosimetric Advantage in Cone Beam Computed Tomography-Guided Online Adaptive Radiation Therapy Considering Interfractional and Intrafractional Changes in Patients With Gastric Mucosa-Associated Lymphoid Tissue Lymphoma.	Pract Radiat Oncol. 2025 Jan-Feb;15(1):e40-e46.	Original Article
327	Nakajima A, Yoshimura M, Hiraoka S, et al	放射線治療科	Preserving Laryngo-Esophageal Function in Patients With Hypopharyngeal Cancer Treated With Radiotherapy: Predictive Factors and Long-Term Outcomes.	Cancer Med. 2024 Nov;13(21):e70374.	Original Article
328	Kawata K, Hirashima H, Nakata M, et al	放射線治療科	Impact of diaphragm motion on dosimetry in lower thoracic spine stereotactic body radiotherapy.	Phys Med. 2025 Jan;129:104886.	Original Article
329	Adachi T, Nakamura M, Iwai T, et al	放射線治療科	Delta-Radiomics Approach Using Contrast-Enhanced and Noncontrast-Enhanced Computed Tomography Images for Predicting Distant Metastasis in Patients With Borderline Resectable Pancreatic Carcinoma.	Adv Radiat Oncol. 2024 Nov 5;10(1):101669. (オンライン)	Original Article
330	Hiraoka S, Nakajima A, Kikuchi M, et al	放射線治療科	Postoperative hyperfractionated IMRT with weekly cisplatin for head and neck cancer: phase IIa trial.	J Radiat Res. 2025 Mar 24;66(2):167-175.	Original Article
331	Shinya Hiraoka, Aya Nakajima, Masahiro Kikuchi, et al.	放射線治療科	524: Phase IIa trial of postoperative CRT with hyperfractionated IMRT in high-risk patients with HNSCC	Radiotherapy and Oncology. 2024 May ;194:S1204	Original Article
332	Nao Mamuro, Noriko Kishi, Yukinori Matsuo, et al.	放射線治療科	Chronic progressive pulmonary aspergillosis within the irradiated field after stereotactic body radiotherapy: two case reports	International Cancer Conference Journal. 2025 Jan 21	Original Article
333	Hideaki Hirashima, Hiroki Adachi, Tomohiro Ono, et al.	放射線治療科	Determination of patient-specific trajectory for biaxially rotational dynamic-radiation therapy using a new O-ring-shaped image guided radiotherapy system	Physics and Imaging in Radiation Oncology. 2025 Jan ;33:100698-100698	Original Article
334	Katsuyuki Sakanaka, Kota Fujii, Masaki Kokubo, et al.	放射線治療科	Improvement in Quality of Life and Dysphagia After Palliative External Beam Radiotherapy for Malignant Esophageal Stenosis of Esophageal Cancer	JCO Oncology Practice. 2025 Mar 13	Original Article
335	Michio Yoshimura, Masahiro Hiraoka, Masaki Kokubo, et al.	放射線治療科	Multi-Institutional Phase II Study on the Efficacy and Safety of Dynamic Tumor-Tracking, Moderately Hypofractionated Intensity-Modulated Radiotherapy in Patients With Locally Advanced Pancreatic Cancer	Cancer Medicine. 2025 Feb	Original Article
336	Hiraku Iramina, Mitsuhiro Nakamura, Makoto Sasaki, et al.	放射線治療科	Performance of cone-beam computed tomography imaging during megavoltage beam irradiation under phase-gated conditions	Physica Medica. 2024 Jul	Original Article
337	Shinya Hiraoka, Aya Nakajima, Masahiro Kikuchi, et al.	放射線治療科	Postoperative hyperfractionated IMRT with weekly cisplatin for head and neck cancer: phase IIa trial	Journal of Radiation Research. 2025 Mar 5	Original Article
338	Aya Nakajima, Michio Yoshimura, Shinya Hiraoka, et al.	放射線治療科	Preserving Laryngo-Esophageal Function in Patients With Hypopharyngeal Cancer Treated With Radiotherapy: Predictive Factors and Long-Term Outcomes	Cancer Medicine. 2024 Nov 2;13(21)	Original Article
339	Rihito Aizawa, Hitoshi Ishikawa, Manabu Kato, et al.	放射線治療科	Significance of androgen-deprivation therapy for intermediate- and high-risk prostate cancer treated with high-dose radiotherapy: A literature review	International Journal of Urology. 2024 Oct	Original Article
340	Rihito Aizawa, Tomoaki Otani, Takashi Ogata, et al.	放射線治療科	Spatial Pattern of Intraprostatic Recurrence after Definitive External-Beam Radiation Therapy for Prostate Cancer: Implications for Focal Boost to Intraprostatic Dominant Lesion.	Advances in radiation oncology. 2024 Jun ;9(6):101489-101489	Original Article
341	Megumi Uto, Hiraku Iramina, Takahiro Iwai, et al.	放射線治療科	Treatment Time and Dosimetric Advantage in Cone Beam Computed Tomography-Guided Online Adaptive Radiation Therapy Considering Interfractional and Intrafractional Changes in Patients With Gastric Mucosa-Associated Lymphoid Tissue Lymphoma	Practical Radiation Oncology. 2025 Jan	Original Article
342	Onishi Y, Shimizu H, Murakami K, et al	放射線診断科	Removal of a Retained Percutaneous Nephrostomy Balloon Catheter Using a Trocar Needle: A Case Report.	Cureus. 2025 Mar 29;17(3):e81437. (オンライン)	Case Report
343	Nakamura S, Nakatani K, Yoshino K, et al	放射線診断科	Effects of Glucose Intolerance on Physiological Accumulation in Salivary Glands and Palatine Tonsils During 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography.	Cureus. 2024 Aug 21;16(8):e67387. (オンライン)	Original Article
344	Himoto Y, Fujimoto K, Chigusa Y, et al	放射線診断科	Toward Clinical Implementation of Magnetic Resonance Imaging for Placental Function.	Magn Reson Med Sci. 2025 Feb 6.	Original Article
345	Yoshida A, Kohno S, Oka S, et al	放射線診断科	Fallopian fimbriae entrapped in an ovarian endometriotic cyst mimicking malignancy: a case report.	Abdom Radiol (NY). 2025 Mar 17.	Original Article
346	Onishi Y, Shimizu H, Iwano A, et al	放射線診断科	Percutaneous Transmesenteric Access for the Embolization of Bleeding Jejunal Varices at the Hepaticojejunostomy Site: A Case Report.	Cureus. 2025 Jan 1;17(1):e76731. (オンライン)	Case Report
347	Shimizu Y, Ando M, Watanabe H, et al	放射線診断科	Novel technetium-99m-labeled bivalent PSMA-targeting probe based on hydroxamamide chelate for diagnosis of prostate cancer.	Ann Nucl Med. 2024 Oct;38(10):847-851.	Original Article
348	Himoto Y, Nishio M, Yamanoi K, et al	放射線診断科	Reply to Letter to the Editor: Nodal infiltration in endometrial cancer: a prediction model using best subset regression.	Eur Radiol. 2024 Dec;34(12):7696-7697.	Letter

349	Kataoka M, Iima M	放射線診断科	Potential of the Diffusion-based Noncontrast Protocol for Breast Imaging: Current Status and Hints for Improvements.	Radiology. 2024 May;311(2):e241058.	Original Article
350	Tsuji Y, Kotaro S, Isoda H, et al	放射線診断科	Adenoma mimicking intraductal papillary neoplasm of the bile duct arising in an intrahepatic biliary duplication cyst.	BJR Case Rep. 2024 Apr 10;10(3):uaae012. (オンライン)	Case Report
351	Ikeda S, Sakata A, Arakawa Y, et al	放射線診断科	Clinical and imaging characteristics of supratentorial glioma with IDH2 mutation.	Neuroradiology. 2024 Jun;66(6):973-981.	Original Article
352	Nakamoto Y, Inui Y, Hotta M, et al	放射線診断科	Recent advancements in new tracers from first-in-human studies.	Ann Nucl Med. 2024 Nov;38(11):877-883.	Original Article
353	Koyasu S	放射線診断科	Imaging of thymic epithelial tumors—a clinical practice review.	Mediastinum. 2024 Jun 7;8:41. (オンライン)	Original Article
354	Okuchi S, Fushimi Y, Sakata A, et al	放射線診断科	Comparison of SS-EPI DWI and one-minute TGSE-BLADE DWI for diagnosis of acute infarction.	Sci Rep. 2025 Feb 22;15(1):6512. (オンライン)	Original Article
355	Kataoka M	放射線診断科	Breast arterial calcification can be integrated into mammographic reports with minimal effort from radiologists.	Diagn Interv Imaging. 2025 Mar;106(3):81-82.	Original Article
356	Masako Kataoka, Takayoshi Uematsu	放射線診断科	AI Systems for Mammography with Digital Breast Tomosynthesis: Expectations and Challenges.	Radiology. Imaging cancer. 2024 Jul ;6(4)	Original Article
357	Satoshi Ikeda, Akihiko Sakata, Yoshiki Arakawa, et al.	放射線診断科	Clinical and imaging characteristics of supratentorial glioma with IDH2 mutation	Neuroradiology. 2024 Jun	Original Article
358	Azusa Sakurama, Yasutaka Fushimi, Satoshi Nakajima, et al.	放射線診断科	Comparison study of quantitative susceptibility mapping with GRAPPA and wave-CAIPI: reproducibility, consistency, and microbleeds detection	Japanese Journal of Radiology. 2024 Oct 29	Original Article
359	Satoshi Ikeda, Akihiko Sakata, Yoshiki Arakawa, et al.	放射線診断科	Correction to: Clinical and imaging characteristics of supratentorial glioma with IDH2 mutation.	Neuroradiology. 2024 Apr 29;66(6):983-983	Original Article
360	Masako Kataoka, Yuki Himoto	放射線診断科	Editorial for “Deep Learning Radiomic Analysis of MRI Combined with Clinical Characteristics Diagnoses Placenta Accreta Spectrum and its Subtypes”.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI. 2024 Dec ;60(6):2716-2717	Original Article
361	Masako Kataoka, Yuki Himoto	放射線診断科	Editorial for “Deep Learning Radiomic Analysis of MRI Combined with Clinical Characteristics Diagnoses Placenta Accreta Spectrum and its Subtypes”	Journal of Magnetic Resonance Imaging. 2024 Dec	Original Article
362	Mitsuhiro Kiritani, Yuki Himoto, Yasuhisa Kurata, et al.	放射線診断科	Feasibility/clinical utility of half-Fourier single-shot turbo spin echo imaging combined with deep learning reconstruction in gynecologic magnetic resonance imaging.	Abdominal radiology (New York). 2024 Dec 18	Original Article
363	Yurika Kitano, Kanae K Miyake, Yoichi Shimizu, et al.	放射線診断科	Intratumoral Heterogeneity of Primary Breast Cancer on 18F-FES PET/CT and dbPET Anticipated a Heterogeneous Response to Chemotherapy.	Clinical nuclear medicine. 2025 Jan 20	Original Article
364	Yasutaka Fushimi, Satoshi Nakajima, Akihiko Sakata, et al.	放射線診断科	Value of Quantitative Susceptibility Mapping in Clinical Neuroradiology	Journal of Magnetic Resonance Imaging. 2024 Jun	Original Article
365	Nakajima S, Nakamizo S, Nomura T, et al	皮膚科	Integrating multi-omics approaches in deciphering atopic dermatitis pathogenesis and future therapeutic directions.	Allergy. 2024 Sep;79(9):2366-2379.	Original Article
366	Nakamizo S, Doi H, Kabashima K	皮膚科	Metabolic dynamics in psoriatic epidermis: Enhanced glucose and lactate uptake, glycolytic pathway and TCA cycle dynamics.	Exp Dermatol. 2024 Jul;33(7):e15127.	Letter
367	Nakayama S, Yonekura S, Nakajima S, et al	皮膚科	Immediate and sustained efficacy of nemolizumab in chronic pruritus of unknown origin.	J Dermatol. 2025 Feb 22.	Letter
368	Mostafa A, Sakurai K, Murata T, et al	皮膚科	Recombinant human thioredoxin ameliorates imiquimod-induced psoriasis-like dermatitis in mice.	J Dermatol Sci. 2024 Oct;116(1):55-58.	Letter
369	Hirano T, Egawa G, Nomura T, et al	皮膚科	Multiple Nail Dystrophy Associated with Human Papillomavirus Type 29 (HPV-29).	Acta Derm Venereol. 2025 Mar 31;105:adv43160. (オンライン)	Original Article
370	Nakayama S, Kambe N, Irie H, et al	皮膚科	Psoriasiform Dermatitis Following Kawasaki Disease: A Case Report and Literature Review.	Pediatr Dermatol. 2024 Dec 27.	Case Report
371	Nakayama S, Miyake T, Irie H, et al	皮膚科	Paraneoplastic acral vascular syndrome with histological cutaneous thrombotic vasculopathy in a pancreatic carcinoma patient.	Int J Dermatol. 2025 Mar;64(3):578-579.	Letter
372	Satoshi Nakamizo, Xianghong Yan, Kenji Kabashima, et al.	皮膚科	Enhancement of skin barrier function and augmentation of epidermal cell-cell interactions by galactomyces ferment filtrate.	Journal of dermatological science. 2024 Aug ;115(2):94-97	Original Article
373	Naotomo Kambe, Mayuko Yamamoto, Koji Takemura, et al.	皮膚科	Investigator-initiated, multi-center, single-arm, open-label study of the effectiveness of canakinumab in Japanese patients with Schnitzler syndrome	Allergology International. 2024 Dec	Original Article

374	Satoshi Nakamizo, Hiromi Doi, Kenji Kabashima, et al.	皮膚科	Metabolic dynamics in psoriatic epidermis: Enhanced glucose and lactate uptake, glycolytic pathway and TCA cycle dynamics	Experimental Dermatology. 2024 Jul ;33(7):e15127	Original Article
375	Satoshi Nakamizo, Kenji Kabashima	皮膚科	Metabolic reprogramming and macrophage polarization in granuloma formation.	International immunology. 2024 Jun 8;36(7):329-338	Original Article
376	Shota Nakayama, Naotomo Kambe, Hiroyuki Irie, et al.	皮膚科	Psoriasisiform Dermatitis Following Kawasaki Disease: A Case Report and Literature Review	Pediatric Dermatology. 2024 Dec 27	Original Article
377	Kyuragi Y, Oishi N, Hatakoshi M, et al	精神科神経科	Segmentation and Volume Estimation of the Habenula Using Deep Learning in Patients With Depression.	Biol Psychiatry Glob Open Sci. 2024 Apr 3;4(4):100314. (オンライン)	Original Article
378	Yao L, Hikida K, Lu Y, et al	精神科神経科	Brain network alterations in mobile phone use problem severity: A multimodal neuroimaging analysis.	J Behav Addict. 2025 Mar 21;14(1):416-429. (オンライン)	Original Article
379	Yamauchi H, Kagawa S, Kusano K, et al	精神科神経科	Tau Deposition in Secondary Thalamic Degeneration due to Cerebral Infarction in Humans: A Florzotolau ((18)F) Positron Emission Tomography Study.	Stroke. 2024 Sep;55(9):e247-e248.	Case Report
380	Kido K, Sugita N, Murai T, et al	精神科神経科	Diagnostic usefulness of 24-h polysomnography for idiopathic hypersomnia co-occurring with neurodevelopmental disorders: A case report.	PCN Rep. 2024 Nov 17;3(4):e70032. (オンライン)	Original Article
381	Inaba H, Nishikawa Y, Tsuboi H, et al	精神科神経科	Psychological support by full-time school counselors from the City of Nagoya after the 2024 Noto Earthquake: An activity report.	PCN Rep. 2025 Mar 4;4(1):e70074. (オンライン)	Original Article
382	Dai Q, Kyuragi Y, Zakia H, et al	精神科神経科	The role of sleep quality in mediating the relationship between habenula volume and resilience.	Psychiatry Res. 2025 Feb;344:116358.	Original Article
383	Lichang Yao, Keigo Hikida, Yinping Lu, et al.	精神科神経科	Brain network alterations in mobile phone use problem severity: A multimodal neuroimaging analysis	Journal of Behavioral Addictions. 2025 Mar 21;14(1):416-429	Original Article
384	Toshiya Murai, Kento Takahashi, Taro Suwa, et al.	精神科神経科	Gray and White Matter Microstructural Alterations in Major Depressive Disorder: A Multi-Center Diffusion Imaging Study	preprint. 2024 Dec 26	Original Article
385	Qi Dai, Yusuke Kyuragi, Halwa Zakia, et al.	精神科神経科	Psychological resilience is positively correlated with Habenula volume	Journal of Affective Disorders. 2024 Aug ;365:178-184	Original Article
386	Qi Dai, Yusuke Kyuragi, Halwa Zakia, et al.	精神科神経科	Psychological resilience is positively correlated with Habenula volume.	Journal of affective disorders. 2024 Aug 14;365:178-184	Original Article
387	Yusuke Kyuragi, Naoya Oishi, Momoko Hatakoshi, et al.	精神科神経科	Segmentation and volume estimation of habenula using deep-learning in patients with depression	Biological Psychiatry Global Open Science. 2024 Apr:100314-100314	Original Article
388	Yusuke Kyuragi, Naoya Oishi, Momoko Hatakoshi, et al.	精神科神経科	Segmentation and Volume Estimation of the Habenula Using Deep Learning in Patients With Depression	Biological Psychiatry Global Open Science. 2024 Jul ;4(4):100314-100314	Original Article
389	Qi Dai, Yusuke Kyuragi, Halwa Zakia, et al.	精神科神経科	The role of sleep quality in mediating the relationship between habenula volume and resilience	Psychiatry Research. 2025 Feb ;344:116358-116358	Original Article
390	Hamada R, Arai Y, Kitawaki T, et al	リハビリテーション科	Fluctuation of physical function during chimeric antigen receptor T-cell therapy during rehabilitation intervention: Real-world data and risk factor analyses.	EJHaem. 2024 Nov 4;5(6):1252-1259. (オンライン)	Original Article
391	Ito H, Yoshizawa A, Terada K, et al	病理診断科	A Deep Learning-Based Assay for Programmed Death Ligand 1 Immunohistochemistry Scoring in Non-Small Cell Lung Carcinoma: Does it Help Pathologists Score?	Mod Pathol. 2024 Jun;37(6):100485.	Original Article
392	Katsuragawa H, Ito H, Handa T, et al	病理診断科	Location of Fibroblastic Foci: Does the Lesion You Observe Really Suggest Usual Interstitial Pneumonia?	Mod Pathol. 2025 Mar;38(3):100675.	Original Article
393	Takayuki Anazawa, Shigeru Marubashi, Shohda Kodama, et al.	臓器移植医療部	Efficacy and Safety of Allogeneic Islet Transplantation Demonstrated by a Multicenter Clinical Trial in Japan	Transplantation Direct. 2025 Feb 7	Original Article
394	Yuki Teramoto, Mohammad Amin Elahi Najafi, Takuo Matsukawa, et al.	臓器移植医療部	Latrophilins as Downstream Effectors of Androgen Receptors including a Splice Variant, AR-V7, Induce Prostate Cancer Progression	International Journal of Molecular Sciences. 2024 Jul 2	Original Article
395	Takayuki Fujii, Koichi Murata, Hideo Onizawa, et al.	リウマチセンター	Management and treatment outcomes of rheumatoid arthritis in the era of biologic and targeted synthetic therapies: evaluation of 10-year data from the KURAMA cohort	Arthritis Research and Therapy. 2024 Dec ;26(1)	Original Article
396	Matsumura Y, Yamamoto M, Tsuda Y, et al	検査部	Epidemiology of respiratory viruses according to age group, 2023-24 winter season, Kyoto, Japan.	Sci Rep. 2025 Jan 6;15(1):924. (オンライン)	Original Article
397	Shushi Nishiwaki, Satoshi Shizuta, Hirohiko Kohjitani, et al.	検査部	Insight from the microelectrodes in case of two different types of premature ventricular contractions originating from left ventricular summit	Indian Pacing and Electrophysiology Journal. 2024 May	Original Article
398	Tomoyasu Jo, Kyoko Yoshihara, Masaki Ri, et al.	検査部	Low platelet counts and low CD4/CD8 ratios at apheresis increase the risk of CAR-T cell manufacturing failure in myeloma	Blood Neoplasia. 2024 Oct ;100051-100051	Original Article

399	Tomoyasu Jo, Kosuke Inoue, Tomoaki Ueda, et al.	検査部	Machine learning evaluation of intensified conditioning on haematopoietic stem cell transplantation in adult acute lymphoblastic leukemia patients	Communications Medicine. 2024 Nov 25;4(1)	Original Article
400	Koh Shinohara, Satoru Itoi, Shigeki Nakamura, et al.	検査部	Micafungin-breakthrough <i>Coniochaeta hoffmannii</i> (Lecythophora <i>hoffmannii</i>) fungemia following cord blood transplant in a patient with acute myeloid leukemia successfully treated with voriconazole	Journal of Infection and Chemotherapy. 2024 Sep	Original Article
401	Okamura R, Aoyama R, Tsunoda S, et al	手術部	Management challenges and the role of adjuvant chemotherapy in remnant gastric cancer: an analysis of 313 patients from the KEGG multicenter observational study.	Gastric Cancer. 2024 Nov;27(6):1302-1310.	Original Article
402	Hatano E	手術部	Donor, Not Recipient, Liver Immune Status Index Determines Early Recurrence in Living Donor Liver Transplantation.	JMA J. 2024 Apr 15;7(2):240-241.	Original Article
403	Nishino H, Nishimura T, Miyashita S, et al	手術部	Preoperative diagnosis of adhesion severity between the abdominal wall and intestinal tract with novel abdominal ultrasound methodology to enhance surgical safety.	Surgery. 2024 Aug;176(2):469-476.	Original Article
404	Aisu Y, Oshima N, Hyodo F, et al	手術部	Dual inhibition of oxidative phosphorylation and glycolysis exerts a synergistic antitumor effect on colorectal and gastric cancer by creating energy depletion and preventing metabolic switch.	PLoS One. 2024 Dec 12;19(12):e0309700. (オンライン)	Original Article
405	Hatano E, Yoh T, Ishii T	手術部	Modification of the "new world" terminology: A new comprehensive notation for hepatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Oct;31(10):689-690.	Original Article
406	Nakamura N, Nagai K, Kaneda A, et al	手術部	Novel method to prevent severe postoperative pancreatic fistula caused by lipolysis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2025 Mar 5.	Original Article
407	Sakamoto T, Nishigori T, Goto R, et al	手術部	Relationship between hospital surgical volume and the perioperative esophagectomy costs for esophageal cancer: a nationwide administrative claims database study.	Esophagus. 2025 Jan;22(1):27-36.	Original Article
408	Horie H, Oshima Y, Fukumitsu K, et al	手術部	Antithrombotic Revascularization Strategy of Bioengineered Liver Using a Biomimetic Polymer.	Tissue Eng Part A. 2024 Sep 25.	Original Article
409	Aoki H, Ito T, Hirata M, et al	手術部	Adverse effects of graft congestion and ameliorative effects of hepatocyte growth factor after liver transplantation in rats.	Liver Transpl. 2025 Jan 1;31(1):11-23.	Original Article
410	Hoshino N, Fukui Y, Ueno K, et al	手術部	Identification of lateral pelvic nodes without metastasis in patients with rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy or chemotherapy based on magnetic resonance imaging.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Jun 1;8(5):732-739. (オンライン)	Original Article
411	Tanaka K, Ito T, Uchida Y, et al	手術部	Liver Retransplantation Using Living Donor Grafts: A Feasible Approach for Chronic Allograft Failure.	Transplantation. 2025 Jan 1;109(1):174-185.	Original Article
412	Karasuyama T, Ishii T, Yoh T, et al	手術部	Aggressive Multidisciplinary Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: The Achievement of a Pathologic Complete Response and Long-Term Survival.	Ann Surg Oncol. 2025 Mar;32(3):1819-1820.	Case Report
413	Karasuyama T, Ishii T, Yoh T, et al	手術部	ASO Author Reflections: The Role of Salvage Surgery in Multidisciplinary Treatment for Unresectable Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2025 Mar;32(3):1837-1838.	Original Article
414	Mikawa T, Yoshida K, Kondoh H	手術部	Senotherapy preserves resilience in aging.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Sep;24(9):845-849.	Original Article
415	Kitano S, Kanazawa Y, Harada M, et al	放射線部	Conversion map from quantitative parameter mapping to myelin water fraction: comparison with R(1)A•R(2)(*) and myelin water fraction in white matter.	MAGMA. 2024 Oct;37(5):887-898.	Original Article
416	Nozoe S, Terazaki K, Sasaki M, et al	放射線部	Efficacy of gonadal shielding in dose reduction for female pelvic radiography.	Radiat Prot Dosimetry. 2024 Jun 3;200(8):770-778.	Original Article
417	Sho Koyasu, Chiaki Suzuki, Keigo Honda, et al.	放射線部	Enhanced Bone Pseudometastasis Due to Granulocyte Colony-stimulating Factor	Clinical Nuclear Medicine Open. 2025 Mar	Original Article
418	Hitomi Numamoto, Koji Fujimoto, Kanae Kawai Miyake, et al.	放射線部	Evaluating Reproducibility of the ADC and Distortion in Diffusion-weighted Imaging (DWI) with Reverse Encoding Distortion Correction (RDC).	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine. 2025 Jan 1;24(1):66-77.	Original Article
419	Kohei Kawata, Hideaki Hirashima, Manabu Nakata, et al.	放射線部	Impact of diaphragm motion on dosimetry in lower thoracic spine stereotactic body radiotherapy	Physica Medica. 2025 Jan	Original Article
420	Sho Koyasu, Akihiko Sugimoto, Junichi Matsubara, et al.	放射線部	SMARCA4-Deficient Poorly Differentiated Adenocarcinoma of the Gallbladder	Clinical Nuclear Medicine. 2024 Jul	Original Article
421	Sho Koyasu, Akihiko Sugimoto, Junichi Matsubara, et al.	放射線部	SMARCA4-Deficient Poorly Differentiated Adenocarcinoma of the Gallbladder.	Clinical nuclear medicine. 2024 Jul 1;49(7):688-689	Original Article
422	Yuki Himoto, Koji Yamanoi, Yasuhisa Kurata, et al.	放射線部	Survival impact of the degree of parametrial invasion on MRI in locally advanced cervical cancer.	European radiology. 2024 Jun ;34(6):4001-4002	Original Article
423	Yoshioka Y, Oshima Y, Sato S, et al	リハビリテーション部	Neuromuscular electrical stimulation, muscle mass, and physical function decline in the early phase after living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2024 Dec 1;30(12):1264-1272.	Original Article

424	Yamawaki R, Nankaku M, Ikeguchi R, et al	リハビリテーション部	A Preliminary Study of the Impact of Intensive Hand Therapy after Arthroscopic Partial Trapeziectomy with Suture-Button Suspensionplasty for Thumb Carpometacarpal Arthritis.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2025 Feb;30(1):70-76.	Original Article
425	Hamada R, Tanabe N, Oshima Y, et al	リハビリテーション部	Phase angle measured by bioelectrical impedance analysis in patients with chronic obstructive pulmonary disease: Associations with physical inactivity and frailty.	Respir Med. 2024 Nov;233:107778.	Original Article
426	Kitamura G, Nankaku M, Yuri T, et al	リハビリテーション部	Muscle characteristics of lower limb in association with physical activity in candidates of total knee arthroplasty with knee osteoarthritis.	Clin Nutr ESPEN. 2024 Dec;64:418-424.	Original Article
427	Niwa Y, Nankaku M, Ikeguchi R	リハビリテーション部	Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation and Aerobic Exercise for Alcohol-Related Peripheral Neuropathy: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 24;16(12):e76338. (オンライン)	Case Report
428	Kawano T, Nankaku M, Muraio M, et al	リハビリテーション部	Impact of Preoperative Skeletal Muscle Quality on Functional Outcome in Total Hip Arthroplasty.	J Am Med Dir Assoc. 2025 Feb;26(2):105396.	Original Article
429	Ryota Hamada, Yasuyuki Arai, Toshio Kitawaki, et al.	リハビリテーション部	Fluctuation of physical function during chimeric antigen receptor T-cell therapy during rehabilitation intervention: Real-world data and risk factor analyses	eJHaem. 2024 Dec	Original Article
430	Aihara R, Umemura K, Katada Y, et al	薬剤部	Investigation of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 infection status in solid organ transplant recipients treated with tixagevimab/cilgavimab.	J Infect Chemother. 2024 Dec;30(12):1222-1227.	Original Article
431	Sugimoto M, Yonezawa A, Kanda J, et al	薬剤部	Population Pharmacokinetic Modeling of Posaconazole in Japanese Patients Receiving Fungal Prophylaxis.	Ther Drug Monit. 2024 Oct 1;46(5):611-618.	Original Article
432	Naganawa H, Katada Y, Nakagawa S, et al	薬剤部	Influence of ensitrelvir or nirmatrelvir/ritonavir on tacrolimus clearance in kidney transplant recipients: a single-center case series.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Jul 10;10(1):37. (オンライン)	Original Article
433	Miyoshi Y, Shigetsuma Y, Hira D, et al	薬剤部	Efficacy of a melatonin receptor agonist and orexin receptor antagonists in preventing delirium symptoms in the elderly patients with stroke: a retrospective study.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Nov 18;10(1):74. (オンライン)	Original Article
434	Endo H, Shigetsuma Y, Tsurumi K, et al	薬剤部	Effects of Dose Reduction or Discontinuation of Benzodiazepine Hypnotics on Sleep and Anxiety in Patients With Insomnia After Long-Term Use.	Cureus. 2025 Jan 24;17(1):e77936. (オンライン)	Original Article
435	Katada Y, Umemura K, Nakagawa S, et al	薬剤部	A case of successful contribution of therapeutic drug monitoring of valganciclovir as the prophylaxis against cytomegalovirus infection in a lung transplant recipient.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Jun 7;10(1):28. (オンライン)	Original Article
436	Matsumoto A, Maruoka K	薬剤部	Design of Organic Radical Cations as Potent Hydrogen-Atom Transfer Catalysts for C-H Functionalization	ASIAN J ORG CHEM.2024 APR;13(4):15	Review
437	Keisuke Umemura, Yoshiki Katada, Shunsaku Nakagawa, et al.	薬剤部	Comparison of the safety and cost-effectiveness of nebulized liposomal amphotericin B and amphotericin B deoxycholate for antifungal prophylaxis after lung transplantation	Journal of Infection and Chemotherapy. 2024 Aug	Original Article
438	Hiroki Endo, Yuki Shigetsuma, Kosuke Tsurumi, et al.	薬剤部	Effects of Dose Reduction or Discontinuation of Benzodiazepine Hypnotics on Sleep and Anxiety in Patients With Insomnia After Long-Term Use	Cureus. 2025 Jan 24;17(1)	Original Article
439	Ririka Aihara, Keisuke Umemura, Yoshiki Katada, et al.	薬剤部	Investigation of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 infection status in solid organ transplant recipients treated with tixagevimab/cilgavimab	Journal of Infection and Chemotherapy. 2024 May ;30(12):1222-1227	Original Article
440	Fukuyama K, Mori Y, Ueshima H, et al	医療情報企画部	Medical resource usage for COVID-19 evaluated using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan.	PLoS One. 2024 May 13;19(5):e0303493. (オンライン)	Original Article
441	Kuroda Y, Yamamoto G, Kuroda T	医療情報企画部	Identifying undefined risks: A risk model and a privacy risk identification measure in the privacy impact assessment process	INFORM SOC.2024 MAY;40(3):13	Original Article
442	Kazumasa Kishimoto, Masahiro Yakami, Tomohiro Kuroda, et al.	医療情報企画部	Investigation of Radiologist Diagnostic Difficulty Prediction Without CT Images	Studies in health technology and informatics. 2024 Aug 22;316:1746-1747	Original Article
443	Watari T, Sheffield V, Gupta A, et al	総合臨床教育・研修センター	Resident encounters with disruptive workplace behaviours in Japan: findings from a national cross-sectional study.	BMJ Open Qual. 2025 Feb 16;14(1):e003093. (オンライン)	Original Article
444	Watari T, Otsuka Y, Shiraishi Y	総合臨床教育・研修センター	Precision Trigger Point Injections: An Anatomically Guided Approach for Anterior Cutaneous Nerve Entrapment Syndrome Treatment.	Intern Med. 2025 Mar 1;64(5):805.	Original Article
445	Watari T	総合臨床教育・研修センター	The Simplest Method for Fishhook Removal: The String-Yank Technique.	Cureus. 2024 Nov 17;16(11):e73885. (オンライン)	Case Report
446	Watari T	総合臨床教育・研修センター	Diagnostic Techniques for Posterior Cutaneous Nerve Entrapment Syndrome.	Cureus. 2024 Nov 27;16(11):e74639. (オンライン)	Case Report
447	Sasaki S, Fujisaki K, Nishimura M, et al	総合臨床教育・研修センター	QT-Interval Prolongation and 1-Year Cardiac Death Among Patients Undergoing Hemodialysis.	JACC Asia. 2025 Jan 7;5(1):122-124. (オンライン)	Original Article
448	Yasunori Shirakawa, Naoto Jingami, Yoshitaka Ishiguro, et al.	総合臨床教育・研修センター	Facial trauma with life-threatening bleeding treated by andexanet alfa administration: A case report	Heliyon. 2024 Sep ;10(17):e36922	Original Article

449	Hiroshi Yamazaki, Saburo Moroto, Tomoko Yamazaki, et al.	総合臨床教育・研修センター	Intraoperative EABR Testing Predicts Strength of Cochlear Implant Stimulation Optimized After Long-Term Use in Pediatric Malformation Ears.	Otology & neurotology : official publication of the American Otological Society, American Neurotology Society [and] European Academy of Otolaryngology	Original Article
450	Keiichi Kondo, Hiroto Minamino, Takaaki Murakami, et al.	総合臨床教育・研修センター	Longitudinal monitoring of urinary C-peptide levels following discontinuation of sacubitril/valsartan in a type 2 diabetes patient: a case report and literature review	Diabetology International. 2025 Mar 31	Original Article
451	Kaori Ikeda, Fumika Mano-Utsui, Yo Kishimoto, et al.	先端医療研究開発機構	Concurrent SGLT2 inhibitor use in patients with type 2 diabetes hospitalised for high-dose corticosteroid therapy: Mitigated iatrogenic hyperglycaemia	Diabetes, Obesity and Metabolism. 2025 Feb 3	Original Article
452	Yu Hidaka, Norihide Jo, Osamu Kikuchi, et al.	先端医療研究開発機構	Effect of prevaccination blood and T-cell phenotypes on antibody responses to a COVID-19 mRNA vaccine	International Immunology. 2025 Mar 21	Original Article
453	Yu Hidaka, Norihide Jo, Osamu Kikuchi, et al.	先端医療研究開発機構	Effect of pre-vaccination blood and T-cell phenotypes on antibody responses to COVID-19 mRNA vaccine	International Immunology. 2025 Mar 20	Original Article
454	Nobuaki Hoshino, Yudai Fukui, Kohei Ueno, et al.	先端医療研究開発機構	Identification of lateral pelvic nodes without metastasis in patients with rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy or chemotherapy based on magnetic resonance imaging	Annals of Gastroenterological Surgery. 2024 Sep	Original Article
455	Nishimura T, Nakatani E, Lin MC, et al.	臨床研究支援部	Human life expectancy and season of birth in Taiwan: A retrospective cohort study.	Naturwissenschaften. 2024 Oct 7;111(6):55. (オンライン)	Original Article
456	Inano S, Kitano T	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	A modified CD9 tag for efficient protein delivery via extracellular vesicles.	PLoS One. 2024 Oct 17;19(10):e0310083. (オンライン)	Original Article
457	Nakamoto R, Yakami M, Nobashi TW, et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	The effect of hormone therapy on physiological uptake of the endometrium on [(18F)]F-FDG PET in postmenopausal women.	Ann Nucl Med. 2024 Sep;38(9):726-733.	Original Article
458	Ryusuke Nakamoto, Masahiro Yakami, Tomomi W Nobashi, et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	The effect of hormone therapy on physiological uptake of the endometrium on [18F]F-FDG PET in postmenopausal women.	Annals of nuclear medicine. 2024 May 18	Original Article
459	Kentaro Tsuji, Makoto Abe, Saho Wakamatsu, et al.	クリニカルパイオリソースセンター	Mixed hepatocellular carcinoma and high-grade neuroendocrine neoplasm with ambiguous histopathological features: a case report.	Medical molecular morphology. 2025 Mar ;58(1):62-68	Original Article
460	Koichi Murata, Bungo Otsuki, Takayoshi Shimizu, et al.	リュウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Sagittal Section Hounsfield Units of the Upper Instrumented Vertebrae as a Predictor of Proximal Junctional Vertebral Fractures Following Adult Spinal Deformity Surgery	Asian Spine Journal. 2024 Apr 30	Original Article
461	Hajime Yamazaki, Martin Heni, Róbert Wagner, et al.	地域医療システム学講座(寄附)	The Causal Effect of Intrapancreatic Fat Deposition on Acute and Chronic Pancreatitis: A Mendelian Randomization Study	American Journal of Gastroenterology. 2024 Dec	Original Article
462	Kimihiko Murase, Takeshi Matsumoto, Yasuharu Tabara, et al.	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	Correlation of sleep-disordered breathing with anemia and microcytosis in premenopausal women: the Nagahama study.	Journal of clinical sleep medicine : JCSM : official publication of the American Academy of Sleep Medicine. 2025 Mar 20	Original Article
463	Satoshi Hamada, Naoya Tanabe, Toyohiro Hirai, et al.	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	Pneumatosis Intestinalis Induced by Nintedanib.	Internal medicine (Tokyo, Japan). 2025 Feb 18	Original Article
464	Satoshi Hamada, Tomohiro Handa, Kimihiko Murase, et al.	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	Stationary Oxygen Concentrator with Built-in Respiratory Rate Monitor: Clinical Validation of Its Efficacy in Patients with Interstitial Lung Disease and Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Internal medicine (Tokyo, Japan). 2025 Mar 8	Original Article
465	Masahiko Kawai	新生児学講座(寄附)	High mortality rate of preterm infants with Down syndrome	Pediatric Research. 2024 Apr	Original Article
466	Ryosuke Araki, Seiichi Tomotaki, Junko Takita, et al.	新生児学講座(寄附)	Neurally adjusted ventilatory assist decreases the requirement of corticosteroids	Pediatrics International. 2025 Jan	Original Article
467	Kei Yamane, Takayuki Anazawa, Kazuyuki Nagai, et al.	消化器腫瘍制御・臓器再生外科学講座(寄附)	Current status of total pancreatectomy with islet autotransplantation for chronic and recurrent acute pancreatitis.	Annals of gastroenterological surgery. 2024 May ;8(3):401-412	Original Article
468	Takamichi Ishii, Kentaro Iwaki, Akiyoshi Nakakura, et al.	消化器腫瘍制御・臓器再生外科学講座(寄附)	Is routine lymph node dissection recommended for liver resection of intrahepatic cholangiocarcinoma? A systematic review and meta-analysis.	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association. 2024 Jun ;26(6):731-740	Original Article
469	Kei Yamane, Takayuki Anazawa, Kazuyuki Nagai, et al.	消化器腫瘍制御・臓器再生外科学講座(寄附)	Neoadjuvant Chemoradiotherapy Using Moderately Hypofractionated Intensity-Modulated Radiotherapy Versus Upfront Surgery for Resectable Pancreatic Cancer: A Retrospective Cohort Study	Annals of Surgical Oncology. 2025 Feb 1	Original Article
470	Takamichi Ishii, Tomoaki Yoh, Takahiro Nishio, et al.	消化器腫瘍制御・臓器再生外科学講座(寄附)	[Conversion Surgery for Initially Unresectable Hepatocellular Carcinoma].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy. 2025 Jan ;52(1):25-29	Original Article
471	Keigo Honda	頭頸部腫瘍先進治療学講座(寄附)	Clinical Factors Associated with Difficulty in Identifying the Recurrent Laryngeal Nerve in Thyroid Surgery	Balkan ORL-HNS. 2024 May 9;1(2):51-55	Original Article
472	Hidaka Y, Jo N, Kikuchi O, et al.	クリニカルトリアルサイエンス部	Effect of pre-vaccination blood and T-cell phenotypes on antibody responses to COVID-19 mRNA vaccine.	Int Immunol. 2025 Mar 20;dxaf013.	Original Article
473	Chikatoshi Katada, Tetsuji Yokoyama, Tomonori Yano, et al.	がん免疫PDT研究講座(産学共同)	Alcohol consumption, multiple Lugol-voiding lesions, and field cancerization.	DEN open. 2024 Apr ;4(1):e261	Original Article

474	Chikatoshi Katada, Tetsuji Yokoyama, Akinori Watanabe, et al.	がん免疫PDT研究講座(産 学共同)	Optimizing Organ Preservation Strategies through Chemotherapy-Based Selection in Esophageal Squamous Cell Carcinoma: Results from the CROC Multi-Institutional Phase II Clinical Trial	International Journal of Radiation Oncology*Biology*Physics. 2024 Jul	Original Article
475	Saeko Nakajima, Satoru Yonekura, Kenji Kabashima, et al.	炎症性皮膚疾患創薬講座 (産学共同)	Targeting OX40-OX40L pathway: A new era in atopic dermatitis management by T cell rebalancing.	The Journal of allergy and clinical immunology. 2025 Feb 18;155(4):1211-1213	Original Article

計475件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 医の倫理委員会会議録の作成 医の倫理委員会作業手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表 研究者等への教育研修 医の倫理委員会委員及び事務局員への教育研修 年次報告及び中止・終了報告 研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務 試料・情報の保管及び他の機関等の試料・情報の利用等 迅速審査に関する手順 多機関共同研究についての事務手続き及び審査の方針 重篤な有害事象・安全性情報の報告 専門小委員会の運用にかかる手順書 不適合に関する報告 中央倫理審査委員会としての一括審査 外部機関の倫理委員会への審査依頼	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反審査に係る審議体制・手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
<p>・研修の主な内容</p> <p>臨床研究等倫理講習会 令和6年度 臨床研究等倫理講習会</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開会挨拶2. AI・医師の働き方改革でどうなる？アカデミアの臨床研究3. 海外へのデータ提供にかかる注意点について－倫理指針改定による変更点－4. 先端医療研究開発機構(iACT)における研究支援の紹介 <p>再生医療等委員会研修会 令和6年度認定再生医療等委員会における審査の質向上事業 第8回認定再生医療等委員会教育研修会</p> <p>倫理審査委員教育研修会 令和6年度 第1回</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開会挨拶2. AI・医師の働き方改革でどうなる？アカデミアの臨床研究3. 海外へのデータ提供にかかる注意点について－倫理指針改定による変更点－4. 先端医療研究開発機構(iACT)における研究支援の紹介 <p>令和6年度 第2回 特定臨床研究の誤解を解く～留意点とiACTの支援～</p> <p>令和6年度 第3回 臨床研究に必要な補償と保険の基礎知識</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。
こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。
京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	149 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山下 浩平	血液内科	准教授	32年	
植田 洋平	糖尿病・内分泌・栄養内科	助教	16年	
尾野 亘	循環器内科	教授	35年	
福田 晃久	消化器内科	准教授	28年	
平井 豊博	呼吸器内科	教授	37年	
森信 暁雄	免疫・膠原病内科	教授	37年	
大鶴 繁	救急科	教授	28年	
松本 理器	脳神経内科	教授	31年	
柳田 素子	腎臓内科	教授	31年	
松原 淳一	腫瘍内科	准教授	25年	
小濱 和貴	消化管外科	教授	30年	
増田 慎三	乳腺外科	教授	32年	
伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	講師	27年	
岡本 竜弥	小児外科	助教	24年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	39年	
中島 大輔	呼吸器外科	講師	24年	
荒川 芳輝	脳神経外科	教授	28年	
上田 奈央子	眼科	特定病院助教	25年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	41年	
大槻 文悟	整形外科	准教授	28年	
森本 尚樹	形成外科	教授	32年	
千草 義継	産科婦人科	講師	22年	
後藤 崇之	泌尿器科	准教授	21年	
江木 盛時	麻酔科	教授	26年	
滝田 順子	小児科	教授	34年	

吉村 通央	放射線治療科	准教授	28年	
中本 裕士	放射線診断科	教授	34年	
椛島 健治	皮膚科	教授	29年	
磯部 昌憲	精神科神経科	助教	20年	
池口 良輔	リハビリテーション科	教授	33年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	34年	
長尾 美紀	検査部・感染制御部	教授	26年	
廣田 誠	歯科口腔外科	教授	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
A・研修の主な内容 薬剤師を対象に、調剤業務・病棟薬剤師業務、医薬品安全管理についての知識・技能を修得するための講義研修および症例検討会、臨床上の課題を発見・解決する能力を養うためのセミナーを実施した。 ・研修の期間・実施回数 2024/4/1～2025/3/31 計85回 ・研修の参加人数 各10～56名
B・研修の主な内容 診療放射線技師を対象に、以下の研修を実施した。 1. Let's create a new era together! -5th season- 2. 京都大学という職場環境 2 一個と組織の連携強化ー 3. 医療安全（未然防止） 4. 副技師長・Aグループ長としての抱負 5. ワクワクの秘訣：人生を活気に満ちた冒険へと導く方法 6. 医療放射線管理の話 漏洩線量測定～せっかくなので、基礎も少し話します～ ・研修の期間・実施回数 各30分、6回 (1. 2024/4/25、2. 5/9、3. 5/16、4. 5/23、5. 6/6、6. 10/17) ・研修の参加人数 (1. 41名、2. 31名、3. 34名、4. 37名、5. 43名、6. 26名)
C・研修の主な内容 看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器・新規医療機器の安全な使用方法について実施した。 ・研修の期間・実施回数 計44回（2024/4/1～2025/3/31）及びe-ラーニング ・研修の参加人数 901名
D・研修の主な内容 1. 新規採用者研修：事務手続き 2. 新規採用者研修：病院（当院の概要） 3. 新規採用者研修：職員として大切なこと（接遇関連） 4. 新規採用者研修：検査部について 5. 新規採用者研修：臨床検査について 6. 新規採用者研修：臨床検査の精度管理（ISO15189を交えて） 7. 新規採用者研修：外来採血室（採血における注意点 RFIDと患者対応） 8. ISO必修トレーニング ①品質マネジメントシステム：2024/10/10～2025/3/31 ②災害対策：2024/10/10～2025/3/31 ③倫理：2025/1/22～2025/3/7 ④廃棄物の取扱い：2024/10/10～2025/3/31

<p>⑤医療安全の講習会（病院指定 年2回）2024年度</p> <p>⑥感染対策の講習会（病院指定 年2回）2024年度</p> <p>9. Clinical Laboratory Conference (CLC 部内研修会)</p> <p>184回：新型コロナウイルスに対する生理検査の感染予防策について:2024/4/17</p> <p>185回：血液検査・凝固検査の基礎:2024/5/15</p> <p>186回：時間外検査室における免疫検査:2024/6/19</p> <p>187回：感染症診療における血液培養の役割:2024/7/10</p> <p>188回：採血で失敗を減らすコツ:2024/9/11</p> <p>189回：脳死移植について（移植前・後の関り）:2024/10/16</p> <p>190回：若手スキルアップ講習（微生物、輸血、生理機能）:2024/11/13</p> <p>191回：若手スキルアップ講習（一般、微生物）:2024/12/11</p> <p>192回：糖尿病に関連する検査 ～診断から治療まで:2025/1/29</p> <p>193回：臨床現場で生かす脳波:2025/2/26</p> <p>194回：2024年度検査部活動報告:2025/3/26</p> <p>・研修の期間・実施回数 1～8：年一回、9：月一回。</p> <p>・研修の参加人数 1～7：5名、8：120名（新型コロナ感染拡大防止のため、今回は各自web） 9：各自Web 20～50人</p>
<p>E・研修の主な内容 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、統計学的手法についての研修を実施した。</p> <p>・研修の期間・実施回数 60分、1回（2024/9/30）</p> <p>・研修の参加人数 30人</p>
<p>F・研修の主な内容 「看護部IVナース認定プログラム」に基づき、下記対象者に下記講義と演習・試験を実施した。</p> <p>①レベルⅡ（新規入職看護師対象）に薬剤・安全管理・感染管理・CVポート・PICCの管理・テープ固定時の皮膚障害予防、末梢血管確保・CVポート穿刺演習</p> <p>②レベルⅢ（レベルⅡを指導する者対象；インストラクター）に輸液管理・生物学的製剤・UKカテーテル・輸血管理・アナフィラキシー・造影剤・IVインストラクター講習</p> <p>③レベルⅣ（レベルⅢ認定者対象）抗がん薬の基礎知識、抗がん薬投与における末梢静脈穿刺</p> <p>・研修の期間・実施回数 のべ876時間、441回（在宅研修・動画講義視聴を含む）</p> <p>・研修の参加人数 のべ762人</p>
<p>G・研修の主な内容 下記の対象者研修を実施した。</p> <p>4/1採用者研修・中途採用者研修・勤務復帰者研修、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師・卒後4年看護師研修等を行った。</p> <p>・研修の期間・実施回数 のべ2142時間30分、255回（在宅研修・オンライン研修・動画講義視聴を含む）</p> <p>・研修の参加人数 のべ2695人</p>
<p>H・研修の主な内容 ICU・CCU/HCU新規入職看護師を対象に「透析看護認定研修」として、「腎不全の病態と</p>

<p>血液浄化療法」「血液浄化療法の記録」「血液浄化用訪中の看護」「血液浄化療法について」「血液浄化療法の実際」についての講義・演習・試験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 171時間45分、110回（動画講義視聴を含む） ・研修の参加人数 のべ180人
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>A・研修の主な内容 薬剤師を対象に、医薬品情報管理に関する研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 2024/4/1～2025/3/31 計11回 ・研修の参加人数 各28～48名
<p>B・研修の主な内容 診療放射線技師を対象に、以下の管理業務に関する研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務管理 ・医療安全管理 ・感染対策管理 ・情報管理 ・学術法規・災害管理 ・治験・臨床研究管理 ・人材育成管理 ・研修の期間・実施回数 2024/4/1～5（各1回） ・研修の参加人数 各9名
<p>C・研修の主な内容 診療放射線技師を対象に、以下の診療業務に関する研修を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IVR-CTの被ばく線量管理：一緒に「お宝」を探しませんか？ 2. 救急外傷X線撮影～X線診断における4つのtwo's～ 3. CTスカウト読影術 4. ポータブル撮影の現状と検討課題 5. 修理の写真から学ぶMRの内部構造 6. 過去のインシデントから学ぶ放治部門の運用ルール ～放射線治療を安全に実行するために～ 7. 核医学検査におけるプラスアルファ ～知って役立つ画像やSTAT画像～ 8. OXRAY～国産0リング型A11-IN-ONE PLATFORM IGRTシステム～ 9. ChatGPTは業務改善に貢献できるのか？ 10. MRIにおいてDuropathyの原因となる硬膜欠損部の同定を試みた症例 11. 早期声門癌放射線治療におけるシェルが放射線皮膚炎に与える影響の評価 12. 床置き型kV-X線画像誘導治療装置における撮影条件の違いが画像照合精度に及ぼす影響、胸部正面X線撮影における面積線量計の値の調査 13. Deep Learning再構成を利用したDWIにおけるADC値の計測精度 14. XP 2方向目撮影時に考えること 15. 腰椎DIXONの撮影条件の検討

16. 論文紹介：不整脈に対する放射線治療
17. 小児構音時X線規格撮影における撮影条件の検討
18. 装置間・装置内のCAG透視プロトコルの比較
19. 胸部CTスカウト画像から体重推定を行う Deep Learningモデルにおける推定の根拠の可視化の検討、放射線治療における新ボラスの特性評価
20. CT Perfusionにおける生理食塩水後押しの影響—MRIを基準とした比較分析—、泌尿器領域の撮影における最適な受信コイルの検討
21. 肺定位放射線治療におけるCT値と治療パラメータの関係、心筋血流シンチにおける胆嚢の高集積で悩んだ症例
22. SWI画像における静脈血描出能の最適化パラメータの検討、骨盤部SGRTにおけるレジストレーションROIの改良によるセットアップ精度の向上
23. MRIにおける置き針のアーチファクトとその影響評価、側頭骨CT撮影における深層学習再構成法の有用性

・研修の期間・実施回数

各30分、14回、各15分、9回

(1. 2024/6/13、2. 6/20、3. 7/4、4. 7/11、5. 7/18、
6. 8/1、7. 8/8、8. 8/15、9. 8/29、10. 9/12、11. 10/3、12. 10/31、
13. 11/21、14. 11/28、15. 12/5、16. 12/12、17. 2025/1/16、
18. 1/23、19. 2/6、20. 2/13、21. 2/27、22. 3/6、23. 3/13)

・研修の参加人数

(1. 31名、2. 35名、3. 38名、4. 35名、5. 39名、6. 33名、7. 32名、8. 29名、9. 32名、
10. 28名、11. 27名、12. 22名、13. 18名、14. 23名、15. 26名、16. 20名、17. 31名、
18. 25名、19. 23名、20. 21名、21. 21名、22. 15名、23. 16名)

D・研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。

第11回 三大学学術交流会 テーマ：各施設のタスクシフトの現状

「タスクシフトの現実：診療放射線技師と他職種の調整の舞台裏」「仕事をふるなら人をくれ～タスクシフトの壁と可能性～」 「タスクシフト準備中。。。」

・研修の期間・実施回数

90分、2025/1/30

・研修の参加人数

15名

E・研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。

第21回 東大・京大・がんセンター放射線先端学術交流会

テーマ：核医学の革新：新規RI製剤による未来への挑戦

「診療放射線管理室の役割と今後の展望について」「国立がん研究センター中央病院の核医学治療の運用と課題について」「京大病院で使用されている新規PETトレーサーについて」

・研修の期間・実施回数

90分、2024/10/14

・研修の参加人数

39名

F・研修の主な内容

医療器材部職員を対象に臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修（基礎研修）

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 令和6年度・e-ラーニング 18件 ・研修の参加人数 128名
<p>G・研修の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オートバイオビューカセット試薬について:2024/5/10 : 6人 2. 脳波カンファレンス:2024/5/22 : 8人 3. 呼吸機能検査妥当性評価について:2024/5/28 : 17人 4. 生理検査カンファレンス:2024/6/5 : 14人 5. 心電図検査 ～投書に伴う集合教育:2024/5/31～6/7 : 20人 6. 脳波カンファレンス:2024/6/26 : 5人 7. 脳波カンファレンス:2024/7/24 : 6人 8. 患者急変時緊急対応訓練（心電図、脳波、呼吸機能）:2024/8/2, 7 : 21人 9. WASP-Lab追加トレーニング:2024/8/5～16 : 6人 10. 脳波カンファレンス:2024/8/28 : 10人 11. CHESTAC-8900更新に伴う説明会:2024/8/29～9/5 : 18人 12. CLSI変更点:2024/9/3 : 6人 13. Canon Aplio i900導入時説明会:2024/9/17～20 : 8人 14. 脳波カンファレンス:2024/9/26 : 7人 15. 第三回生理検査カンファレンス:2024/10/21 : 12人 16. コールドルーム脱出訓練:2024/11/15 : 2人 17. 京臨技サーベイの是正:2024/11/19:7人 18. 脳波カンファレンス:2024/12/4 : 6人 19. フレキシブルな認定範囲の管理:2024/12/16～27 : 1人 20. 生理検査カンファレンス:2024/12/9 : 7人 <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 不定期開催。 ・研修の参加人数 上記記載。
<p>H・研修の主な内容</p> <p>理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、医療安全（部署で生じたインシデント・リスクの共有）についての研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 60分、1回（2024/5/27） ・研修の参加人数 28人
<p>I・研修の主な内容</p> <p>理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、感染対策とPPEの適切な装着に関する実技研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 60分，1回（2024/6/24） ・研修の参加人数 30人
<p>J・研修の主な内容</p> <p>体液料測定の見方、ロボット搬送の取り組みについて、リブレ2について、インスリンポンプ新機種について 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 年間10回 ・研修の参加人数

1回約20名
K・研修の主な内容 看護師を対象に、管理者研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・研修の期間・実施回数 のべ12時間、6回 ・研修の参加人数 のべ105人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 高折 晃史	
管理担当者氏名	総務課長 植村 博樹 医療サービス課長 藤岡 一敏 医療安全管理室長 松村 由美 感染制御部長 長尾 美紀 医療器材部長 小濱 和貴	医務課長 北山 恵子 臨床研究戦略課 上根 勝 医療情報企画部長 黒田 知宏 薬剤部長 寺田 智祐 倫理支援部 中山 健夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報企画部 ・医務課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報企画部 ・医務課
		看護記録	医療情報企画部 ・医務課
		検査所見記録	医療情報企画部 ・医務課
		エックス線写真	医療情報企画部 ・医務課
		紹介状	医療情報企画部 ・医務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課・ 倫理支援部・ 臨床研究戦略課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室・ 医療サービス課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部・医療サービス課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部

パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医療サービス課
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
閲覧責任者氏名	事務部長 西村 敏信
閲覧担当者氏名	総務課長 植村 博樹
閲覧の求めに応じる場所	総務課内
閲覧の手続の概要 1. 閲覧申込 総務課 2. 承認者 事務部長 3. 閲覧方法 指定した日時総務課内 4. 返却方法 当日総務課へ返却	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 組織と体制 3. 医療事故収集とサーベイランス 4. 重大事故発生時の報告体制 5. 安全管理に係る研修の実施 6. マニュアル・対応指針等の作成 7. 診療情報等の共有と開示 8. 患者および家族からの相談等への対応 9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。 2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。 3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。 4. 3. の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。 6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。 7. その他医療安全管理に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1. 『患者安全の基本』 2. 『情報セキュリティを取り巻く話題』 3. 『ヒューマンファクターズとしてのメンタルヘルス』 4. 『安全文化の醸成』 5. 『チーミング』 6. 『エラーに学び害を防止する』 7. 『臨床におけるリスクの理解とマネジメント』 8. 『品質改善の手法』 9. 『患者や介護者と協同する』 10. 『コミュニケーション』 11. 『投薬の安全性を改善する』 12. 『暴言・暴力事例に関する対応方法』 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	

1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・医療安全管理委員会の定期開催
 - ・リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・医療安全、医薬品安全管理、医療機器安全管理、臨床研究安全管理、医療放射線安全管理に関する小委員会の定期開催
 - ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・各種WG開催
 - ・高難度医療・未承認医薬品等管理室との連携
3. 職員への安全教育
 - ・e-learning、院内事例報告会
 - ・医療安全ニュース、周知依頼事項の配信
 - ・リスクマネージャーメールマガジンの発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 各種委員会および会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年129回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策委員会 1回/月（必要に応じて随時開催） 2. AST会議 1回/週（必要に応じて随時開催） 3. ICT会議 1回/週（必要に応じて随時開催） 4. 感染対策業務会議 必要に応じて随時開催 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1. 『手指衛生の意義』 2. 『感染対策の重要性・標準予防策』 3. 『正しい手指衛生の方法』 4. 『PPE（個人防護具）』 5. 『PPEの着脱方法』 6. 『環境整備・清掃』 7. 『感染性廃棄物』 8. 『感染経路別予防策』 9. 『血液・体液を介した感染』 10. 『血液培養ボトル供給不足に伴う採取ルールの変更』 11. 『抗菌薬の供給不足について』 12. 『かぜ診療から考える経口抗菌薬の適正使用』 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策サーベイランスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤耐性菌サーベイランス ・ 中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）サーベイランス ・ カテーテル由来血流感染（CRBSI）サーベイランス ・ 手術部位感染サーベイランス ・ 抗菌薬サーベイランス ・ 手指消毒剤使用量サーベイランス ・ 手指衛生モニタリング 2. 職業感染防止及び血液体液曝露後の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入職時の抗体価確認（B型肝炎、麻疹、水痘、ムンプス、風疹） ・ ワクチン接種（B型肝炎、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹、ムンプス） ・ 針刺し防止マニュアル作成・周知、針刺し防止器材の積極的な導入 ・ 職業感染曝露後の対応 <ul style="list-style-type: none"> -針刺し、血液・体液曝露対応（検査、ワクチン、グロブリン、予防投薬等） -結核（IGRA：インターフェロン-γ遊離試験、予防投薬） -小児ウイルス性疾患（抗体確認、緊急ワクチン接種、休務規定） -インフルエンザ（検査、休務規定、予防投薬） ・ 結核感染高リスク部署の職員への結核定期検診 ・ 透析スタッフへの肝炎検査 3. 新型コロナウイルス対策 	

- ・ 適時マニュアルを改訂し全職員へ周知
- ・ 感染対策担当者やICTによるラウンドを実施
- ・ 症状サーベイランスの継続

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年62回
<p>・ 研修の主な内容： 医薬品関連の事故防止に係る本院職員の意識向上と知識習得のため次の通り研修会を実施した。</p> <p>医師・看護師・薬剤師対象 1. 院内動画配信（e-learning） 令和6年4月～ 1回 ・ 医薬品の安全使用について 病棟スタッフ対象 1. 看護師・医師を主な対象とした研修会 11回 ・ 医薬品の使用上の注意点等について 薬剤師対象 1. 採用医薬品説明会 11回 ・ 新規採用医薬品の説明と位置づけ ・ 添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い情報 2. 薬剤部委員会 12回 ・ 警鐘すべきインシデント事例の情報共有 ・ 再発防止策の検討と注意喚起 3. 薬剤部レジデント勉強会 23回 ・ 業務内容及び業務マニュアルの確認と解説 ・ 処方監査・疑義照会のポイント解説 新採用者対象 1. 研修医・医師オリエンテーション講義（動画視聴） 令和6年4月2日 1回 2. 看護部新規採用者オリエンテーション講義（動画視聴） 令和6年4～5月 1回 3. 薬剤部新入職員講義 令和6年4月1日 1回 4. 看護部静脈注射輸液管理認定プログラム講義（動画視聴） 令和6年4～5月 1回</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1. 医薬品の採用に関する事 2. 医薬品の購入に関する事 3. 薬剤部における医薬品の管理に関する事 4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関する事 5. 外来患者への医薬品使用に関する事 6. 病棟・外来・中央診療施設における医薬品の管理に関する事 7. 入院患者への医薬品使用に関する事 8. 医薬品の適正使用・安全使用に係る情報に関する事 9. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関する事 以上の業務内容について、手順書に基づく業務の実施状況を確認した。医薬品安全管理補助者の指名を受けた薬剤師が、チェックリスト「医薬品安全使用の業務手順書遵守確認票」を用いて現場ラウンド及びヒアリングにより確認し、不十分な点は改善指導した。医薬品安全管理責任者は結果の報告を受けるとともに、記入済みのチェックリストを確認した。 ・ 病棟・外来・中央診療棟：令和6年8月～令和7年2月に実施 ・ 薬剤部：令和7年3月に実施</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p>	

別紙1「未承認等の医薬品の具体的な使用事例」のとおり

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 1) 副薬剤部長1名が薬剤部リスクマネージャーを兼任し、毎週開催される医療安全小委員会にて院内の情報を収集し、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内に警鐘事例を周知している。また薬剤部長・副薬剤部長間でインシデント情報を共有し、薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
 - 2) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
 - 3) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。アナウンスメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。
 - 4) オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。適応外使用や禁忌の使用については「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。
 - 5) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
 - 6) 病棟薬剤師が電子カルテ上で処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。医薬品安全管理補助者がデータベースの内容を確認してまとめ、医薬品安全管理責任者に報告している。
 - 7) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん薬の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
 - 8) 外来患者の臨床検査値の一部を院外処方せんに記載し、保険薬局での処方監査時に検査値を参照できるようにしている。また、保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、処方医師への提供が望ましいと判断された内容を服薬情報提供書（トレーシングレポート）で受け付けている。トレーシングレポートの送受信はFAXIに加えて、電子的に管理できるシステムを導入し、送受信に係る業務の効率化・処方医師と薬剤師の情報連携強化を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年52回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>○高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。 診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関し以下の研修を実施した。</p> <p>1) 令和6年7月22日～7月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者43名）</p> <p>2) 令和6年7月22日～7月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者43名）</p> <p>3) 令和7年1月24日および1月27日～1月31日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者45名）</p> <p>4) 令和7年1月24日および1月27日～1月31日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者45名）</p> <p>* 欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。</p> <p>○新規医療機器の研修として、以下の研修を実施した。</p> <p>1) 令和6年7月17日～7月31日に関連する医療従事者を対象に新規導入医療機器（第5MR）の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者46名）</p> <p>2) 令和6年9月19日～10月1日に関連する医療従事者を対象に新規導入医療機器（第4MR）の研修（資料閲覧研修含む）を実施した。（参加者35名）</p> <p>3) 令和6年9月25日～10月2日に関連する医療従事者を対象に新規導入医療機器（第1治療室）の研修を実施した。（参加者29名）</p> <p>2. ME関連機器について</p> <p>1) 令和6年度中に医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を計21回実施した。 除細動器及び人工呼吸器、血液浄化装置に関してはe-ラーニングでの研修も実施している。 その他医療機器・新規医療機器についての研修を計22回実施した。</p> <p>2) 令和6年4月に新人看護師、研修医を対象として、輸液・シリンジポンプ・人工呼吸器の使用方法について研修を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>・ 放射線機器等については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。</p> <p>→機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→高度な技術を要する修理、定期点検はメーカーに依頼している。</p> <p>2. ME関連機器について</p> <p>・ 医療機器の点検周期に沿って、院内点検とメーカー点検を実施している。</p> <p>→臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。</p> <p>→高度な技術を要する修理、定期点検はメーカーに依頼している。</p>	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 該当なし
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 1. 放射線関連機器について
 - ・ 血管造影、CT・透視、MR、RI、放射線治療系の各部門において、多職種 (医師、看護師、技師) での品質管理 (QA) 委員会を、月例開催または2~3ヶ月に1回開催している。
 - ・ 一般撮影+血管造影+CT・透視グループ、MR+RIグループ、放射線治療の3つのグループにおいて、診療放射線技師の定例会議を月例で開催している。
 2. ME 関連機器について
 - ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
 - ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一統を推し進めている。
 - ・ 電子カルテ用端末にて、中央管理を行っている機器の取扱い説明書が確認出来る。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）、医療放射線安全管理小委員会（委員長：医療放射線安全管理責任者）、臨床研究安全管理小委員会（委員長：臨床研究安全管理責任者）を統括している体制となっている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（8名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 原則として月1回、電子カルテのアプリケーション「医薬品使用状況」などを用い、医薬品の投薬及び注射の状況の把握を行っている。 (2) 医薬品医療機器情報配信サービス（PMDA メディナビ）等を利用して、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報を入手している。医薬品製造販売業者、卸売販売業者からの情報収集は、医薬品情報室で一元的に行っている。要対応と判断した事例は、随時、医薬品安全管理責任者に報告している。 (3) 院内で発生した医薬品の副作用、インシデント等の情報は、病棟薬剤師が随時収集・評価を行っている。また、医薬品の新規採用後6ヶ月、1年を経過した時点で、採用依頼を提出した医師に副作用調査票の提出を委嘱し、医薬品情報室で集約している。 (4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、インシデント報告から安全使用上周知が必要と思われる医薬品情報などをアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。 (5) 薬剤使用時の注意点や薬剤に関する情報を適宜「DI ニュース」等で院内に提供している。病棟薬剤師は資料を担当診療科・病棟にて周知し記録を残している。 (6) 病棟薬剤師は、医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を対象とした説明会を行い、実施の記録を残している。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調剤室等の薬剤師及び病棟薬剤師は処方情報から適応外・禁忌・未承認の医薬品使用を把握し、医師に必要性を確認している。医師がその医薬品を使用する場合は、患者への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、医薬品安全管理小委員会あるいは高難度医療・未承認医薬品等管理室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。 (2) 「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力された情報は、病棟業務リーダー（医薬品安全管理補助者）が並行して確認し妥当性を評価している。さらに一覧表形式にまとめて毎月、医薬品安全管理責任者に報告し、指示事項があれば、病棟薬剤師を通じて医師にフィードバックしている。 (3) 薬剤師が把握した未承認等の医薬品の使用に関する情報は「医薬品安全管理小委員会」に報告し情報共有している。 <p>・担当者の指名の有無（有）・無</p> <p>・担当者の所属・職種：別紙2「医薬品安全管理補助者指名書」のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>遵守状況の確認</p> <p>1. 無作為抽出によるIC内容の確認(～12月) これまで、毎月各診療科(部)でランダムに5件の診療記録を抽出し、ICのプロセスが適切に記録されているかを確認する。具体的には、説明内容、説明時の患者さんの反応、同席者の有無などがチェック項目に基づき記載されているかを点検する。</p> <p>2. 手術患者さんに対するIC実施状況の量的点検(1月～) 1月からは、手術を受けられた患者さんを対象に、術前のICがどの程度実施されているかを量的に確認している。</p> <p>3. 患者さんへのアンケート調査 年1回、実際にICを受けられた患者さんを対象にアンケート調査を実施している。このアンケートでは、IC時に同席者がいたか、説明内容を理解できたか、納得できたかといった点を確認し、ICの質の向上に役立っている。</p> <p>指導と周知 ICの実施状況については、IC責任者から医療問題対策・臨床倫理委員会へ報告している。さらに、病棟医長・看護師長会議や病院協議会などを通じて、院内の各部署へ情報共有し、周知徹底を図っている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>責任者の監督下において診療情報管理士及び病歴管理室運営専門委員会委員の中から責任者が指名した委員による診療録監査を実施している。 京都大学医学部附属病院規程第3条に定める診療科のうち、主科として患者を受け入れる診療科を対象として年2回行う。ただし1回で対象とする診療科数は10以内とし、2会計年度をあげず、対象の診療科が全て監査を受けるよう計画する。 監査結果は病院長報告後に各診療科へフィードバックを行っている。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・所属職員：専従(3)名、専任(3)名、兼任(3)名 うち医師：専従(1)名、専任(2)名、兼任(2)名 うち薬剤師：専従(1)名、専任()名、兼任()名 うち看護師：専従(1)名、専任(1)名、兼任(1)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p>	

・活動の主な内容：

- ・インシデント・アクシデント報告に関すること。
- ・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。
- ・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。
- ・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング。
 - ①画像診断結果報告書の未確認件数（月別、診療科別）
（ルール：放射線診断科医が読影診断結果を報告している。オーダー診療科の医師が報告内容を確認後、確認ボタンを押すと、報告書の内容がカルテに転記される。カルテへの転記がない場合、報告内容の確認がされていない可能性があるため、診断結果の見落としエラー対策として作成したルールである。併せて、未読影率をフィードバックする。）
 - ②注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別）
（ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、ひとによる確認＋器械による確認を組み合わせる。）
 - ③抗がん剤の調製確定後の変更件数（月別、診療科別）
（ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日10時までに医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する。）
 - ④バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別）
（ルール：血圧、体温、SpO₂、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末にかざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今までは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された。）
 - ⑤患者誤認報告件数
（ルール：全ての医療・看護行為を実施する際は、患者自身にフルネームで名乗らせる。名乗れない場合は、リストバンドもしくは診察券で確認をする。）
 - ⑥患者受け持ち忘れ報告件数
（ルール：受け持ち看護師は、勤務初めに受け持ち登録を実施する。各勤務帯リーダー看護師は、勤務開始後1時間以内に受け持ち患者登録漏れがないかを確認する。）
 - ⑦肺血栓塞栓症予防対策
（ルール：マニュアルに沿った予防対策に取り組む。）
- ・ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。
 - ①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）
（全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する。）
 - ②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例
（医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく。）
- ・リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング
 - ①院内褥瘡発生率
 - ②転倒転落事故発生
- ・その他医療安全管理対策に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（6件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）

・活動の主な内容：

「京都大学医学部附属病院高難度新規医療技術取扱規程」に、高難度新規医療技術の定義、高難度新規医療技術の提供に係る申請事項（既存の技術との優位性、医療提供体制の整備状況、執刀医等の経験、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（9件）、及び許可件数（9件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

「京都大学医学部附属病院未承認新規医薬品等取扱規程」に、未承認新規医薬品等を用いた医療の定義、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る申請事項（既存の医薬品等との優位性、未承認新規医薬品等の使用条件、有害事象の把握方法、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 347 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 108 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療サービスに起因し、影響度レベルが重症・重大なものについて、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。また、影響度レベルが3a以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される。

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・ 第三者による評価の受審状況
令和6年度（令和7年1月20日～1月22日にISO9001審査）に審査を受けた。
- ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
病院ホームページに審査結果を掲載している。
- ・ 評価を踏まえ講じた措置
別紙3「品質マネジメントシステム(QMS) 維持審査第1,2,3回(SV) 最終報告書」のとおり

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 2. 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 3. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 4. 京都大学医学部附属病院の基本理念を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
岩井 一宏	理事(企画・調整、評価、附属病院)	○	病院担当の理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
波多野 悦朗	医学部		医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
高折 晃史	医学部附属病院		医学部附属病院長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
松田 秀一	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (診療、労務、病床管理担当)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
平井 豊博	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (医療安全、安全衛生、広報担当)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
井川 順子	医学部附属病院看護部		医学部附属病院看護部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
西村 敏信	医学部附属病院事務部		医学部附属病院事務部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

田中 一成	静岡県立病院機構 本部参与		医学・医療に関し識見を有する学 外者	有・ <input type="checkbox"/> 無
松井 道宣	京都府医師会 (会長)		医学・医療に関し識見を有する学 外者	有・ <input type="checkbox"/> 無
古川 博規	京都府 (副知事)		医学・医療に関し識見を有する学 外者	有・ <input type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☑・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院運営に関する重要事項を協議するため、協議会を置く。 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。 ・審議の概要の従業者への周知状況 院内ホームページに議事要旨を掲載 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・☑無） <ul style="list-style-type: none"> ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・☑無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙4のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
別紙5のとおり

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副院長（診療、労務、病床管理担当）、副院長（経営、施設担当）、副院長（研究経営戦略担当）、副院長（医療安全、安全衛生、広報担当）、副院長（教育、人事、男女共同参画推進担当）、病院長補佐（病院長が指示した特定の事項について企画立案及び連絡調整を行う。）、病院運営企画室（病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
- ・ 国立大学病院長会議が主催する「病院経営次世代リーダー養成塾」に病院長補佐が参加。
- ・ 病院協議会構成員を病院長補佐へ積極的に選任し、週1回開催される執行部会議に出席させることで病院マネジメントを経験させている。
- ・ 本院が開講する「実践的医療経営プロフェッショナル教育事業プログラム(KUMAHOPE)」を職員に受講させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 本院における医療安全管理に係る業務執行状況の監査、及び監査結果に基づき、必要に応じて総長や病院長に対し是正措置を講じるよう意見する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法： 京都大学ホームページに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学法学 研究科		総長が指名する副 学長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院		法律に関する専門 的知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
中村 猛	京都府立医科大 学医療安全推進 部		医療に係る安全管 理に関する専門的 知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部		医療に係る安全管 理に関する専門的 知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療 人権センター COML	○	医療を受ける者そ の他の医療従事者 以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

- （注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
総長の命により実施する内部監査として、本学の監査担当部署が病院管理者の業務が法令に適合していることを確保するための監査を行っている。
- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
京都大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
以下に掲げる委員7名以上で組織されており、うち過半数は②の委員で構成されている。
①総長が指名する理事又は副学長
②本学の役員又は職員以外の者のうちから総長が任命するもの
③その他本学の教職員のうちから総長が必要と認める者 若干名
議長は①の委員のうち、総長が指名するものを充てており、委員の半数以上の出席で会議を開会する。
- ・ 会議体の実施状況 (年1回)
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (有・無) (年1回)
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (有・無)
- ・ 公表の方法
京都大学ホームページに掲載
https://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00001420.html

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
塩見 淳	京都大学副学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
江上 雅彦	京都大学理事 (財務、施設、環境担当)		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
稲垣 暢也	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
坂井 義治	大阪赤十字病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
清水 恒広	京都市立病院機構 京都市立病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松井 道宜	京都府医師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 院内ホームページと医療スタッフマニュアルに記載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp)および広報誌「京大病院広報」 「京大病院のご案内」(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/relation/publish.html)、 YouTubeの京大病院公式チャンネル (https://www.youtube.com/c/KUHPofficial) に おいて、各診療科の紹介や院内活動の報告、疾患の情報提供等を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 1) 「集学的がん診療ユニット」と呼ばれる診療科横断的な診療体制を構築している。 がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線 診断医・各種専門職医療スタッフが、診療科・職種を越えてカンファレンス・診療を 行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンス を実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の 質を高め、専門医・スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。さらに、 分子標的薬やがん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、全身管理を必要とする 有害事象対策が求められており、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、 治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。 2) 2019年6月より遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんゲノム医療中核拠点病院として がんゲノム医療を先進的に提供する体制を構築している。全国の28のがんゲノム医療連携病 院等と連携しがん遺伝子パネル検査施行症例に関して、京大をホストに各施設と週1回のWeb 会議でエキスパートパネルを開催するとともに、セミナーや情報提供の場を設け人材育成に 努めている。エキスパートパネルでは、院内の専門家（領域の異なるがん薬物療法専門医 、病理専門医、遺伝医学の専門医、認定遺伝カウンセラー、担当医）が各症例ごとに検討し 、推奨治療の有無や遺伝カウンセリングの必要性の検討を行っている。各施設からも、腫瘍 内科医、病理医、腫瘍外科医、婦人科医、脳外科医、小児科医、臨床遺伝専門医、遺伝カウ ンセラーなどの複数の職種が参加して、非常に活発な議論を行い治療方針を提示し、高度な 医療を提供している。セミナーは、年1回対面で開催し、その時点での課題に対して、施設を 超えた多職種でグループディスカッションを行い、改題解決と情報共有の場を提供している 。	

未承認等の医薬品の具体的な使用事例

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2024/4/1～2025/3/31

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/04/01	適応外	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/04/02	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスメトミジン	小児外科	鎮静
2024/04/04	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/04/05	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/04/05	適応外	その他	ホクナリンテープ1mg	呼吸器内科	徐脈に対して
2024/04/08	適応外	抗がん剤	ローブレナ錠25mg	小児科	神経芽腫（ALK融合遺伝子陽性）
2024/4/11	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デキサート	産婦人科	HELLP症候群
2024/4/15	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250mg	腎臓内科	ネフローゼ症候群 C3腎症
2024/4/24	適応外	その他	アデムパス	小児外科、小児科	肺内シャントに対して NOから切り替え

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/04/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/04/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/4/19	適応外	抗がん剤	イリノテカン+ネダプラチン	泌尿器科	セミノーマの精巣癌のⅢステージ
2024/4/19	適応外	抗がん剤	イリノテカン+ネダプラチン	泌尿器科	精巣癌 Ⅲライン
2024/4/22	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/4/22	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/4/22	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	血液内科	進行性多巣性白質脳症の治療
2024/4/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/4/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/4/23	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	リツキシマブBS注	免疫膠原病内科	全身性エリテマトーデス
2024/4/23	適応外	抗がん剤	カルボプラチン、パクリタキセル	呼吸器内科	胸腺癌
2024/4/25	適応外	抗がん剤	注射用メソトレキセート50mg	産婦人科	帝王切開瘢痕部妊娠治療
2024/4/25	適応外	抗がん剤	エスワンタイハウ	呼吸器内科	胸腺癌
2024/4/25	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/4/26	適応外	麻薬	ケタラール	呼吸器内科	帯状疱疹神経障害性疼痛
2024/4/26	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/4/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/4/30	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	イグザレルト錠2.5mg	免疫・膠原病内科	結節性多発性動脈炎における血栓抑制
2024/4/30	適応外	抗がん剤	パクリタキセル/カルボプラチン	腫瘍内科	原発不明癌の治療目的
2024/5/2	禁忌	その他	レボフロキサシン	小児科	発熱性好中球減少症
2024/5/2	適応外	その他	ポプスカイン	呼吸器内科	帯状疱疹後疼痛
2024/5/2	適応外	その他	アナペイン	呼吸器内科	帯状疱疹後疼痛
2024/5/2	適応外 禁忌	その他	レボフロキサシン	小児科	移植前処置における消化管殺菌
2024/5/5	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/9	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	血液・腫瘍内科	鎮痛
2024/5/9	適応外	抗がん剤	カルボプラチン/パクリタキセル	腫瘍内科	原発不明癌に対しての治療
2024/5/10	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	バファリン配合錠A81 81mg	産婦人科	習慣流産
2024/5/10	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/5/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/5/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/14	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ミダゾラム注10mg	脳神経外科	鎮静
2024/5/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/15	適応外	その他	ミダゾラム	呼吸器内科	入眠

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/5/16	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の急性拒絶反応の抑制
2024/5/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/5/17	適応外	その他	メファキン「ヒサミツ」錠275	血液内科	PMLに対して使用
2024/5/17	適応外	抗がん剤	オブジーボ	腫瘍内科	CDK12変異を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するオブジーボ使用
2024/5/20	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制
2024/5/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/20	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/5/20	適応外	その他	フランドルテープ40mg	呼吸器内科	高血圧
2024/5/20	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2024/5/20	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2024/5/27	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/27	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/5/30	禁忌	その他	コアテック	小児科	閉塞性肥大型心筋症に対する強心作用
2024/5/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/5/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/5/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/5/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	肝胆膵移植外科	感染予防のため
2024/5/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/5/31	適応外	その他	プレバイミス点滴静注 240mg	小児科	移植後のCMV感染予防
2024/5/31	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	マブキャンパス	小児科	骨髄移植前処置
2024/6/4	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/6	適応外	抗がん剤	ビノレルビン	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫
2024/6/7	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/6/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/7	適応外	抗がん剤	アブラキサン	呼吸器内科	小細胞肺がん
2024/6/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/12	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2024/6/12	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/6/19	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	リウマトレックスカプセル 2mg	免疫膠原病内科	高安動脈炎
2024/6/20	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ミダゾラム注10mg	腫瘍内科	苦痛緩和のための鎮静
2024/6/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/21	適応外	抗がん剤	シスプラチン	婦人科	子宮体癌に対し放射線療法との併用
2024/6/21	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の妊娠に対し妊娠予後の改善
2024/6/24	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/6/24	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/6/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/6/24	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	アクテムラ	免疫膠原病内科	再発性多発軟骨炎
2024/6/27	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/6/27	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	リツキシマブBS注	免疫膠原病内科	IgG4関連疾患
2024/7/1	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/1	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/3	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	血液内科	血球貪食症候群
2024/7/3	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ミダゾラム注10mg	肝・胆・膵移植外科	苦痛緩和のための鎮静
2024/7/4	適応外	抗がん剤	ローブレナ錠25mg	小児科	神経芽腫（ALK融合遺伝子増幅）
2024/7/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠 20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/10	適応外	その他	トービイ吸入液300mg	呼吸器外科	点滴で治療困難な緑膿菌肺炎
2024/7/11	適応外	その他	ニフェジピンCR	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/7/12	適応外	その他	ボンゾール錠（ダナゾール）100mg	血液内科	貧血に対して
2024/7/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/16	適応外	麻薬	MSコンチン、オプソ	呼吸器内科	咳嗽

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/7/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/16	適応外	麻薬	MSコンチン、オプソ	呼吸器内科	咳嗽
2024/7/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg 「トーワ」	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/18	適応外	その他	ウトロゲスタン膣錠カプセル 200mg	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/7/18	適応外	抗がん剤	5FU+CDDP	泌尿器科	陰茎癌
2024/7/19	適応外	その他	ボンゾール錠100mg	血液内科	再生不能性貧血
2024/7/19	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/7/22	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/24	適応外	その他	アジスロマイシン250mg錠	呼吸器内科	閉塞性細気管支炎
2024/7/24	適応外	抗がん剤	カルボプラチン、アブラキサン	呼吸器内科	胸腺癌
2024/7/25	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/25	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/7/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキシマブ	肝胆膵・移植外科	EBV感染症
2024/7/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	呼吸器内科	終末期の呼吸困難感緩和
2024/7/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/7/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制目的
2024/7/30	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産科	子宮頸管短縮予防
2024/7/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/7/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/8/1	適応外	その他	ルタテラ	放射線治療	ルタテラ投与5回目
2024/8/1	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	乳腺外科	苦痛緩和のための鎮静
2024/8/2	適応外	その他	イオパミロン300 20mL 経口	婦人科	消化管（直腸または小腸）損傷の有無の確認
2024/8/5	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/8/5	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/8/5	適応外	抗がん剤	ロイケリン散10%	消化器内科	クローン病治療
2024/8/5	適応外	抗がん剤	イマチニブ錠100mg	血液内科	肥満細胞肉腫（稀少疾患）に対して使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/8/6	適応外 禁忌	その他	マーカイン注脊麻用0.5%等 比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2024/8/9	禁忌	その他	ミネプロ、アスパラカリウ ム	呼吸器内科	
2024/8/13	適応外	その他	シムレクト静注用20mg (溶 解液付)	呼吸器外科	肺移植後の免疫抑制
2024/8/13	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg	呼吸器内科	息切れ
2024/8/15	適応外	要注意薬 (抗がん薬以 外)	サイレース静注	消化器内科	せん妄時の睡眠確保

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/8/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/8/19	適応外	抗がん剤	ドキルビシ、シスプラチン、オコピン、エンドキサン	呼吸器内科	胸腺腫
2024/8/19	適応外	抗がん剤	イリノテカン/シスプラチン	腫瘍内科	胃癌/神経内分泌腫瘍に対する抗がん剤治療
2024/8/20	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/8/20	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/8/20	適応外	抗がん剤	エトポシド/カルボプラチン	腫瘍内科	神経内分泌腫瘍に対する抗がん剤治療目的
2024/8/27	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	肝胆膵移植外科	感染予防のため
2024/8/27	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/8/27	適応外	その他	デトソール注2g	腎臓内科	カルシフィラキス
2024/8/28	適応外	抗がん剤	ロイスタチン注8mg	血液内科	肥満細胞肉腫の治療
2024/8/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/2	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/9/4	適応外	その他	インジゴカルミン注20mg	救急科	腹直筋膿瘍治療中の患者が尿道穿孔が疑われている。ドレーンよりインジゴカルミンを注入し尿道への交通がないか確認する目的で適応外使用。
2024/9/4	適応外	その他	タダラフィル20mg（アドシルカ）	免疫膠原病内科	全身性強皮症に伴う手指潰瘍
2024/9/4	適応外	その他	シベクトロ錠200mg	呼吸器外科	肺ノカルジア症
2024/9/4	適応外	抗がん剤	エトポシド/カルボプラチン	呼吸器内科	肺カルチノイド
2024/9/5	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/9/5	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/9/10	適応外	その他	アイピーディカプセル100mg	循環器内科	間質性膀胱炎
2024/9/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/9/11	適応外	抗がん剤	エンハーツ	婦人科・腫瘍内科	HER2陽性（免疫染色；中等度）の再発卵巣癌に対する使用
2024/9/12	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	腫瘍内科	原発不明癌の抗がん剤治療目的
2024/9/12	適応外	要注意薬（抗がん剤以外）	リウマトレックスカプセル	免疫膠原病内科	皮膚筋炎
2024/9/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/13	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	呼吸器外科	他剤に耐性のNTM症

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/09/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mgさ	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/17	適応外	抗がん剤	エンハーツ点滴静注	産婦人科	卵巣明細胞癌
2024/9/18	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2024/09/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/9/19	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	セルセプトカプセル250 250mg	免疫膠原病内 科	多発血管炎性肉芽腫症
2024/9/21	適応外	要注意薬 （抗がん薬以外）	リツキシマブBS注	免疫膠原病内 科	抗IFN- γ 抗体陽性・播種 性NTM症・髄膜炎
2024/09/24	適応外	その他	ニフェジピンCR	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/09/25	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	小児外科	感染予防のため
2024/09/25	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	小児外科	感染予防のため
2024/09/25	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/09/26	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	血液内科	血球貪食症候群
2024/09/30	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎疑い
2024/09/30	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/09/30	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎
2024/10/01	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	小児外科	感染予防のため
2024/10/2	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2024/10/4	適応外	抗がん剤	エンハーツ	腫瘍内科	子宮体癌エキパネで抗 HER2療法推奨
2024/10/07	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2024/10/07	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2024/10/09	禁忌	その他	ラタチモ配合点眼液	眼科	喘息患者に対して、緑内 障治療目的で使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/10/16	適応外	抗がん剤	ETP/CBDCA	耳鼻科	胸腺がんに対する抗がん剤治療
2024/10/17	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500 μ g注射用	消化管外科	腸管虚血に対して
2024/10/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/10/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/10/21	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の妊娠に対し妊娠予後の改善
2024/10/22	適応外	抗がん剤	エンハーツ	産科・婦人科	子宮癌肉腫
2024/10/22	適応外	抗がん剤	カルセド、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌
2024/10/23	適応外	その他	サイトテック錠200 200 μ g	産婦人科	産後の異常出血
2024/10/23	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ミダゾラム注	血液・腫瘍内科	苦痛緩和のための鎮静
2024/10/29	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内科	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎性間質性肺炎
2024/10/30	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	ミダゾラム注	腫瘍内科	苦痛緩和のための鎮静
2024/10/31	適応外	その他	デクスメデトミジン	呼吸器内科	夜間不穏
2024/10/31	適応外	抗がん剤	ビノレルビン	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫
2024/11/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/11/06	適応外	その他	シムレクト静注用20mg（溶解液付）	呼吸器外科	肺移植後の免疫抑制
2024/11/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/11/06	適応外	麻薬	オプソ内用液5mg	呼吸器内科	咳のひどい時
2024/11/06	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	レペタン坐剤	腎臓内科	カルシフィラキシーによる全身の痛み
2024/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg s	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/11/08	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	アクテムラ点滴静注用200mg	呼吸器内科	ステロイドに不応のirAE肺炎
2024/11/12	適応外	抗がん剤	マイトマイシン注用10mg	呼吸器外科	気管内肉芽
2024/11/15	適応外	抗がん剤	エトポシド（シプラーチンとの併用療法）	婦人科	子宮頸癌小細胞神経内分泌癌

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/11/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/11/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/11/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/11/25	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/11/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20m g	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/11/17	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2024/11/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20m g	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/11/20	適応外	その他	アナペイン注10mg/mL 1% 20mL	整形外科	膝関節の疼痛緩和
2024/11/21	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	小児	血球貪食症候群に対して 使用
2024/11/25	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	小児科	血球貪食症候群に対する 使用
2024/11/26	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20m g	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/5	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2024/12/5	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2024/12/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20m g	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/7	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2024/12/9	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20m g	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/9	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/9	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2024/12/9	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2024/12/4	適応外	抗がん剤	アブラキサン、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌
2024/12/4	適応外	要注意薬（抗がん 薬以外）	ラパリムス錠1mg	呼吸器外科	肺移植後の免疫抑制
2024/12/10	適応外	要注意薬（抗がん 薬以外）	アクテムラ点滴静注用	免疫膠原病内 科	再発性多発軟骨炎

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2024/12/18	適応外	その他	プリモボラン錠5mg	血液内科	骨髄異形成症候群に伴う貧血に対して使用
2024/12/19	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/12/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/20	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/12/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/12/25	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/12/26	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/12/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/01/07	適応外	抗がん剤	テモゾロミド錠	皮膚科	悪性黒色腫の脳転移加療目的
2025/01/09	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫
2025/01/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2025/01/10	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/01/10	適応外	抗がん剤	ドキシソルピシン、シスプラチン、オンコビン、エンドキサン	呼吸器内科	胸腺腫
2025/01/10	適応外	抗がん剤	アブラキサン	呼吸器内科	小細胞肺癌
2025/01/14	適応外	その他	トービイ吸入液300mg	呼吸器外科	緑膿菌肺炎
2025/01/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プラケニル	呼吸器外科	間質性肺疾患に対するヒドロコルチゾン使用(適応外)
2025/01/15	禁忌 適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の妊娠に対し妊娠予後の改善
2025/01/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2025/01/15	適応外	抗がん剤	カルセド、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2025/01/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/01/20	適応外	その他	セルセプトカプセル250mg	呼吸器内科	再発性かつ難治性の放射線肺炎
2025/01/21	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2025/1/21	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺腫
2025/1/22	適応外	抗がん剤	カルボプラチン	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫
2025/01/23	適応外	その他	オクトレオチド注100 μ g	心臓血管外科	乳び胸
2025/01/23	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/1/23	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	サイレース静注2mg	血液・腫瘍内科	過活動方せん妄
2025/01/27	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/01/27	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/01/28	適応外	その他	ニフェジピン20mg徐放CR錠	産婦人科	子宮収縮抑制
2025/01/31	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2025/02/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/02/03	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/2/3	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/2/3	適応外	その他	ボンゾール錠（ダナゾール）100mg	血液内科	再生不良性貧血
2025/2/3	適応外 禁忌	その他	マーカイン注脊麻用0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2025/2/4	適応外	抗がん剤	ゲムシタピン点滴静注用	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫
2025/2/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/2/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/2/10	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	皮膚科	血管肉腫
2025/2/10	適応外	抗がん剤	Atezo or Durva/ETP/CBDCA	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	左上顎洞原発小細胞癌
2025/2/10	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	オルミエント錠4mg	免疫膠原病内科	皮膚筋炎に対して使用→アトピーについて使用
2025/2/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/2/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/2/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2025/2/12	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/2/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/02/14	禁忌 適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	PE予防
2025/2/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2025/2/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/02/17	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2025/02/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/2/18	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2025/2/21	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン、ドセタキセル	産婦人科、腫瘍内科	子宮体癌肉腫
2025/02/27	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/02/28	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/02/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/02/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2025/03/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/03/03	禁忌	要注意薬（抗がん薬以外）	ナディック錠	循環器内科	QT延長症候群 LQT1
2025/03/03	禁忌	要注意薬（抗がん薬以外）	ナディック錠	循環器内科	LQTS
2025/03/03	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/3/3	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/03/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/03/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/03/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/03/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2025/3/5	適応外	その他	デトキソール静注液2g 10%20mL	小児科	CDDPの聴覚障害対策
2025/3/6	適応外	その他	セルセプトカプセル250 250mg	皮膚	SLE
2025/3/6	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	腫瘍内科	小腸癌に対して
2025/3/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/3/10	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/3/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/3/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	別紙1
2025/3/17	適応外	その他	ガバペン錠200mg	小児科	咳嗽に対して
2025/3/17	適応外	その他	クレセンバカプセル40mg	小児科	ポリコナゾールからの切り替え
2025/3/19	適応外	その他	メファキン「ヒサミツ」錠275	血液内科	進行性多巣性白質脳症(PML)に対して使用
2025/3/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2025/3/19	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/3/24	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2025/3/25	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	血液内科	進行性多巣性白質脳症(PML)の治療
2025/3/26	適応外	その他	メファキン「ヒサミツ」錠275	脳神経内科	進行性多巣性白質脳症
2025/3/28	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制
2025/3/28	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	レミケード	消化器内科	Cronkhite Canada症候群
2025/3/31	適応外	その他	シムレクト静注用20mg (溶解液付)	呼吸器外科	肺移植後の免疫抑制
2025/3/31	適応外	抗がん剤	カルセド(アムルピシン)	呼吸器内科	肺カルチノイド

令和 6 年 4 月 1 日

京都大学医学部附属病院
医薬品安全管理責任者 寺田智祐

医薬品安全管理補助者指名書

医療法施行規則第九条の二十の二* 第一項第三号イ及びロに掲げる措置を適切に実施するため、担当者として下記の者を指名します。

*平成三十年改正省令

記

所 属	職 名	氏 名	指 名 日
薬剤部	准教授・副薬剤部長	中川 俊作	平成 29 年 10 月 2 日
	准教授・副薬剤部長	津田 真弘	令和 5 年 4 月 1 日
	講師	平 大樹	令和 3 年 6 月 1 日
	副薬剤部長	池見 泰明	平成 28 年 9 月 28 日
	副薬剤部長	尾崎 淳子	平成 28 年 9 月 28 日
	副薬剤部長	野村 久祥	令和 6 年 4 月 1 日
	薬剤主任	杉本 充弘	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤主任	山際 岳朗	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤主任	吉田 優子	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤主任	松田 裕也	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤主任	岡村みや子	平成 30 年 9 月 3 日
	薬剤主任	片田 佳希	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤主任	田上 裕美	令和 6 年 1 月 1 日
	薬剤主任	志田 あゆみ	令和 6 年 4 月 1 日

	薬剤師	石塚 良子	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤師	上杉 美和	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤師	森田 洋亮	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤師	川田 将義	平成 28 年 12 月 12 日
	薬剤師	佐藤 裕紀	平成 30 年 9 月 3 日
	薬剤師	早田 千容	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤師	高橋 悠	令和 5 年 4 月 1 日
	薬剤師	川上 恵	令和 5 年 6 月 1 日



ビューローベリタスジャパン株式会社 システム認証事業本部
〒231-0021 横浜市中区日本大通18番地(KRCビル 8F)
TEL: 045-651-4784(代), FAX: 045-641-4330

京都大学医学部附属病院
品質管理室(総務課 企画・広報掛)
中岡 美紀 様

e-mail: nakaoka.miki.7w@kyoto-u.ac.jp
(ご契約番号: 19351875)

品質マネジメントシステム(QMS) 維持審査第1,2,3回(SV) 最終報告書

1. 審査の結果

審査の結果、不適合は確認されず規格要求事項に適合と判断し、ビューローベリタスジャパン(株)に認証決定の推薦をいたします。
添付報告書一式をご参照下さい。

※認証の決定は、審査チームリーダーからビューローベリタスジャパン(株)に送付された報告書をテクニカルレビューが承認した時点となります。この過程で、組織名称、認証範囲の表現、報告書の記述内容など報告書に書かれているすべてにチェックが入ります。そのレビュー時点で問題があった場合、審査チームリーダーから送付させていただいている最終報告書に変更が生じる可能性がありますことをご了承ください。もし、変更が生じた場合は、審査チームリーダーから最終報告書を再送させていただきます。

2. 中間報告書からの変更点

該当するものではありません。

3. その他

特記事項はありません。

※免責事項

この審査は、入手可能な情報の中のサンプリングプロセスに基づき実施されています。
審査の指摘事項に反映されるかもしれない不確実性要素が必然的に存在する場合があります。

ビューローベリタスジャパン株式会社

システム認証事業本部 審査チームリーダー署名: 相川 敦 日付: 2025/3/28

審査報告書内容に関するお問合せ先

(原則、お問い合わせは審査チームリーダーにお願いします。ただし、連絡がとりにくい場合下記にお願いします)

ビューローベリタスジャパン株式会社 システム認証事業本部 業務管理部

TEL: 045-651-4710

e-mail: cert@bureauveritas.com



BUREAU VERITAS

Bureau Veritas Certification Audit Report
品質マネジメントシステム(QMS) 維持審査第1,2,3回(SV) 審査報告書

ビューローベリタスジャパン株式会社 システム認証事業本部
〒231-0021 横浜市中区日本大通18番地(KRCビル 8F) TEL: 045-651-4784(代), FAX: 045-641-4330

組織名 Company Name	京都大学医学部附属病院 KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL		
認証・契約番号 Certificate/Reference Number	19351875	審査の種類 Type of audit	維持審査第1,2,3回(SV)
審査日程 Audit Date(s):	2025/01/20 ~ 2025/01/22		他契約番号 なし -
審査基準 Audit criteria (含むAmd.1:2024)	適用規格 : ISO9001:2015, JIS Q 9001:2015 マニュアル : Q-1-1-000-17-001、第6版 マネジメントシステムで取り決めたプロセス、文書類		適用不可能 なし
認証範囲 (日本語) Scope of Audit (English)	外来患者および入院患者への医療サービスの提供 THE PROVISION OF MEDICAL SERVICES FOR OUT-PATIENTS AND IN-PATIENTS		

審査の結論 (Summary of Audit Findings)

不適合の件数 Number of SF02's Raised	2	メジャー Major(s)	0	マイナー Minor(s)	2
-----------------------------------	---	------------------	---	------------------	---

審査の総括 (Audit Summary)

審査の結論 (Conclusion of the audit)

今回審査の範囲において、審査目的を満たしたことを確認した。貴組織マネジメントシステムの一部に不適合事項が見られたが、当該不適合事項の是正対応により規格要求事項等の審査基準に適合と判断できる。また、システム/プロセスの運用状況、有効性/妥当性については認証を阻害する重大事案は確認されなかった。従って、是正対応の確認後、認証維持を推薦するとともに審査計画に示した目的が達成されたものとする。

内部監査の有効性、信頼性 (Effectiveness and reliability of internal audit)

今年度の内部監査は2024/7/1~9/30の期間に27部門を対象に実施していた。全ての部門を隔年ごとに監査対象としており、合わせて前回監査時のNCや部署の変化等を考慮して監査対象に加えている。監査は2024年度内部監査計画・実績管理表で管理され、315名の監査員から122名(育成対象者含む)が参加して実施されていた。事務局から提供された「内部監査質問シート 2024年度共通」に加えて各チームが策定したチェックシートの質問内容は鋭く、QMSの有効性にも目を向けた有効な内容であった。NCの指摘はなく、GP:35件、適合:136件、OBS:11件の結果であった。監査目的の達成状況および組織の手順に沿った監査の実行状況から、内部監査の有効性及び信頼性は維持されているものと判断した。

マネジメントレビューの有効性 (Effectiveness of the management review)

2024年度マネジメントレビュー報告書 2024/12/17を確認した。インプット情報は品質管理室で取りまとめられ、全ての項目に対して詳細な情報が投入されていた。内部監査を通じた所見により、病院長からは品質目標の定量的な管理の必要性が指摘されていた。アプトプットは個々のインプット項目ごとになされ、これまでどおりの活動の確実な継続が指示されていた。マネジメントレビューは有効に継続している。

方針、目的・目標達成システムの有効性、活動状況 (Effectiveness and progress of the system to meet the policy and objectives)

経営層が設定した年度目標は部門別目標シートに展開され、具体的達成指標を定め、たうえでいずれの部門においても積極的な達成活動が行われている。達成状況は半期で中間評価を行い、その後の活動の充実につなげていた。目的・目標達成システムは継続して有効に機能している。また内部監査を通じて一部における定量的指標を用いた管理の充実化が指摘され、病院長からの改善指示もなされていた。

法令・規制要求事項順守を含むコンプライアンスの状況 (Compliance including statutory and regulatory requirements)

審査の範囲においてコンプライアンス上の問題は見受けられなかった。医療関連法令とともに個人情報保護に関しても配慮した活動が実施されている。

審査チームリーダーの推薦 Team Leader Recommendation:	不適合の是正処置 All NCR's now cleared	完了 (Yes)	認証(維持)の推薦 Proceed to/ Continue cert.	推薦する (Yes)
	チームリーダー Team Leader signed	相川 敦	日付 Date(yyyy/mm/dd)	2025/3/28

審査チーム Audit Team:	チームリーダー Team Leader	相川 敦		
	チームメンバー Team member	水島 智昭, 小田 徹		
	オブザーバー、その他 Observer, etc.	なし		
フォローアップ審査 Is a follow up visit required;	不要 (No)	フォローアップ審査日程 Date(s) of follow up visit:	不適用(N/A)	
審査内容及び結果等 Follow-up visit remarks:	不適用(N/A)			
認証書の発行 Certificate issuance	なし			
認定機関/認証書発行 部数 Accreditation's number of certificate(s):	JAB (和文)	JAB (英文)		
	N/A	N/A		
認証書表記サイト、住所 Site(s) address(es)	別紙参照 See attached sheet			
審査対象人数 Number of employees	3000 名	審査工数 Audit Manday(s)	7.50	MD
変更点 Changes	組織/サイト名称/住所	変更なし	担当部署/担当者	変更なし
	認証範囲/認定機関	変更なし	審査対象人数	変更なし
	産業区分コード	変更なし	その他	変更なし
変更内容 Details of the changes	変更事項なし 【認証書表記との相違】 なし			
被審査組織管理責任者 Management Representative	病院 病院長 高折 晃史 様			
審査報告書の送付 Audit Report Distribution				
審査報告書送付先 Audit Report Recipient	品質管理室 (総務課 企画・広報掛) 中岡 美紀 様			
※免責事項: この審査は、入手可能な情報の中のサンプリングプロセスに基づき実施されています。審査の指摘事項に反映されるかもしれない不確実性要素が必然的に存在する場合があります。				

		SF02 不適合報告書 NONCONFORMITY REPORT			
組織名及びサイト名 (Company Name and Site)				SF02#:	
京都大学医学部附属病院				AIA-1/1	
契約番号 (ref.)		部署/プロセス (Department/Process)		審査チームリーダー (Team Leader)	
19351875		経理・調達課		相川 敦	
日付 (Date)		規格・条項番号 (Standard and Clause#)		審査チームメンバー (Team Member)	
2025/1/20		ISO9001:2015, JIS Q 9001:2015 9.1.1		--	
メジャー (Major)	マイナー (Minor)	関連文書 (Related Documents (if applicable))		管理責任者 (Management Representative)	
	X	--		高折 晃史	
規格要求事項 (REQUIREMENT OF AUDITED STANDARD)					
組織は、品質マネジメントシステムのパフォーマンス及び有効性を評価しなければならない。組織は、この結果の証拠として、適切な文書化した情報を保持しなければならない。					
不適合の内容 (OBSERVED NONCONFORMITY)					
外部提供者のパフォーマンスの分析において、調達(物品の購入)に関わる納入業者に対する分析結果の記録に該当するものはなかった。結果として外部提供者のパフォーマンス分析結果として執行部会議にインプットされた事実も確認できなかった。					
確認したエビデンス(The objective evidence on which the nonconformity is based.)					
医療の質マニュアル第6版およびインタビューによる。					
【注】上記不適合の内容について、他部署、他サイトへの影響、同様の不適合の有無及び処置内容を下記是正処置回答に含めて下さい。尚、当該内容が全体的システムの不適合に相当する場合、各関連の部署/サイト及びそれらの統括部門における是正処置状況を確認させていただきます。					
修正、原因の特定と是正処置 (CORRECTION, ROOT CAUSE ANALYSIS AND CORRECTIVE ACTION)				被審査組織記入欄	
完了予定日 Proposed Completion Date		是正完了日 Actual Completion Date		管理責任者 Management Representative	
2025/4/12		2025/3/27		高折 晃史	
修正、原因の特定と是正処置回答 (Correction, Root Cause Analysis and Corrective Action Response)					
< (直ちに正すべき) 修正: Correction >					
取引先評価分析を実施し、分析結果の執行部会議への報告を3月18日に行った。					
< 原因の特定: Root Cause Analysis >					
執行部会議へのインプットは問題がある取引が発生した場合にのみ必要と考えていた。					
< 是正処置(再発防止): Corrective Action Response >					
医療サービスに対するリスクに応じて取引先評価分析を実施し、分析結果は年1回12月頃に執行部会議で定期的な報告を行う。報告漏れを防ぐため、取引先評価の手順を定め、課内に周知した。					
< 他部署、他サイト等への影響: Effects on other department (s), other site (s). > (なし)【不要を消す】					
<< 影響ありの場合: 調査結果とその処置内容の記述をお願い致します >>					
<< 影響なしの場合: どのように影響を調査し判断したかの記述をお願い致します >>					
納品時の検収・検査をもって取引評価自体は実施しており、不適当取引はなかった。その評価分析結果を記録し、執行部会議へのインプットはできていなかったが不適当な取引はなかったことから他部署への影響はない。					
< 確認したエビデンス: The evidence to support the resolution of nonconformities shall be recorded. >					
2024年度取引先評価分析報告(2025年3月18日付)、2024(令和6)年度 第41回執行部会議議事概要、経理・調達課 取引先評価分析の手順(2025年3月7日作成 初版)、評価手順の周知メール(2025年3月19日、同3月27日)					
是正確認報告 (CLEARANCE REPORT)				ビューローベリタス記入欄	
是正処置の受理 Corrective Action Accepted		受理 (Accepted)		Nonconformance Downgraded	
				不適用 (N/A)	
フォローアップコメント (Follow Up Comments)					
--					
チームリーダー Team Leader		相川 敦		日付 Date	
				2025/3/28	
是正処置記入、完了後のご提出は下記へお願いします。					
e-mail : atsushi.aikawa.ext@bureauveritas.com					

BUREAU VERITAS		SF02 不適合報告書 NONCONFORMITY REPORT		BUREAU VERITAS	
組織名及びサイト名 (Company Name and Site)			SF02#:		
京都大学医学部附属病院			ODT-1/1		
契約番号 (ref.)	部署/プロセス (Department/Process)		審査チームリーダー (Team Leader)		
19351875	疾患栄養治療部/台秤管理プロセス		相川 敦		
日付 (Date)	規格・条項番号 (Standard and Clause#)		審査チームメンバー (Team Member)		
2025/1/21	ISO9001:2015, JIS Q 9001:2015	7.1.5.1	小田 徹		
メジャー (Major)	マイナー (Minor)	関連文書 (Related Documents (if applicable))		管理責任者 (Management Representative)	
	X	--		高折 晃史	
規格要求事項 (REQUIREMENT OF AUDITED STANDARD)					
7.1.5 監視及び測定のための資源 7.1.5.1 一般 要求事項に対する製品及びサービスの適合を照明するために監視または測定に用いる場合、組織は、結果が妥当で信頼できるものであることを確実にするために必要な資源を明確にし、提供しなければならない。 組織は、用意した資源が次の事項を満たすことを確実にしなければならない。 a) 実施する特定の種類の監視及び測定活動に対して適切である。 b) その目的に継続して合致することを確実にするために維持されている。 組織は、監視及び測定のための資源が目的と合致している証拠として文書化した情報を保持しなければならない。					
不適合の内容 (OBSERVED NONCONFORMITY)					
管理栄養士が作成している特食はじめ普通食など1食当たりの食材ごとの量目が規定されていた。調理室では、喫食数に換算して各種食材を計量した上で調理されていた。そこで使用されている盛付室の秤量が0g~3,000gの秤1台、計量室の0kg~10kgの秤2台及び0g~3,000gの秤2台は点検・校正が行われていなかった。秤量が10kgの2台の台秤は、校正シールが平成22年のシールでそれ以降の校正は未実施とのことであった。管理栄養士が作成した献立の食材及び塩分相当量、炭水化物、糖分などの栄養成分の指定数値が規定されており、その数値を保証するための秤の精度管理が必要であるが、精度管理されていることが確認できなかった。					
確認したエビデンス(The objective evidence on which the nonconformity is based.)					
約束手帳箋規約、現場審査で確認した台秤(盛付室1台、調理室4台)					
【注】上記不適合の内容について、他部署、他サイトへの影響、同様の不適合の有無及び処置内容を下記是正処置回答に含めて下さい。尚、当該内容が全体的システムの不適合に相当する場合、各関連の部署/サイト及びそれらの統括部門における是正処置状況を確認させていただきます。					
修正、原因の特定と是正処置 (CORRECTION, ROOT CAUSE ANALYSIS AND CORRECTIVE ACTION)				被審査組織記入欄	
完了予定日 Proposed Completion Date	是正完了日 Actual Completion Date		管理責任者 Management Representative		
2025/4/12	2025/3/14		高折 晃史		
修正、原因の特定と是正処置回答 (Correction, Root Cause Analysis and Corrective Action Response)					
< (直ちに正すべき) 修正: Correction >					
現在使用中の秤の精度を確認するため、分銅(5kg、500g)を用いて点検を実施した。校正シールの有無にかかわらず、厨房内のすべての秤を対象とし、誤差が許容範囲内であることを確認した。(2025年3月3日点検完了)					
< 原因の特定: Root Cause Analysis >					
2010年の厨房移転時に、新たに厨房用の秤を購入した。校正シールのある秤については、購入後初回の京都市による計量器定期検査を受検した。しかし、部署内で秤の点検・校正の必要性が認識されておらず、その後も点検・校正に関する手順や計画が作成されないまま経過した。その結果、経理・調達課 契約掛 (以下、契約掛) が管理する計量器定期検査対象リストに当部署の秤が未掲載であることについて発見されず、計量器定期検査の通知時にも当部署に対象となる秤が存在することを認識できなかった。					
< 是正処置(再発防止): Corrective Action Response >					
① 厨房内で使用する秤の一覧表と以下を定めた点検手順 (はかり点検マニュアル) を作成した。 ② 点検方法については、校正シールのある秤は2年ごとに京都市の計量器定期検査を受検し、それ以外の秤については「はかり点検一覧表」に基づき毎年7~8月に自主点検を実施する。また、校正機能のある秤については校正を実施する。 ③ 校正シールのある秤を契約掛へ報告し、計量器定期検査の対象に加えると同時に契約掛が管理するリストに掲載する。 ④ 「はかり点検一覧表」は、点検・校正結果の記入用紙を兼ねており、これにより実施漏れを防止する。 ⑤ 本点検の担当は部署内の厨房施設班とし、厨房機器の保守メンテナンスのリストに加えて点検時期を把握するとともに、厨房機器一覧の更新と連動させることで、秤の追加購入や交換時に点検対象から外れないよう管理する。					
< 他部署、他サイト等への影響 : Effects on other department (s), other site (s). > (あり)					
<< 影響ありの場合 : 調査結果とその処置内容の記述をお願いします >> << 影響なしの場合 : どのように影響を調査し判断したかの記述をお願いします >> 契約掛が管理する計量器定期検査対象リストに、当部署で使用する秤が掲載されていなかった。そのため、計量器定期検査の実施に関する通知 (院内メール) に添付されるリストに当部署名が記載されず、検査対象であることを認識できなかった。検査対象 (校正シール有り) の秤について契約掛に報告し、リストへの追加を依頼した。					
< 確認したエビデンス: The evidence to support the resolution of nonconformities shall be recorded. >					
はかり点検一覧表(2025年3月実施分)、はかり点検一覧表書式、はかり点検マニュアルQ(2020)-3-4-302-25-0302					
是正確認報告 (CLEARANCE REPORT)				ビューローベリタス記入欄	
是正処置の受理 Corrective Action Accepted	受理 (Accepted)	Nonconformance Downgraded	不適用 (N/A)		
フォローアップコメント (Follow Up Comments)					
--					
チームリーダー Team Leader	相川 敦		日付 Date	2025/3/28	
是正処置記入、完了後のご提出は下記をお願いします。					
e-mail : atsushi.aikawa.ext@bureauveritas.com					

病院協議会 構成員

2025.10.1現在

協議員	氏名	所属	職位	備考
第2条第1項第1号	高折 晃史	病院長（血液内科）	教授	※議長
第2条第1項第2号	松田 秀一	副病院長、整形外科長	教授	
第2条第1項第2号	矢部 大介	副病院長、糖尿病・内分泌・栄養内科長	教授	
第2条第1項第2号	妹尾 浩	副病院長、消化器内科長	教授	
第2条第1項第2号	平井 豊博	副病院長、呼吸器内科長	教授	
第2条第1項第2号	溝脇 尚志	副病院長、放射線治療科長	教授	
第2条第1項第3号	黒田 知宏	病院長補佐、医療情報企画部長	教授	
第2条第1項第3号	江木 盛時	病院長補佐、病院長補佐、麻酔科長	教授	
第2条第1項第3号	小濱 和貴	病院長補佐、消化管外科長	教授	
第2条第1項第3号	長尾 美紀	病院長補佐、検査部長	教授	
第2条第1項第3号	大鶴 繁	病院長補佐、初期診療・救急科長	教授	
第2条第1項第3号	青山 朋樹	病院長補佐、人間健康科学系専攻長	教授	14号にも該当
第2条第1項第3号	寺田 智祐	病院長補佐、薬剤部長	教授	
第2条第1項第3号	井川 順子	病院長補佐、看護部長	看護部長	
第2条第1項第3号	西村 敏信	病院長補佐、事務部長	事務部長	
第2条第1項第4号	山下 浩平	血液内科長	准教授	
第2条第1項第4号	尾野 亘	循環器内科長	教授	
第2条第1項第4号	森信 暁雄	免疫・膠原病内科長	教授	
第2条第1項第4号	松本 理器	脳神経内科長	教授	
第2条第1項第4号	柳田 素子	腎臓内科長	教授	
第2条第1項第4号	武藤 学	腫瘍内科長	教授	
第2条第1項第4号	嶋田 和貴	緩和医療科長	准教授	
第2条第1項第4号	中島 貴子	早期医療開発科長	教授	
第2条第1項第4号	石井 隆道	肝胆膵・移植外科長	特定准教授	
第2条第1項第4号	増田 慎三	乳腺外科長	教授	
第2条第1項第4号	湊谷 謙司	心臓血管外科長	教授	
第2条第1項第4号	荒川 芳輝	脳神経外科長	教授	
第2条第1項第4号	辻川 明孝	眼科長	教授	
第2条第1項第4号	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科長	准教授	
第2条第1項第4号	廣田 誠	歯科口腔外科長	教授	
第2条第1項第4号	森本 尚樹	形成外科長	教授	
第2条第1項第4号	万代 昌紀	産科婦人科長	教授	
第2条第1項第4号	小林 恭	泌尿器科長	教授	
第2条第1項第4号	滝田 順子	小児科長	教授	
第2条第1項第4号	中本 裕士	放射線診断科長	教授	
第2条第1項第4号	椛島 健治	皮膚科長	教授	
第2条第1項第4号	村井 俊哉	精神科神経科長	教授	
第2条第1項第4号	池口 良輔	リハビリテーション科長	教授	
第2条第1項第4号	羽賀 博典	病理診断科長	教授	
第2条第1項第5号	近藤 祥司	高齢者医療ユニット長	准教授	
第2条第1項第5号	伊藤 孝司	臓器移植医療部長	准教授	
第2条第1項第7号	松村 由美	医療安全管理部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 純正	医療開発部長	教授	
第2条第1項第8号	森田 智視	クリニカルトリアルサイエンス部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 洋士	臨床研究支援部長	教授	
第2条第1項第9号	中山 健夫	倫理支援部長	教授	
第2条第1項第13号	片岡 仁美	医学教育・国際化推進センター	教授	
第2条第2項	新井 康之	細胞療法科長	講師	
第2条第2項	中島 大輔	呼吸器外科長	講師	
第2条第2項	池田 昭夫	てんかん診療支援センター長	特定教授	
第2条第2項	加藤 源太	病床運営管理部	特定教授	
第2条第2項	河井 昌彦	総合周産期母子医療センター副センター長	特定教授	
第2条第2項	千草 義継	総合周産期母子医療センター長	講師	

管理者権限の明確化について

厚生労働省令

- 管理者が有する病院の管理運営に係る権限及び病院の管理運営のために必要となる一定の人事・予算執行権限について明確化することを求める。
- 管理者が有する権限を明確化した内部規程を特定機能病院の承認申請時に提出させるとともに、毎年報告させることで確認する。

病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院規程（最終改正令和7年4月1日）に次のように定めている。

（略）

第2条 病院に、病院長を置く。

2 病院長は、理事又は医学研究科若しくは病院の専任の教授をもつて充てる。

3 病院長は、病院の院務を掌理する。

（略）

第13条 この規程に定めるもののほか、病院の内部組織については、病院長が定める。

（略）

2. 京都大学医学部病院協議会規程（最終改正令和5年4月1日）に次のように定めている。病院協議会は、病院運営に関する合議体である。

（略）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる協議員で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) 病院規程第3条に掲げる診療科の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(5) 病院規程第6条に掲げる診療部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(6) 病院規程第7条に掲げる中央施設部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(7) 病院規程第8条に掲げる運営部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(8) 病院規程第9条第2項に掲げる先端医療研究開発機構の各部、センター及び室の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(9) 病院規程第10条に掲げる臨床研究・研修部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(10) 看護部長

- (11) 事務部長
- (12) 病院教授の称号を付与された者
- (13) 医学研究科附属医学教育・国際化推進センター専任教授
- (14) 医学研究科人間健康科学系専攻長

2 前項のほか、病院長が必要と認めるときは、協議会の議を踏まえて、医学研究科、医学部又は病院の教授、准教授又は講師を協議員として加えることができるものとする。

第3条 協議会に議長を置き、病院長をもって充てる。

2 議長は、協議会を主宰する。

3 議長に事故があるときは、第2条第1項第2号の協議員のうちからあらかじめ議長が指名するものがその職務を代行する。

第4条 協議会は、病院長が招集する。

2 病院長は、原則として、毎月1回招集する。ただし、必要があるときは、臨時に招集することができる。

(略)

3. 京都大学医学部附属病院執行部内規（最終改正令和2年4月1日）に次のように定めている。病院執行部は、病院の業務に関し迅速な意思決定を行い、病院執行部会議において企画・実施する。

(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院規程第13条の規定に基づき、京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院の業務に関し迅速な意思決定を行うため、京都大学医学部附属病院執行部（以下「病院執行部」という。）を置く。

(組織)

第2条 病院執行部は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 副病院長
- (3) 病院長補佐
- (4) その他病院長が必要と認めた者

(業務)

第3条 病院執行部の業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の診療、教育、研究に関する企画及び実施に関すること。
- (2) 病院の経営に関する企画及び実施に関すること。
- (3) その他重要事項に関すること。

(病院執行部会議)

第4条 前条の業務を企画・実施するため、病院執行部に病院執行部会議（以下「会議」という。）を置く。

(議長)

第5条 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

2 議長に事故あるときは、副病院長のうち議長が指名する者がその職務を代理する。

(略)

人事権限

1. 京都大学医学部附属病院規程（最終改正令和7年4月1日）に次のように定めている。

第6条 病院に、診療部門として、次の部、室、センター及びユニットを置く。

デイ・ケア診療部
臓器移植医療部
遺伝子診療部
心臓血管疾患集中治療部
女性のこころとからだの相談室
脳卒中診療部
脳卒中療養支援センター
がんセンター
VHL病センター
リウマチセンター
もやもや病支援センター
高度生殖医療センター
頭蓋底腫瘍センター
てんかん診療支援センター
摂食嚥下診療センター
アレルギーセンター
総合周産期母子医療センター
小児集中治療センター
こども医療センター
児童思春期こころの相談センター
黄斑疾患治療センター
高齢者医療ユニット
漢方診療ユニット
睡眠呼吸障害診療ユニット

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

第7条 病院に、中央施設部門として、次の部、室及びセンターを置く。

検査部
感染制御部
手術部
放射線部
リハビリテーション部
医療器材部
人工腎臓部

病理部
疾患栄養治療部
集中治療部
内視鏡部
臨床心理室
細胞療法センター
高気圧酸素治療センター
救命救急センター

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から**病院長が指名するあるいは委嘱する**と定めている。

第8条 病院に、運営部門として、次の部、センター及び室を置く。

看護部
薬剤部
医療情報企画部
医療安全管理部
病院運営企画室
診療報酬センター
PFMセンター
病院整備推進部
病歴管理室
品質管理室
事業場安全衛生管理室
(略)

1 2 第2項から前項までに定めるもののほか、第1項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から**病院長が指名する**と定めているか、本規定条文にて**必要な事項を病院長が定めること**とされている。
(ただし、病院整備推進部長は病院長をもって充てると定めており、看護部長は、候補者選考内規において、選考委員長は病院長をもって充てると定めている。)

第9条 病院に、先端医療研究開発機構を置く。

2 先端医療研究開発機構に、次の部、センター及び室を置く。

医療開発部
データサイエンス部
臨床研究推進部
次世代医療・iPS細胞治療研究センター
先端医療機器開発・臨床研究センター
先制医療・生活習慣病研究センター

クリニカルバイオリソースセンター
戦略・広報室
ビジネスディベロップメント室

3 前項に定めるもののほか、先端医療研究開発機構に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、先制医療・生活習慣病研究センターは、病院長が指名する副病院長又は病院長補佐をもって充てると定めている。)

第10条 病院に、臨床研究・研修部門として、次のセンター、部及び室を置く。

総合臨床教育・研修センター
iPS細胞臨床開発部
看護職キャリアパス支援センター
レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部
倫理支援部
共同機器研究室

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、看護職キャリアパス支援センター長は看護部長、レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部長は医療情報企画部長をもって充てると定めている。)

予算執行権限

1. 国立大学法人京都大学予算規則（最終改正令和7年3月1日）において病院の予算責任者は、病院長と定めている。

（略）

（予算単位と予算責任者）

第3条 会計規程第6条に定める予算単位及び予算責任者は、別表に定めるところによる。

（略）

別表（抜粋）

医学部附属病院 病院長

2. 京都大学医学部附属病院予算委員会規程（最終改正令和7年4月1日）に次のように定めている。

第1条 京都大学医学部附属病院における予算について審議するため、京都大学医学部附属病院予算委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 概算要求事項に関すること。
- (2) 予算配分に関すること。
- (3) 予算の執行に関すること。
- (4) その他予算に関し、委員会が必要と認めること。

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 内科系教授2名
- (3) 外科系教授2名
- (4) 中央施設部門の部（室）長 3名（但し、前各号の委員を兼ねることはできない。）
- (5) 薬剤部長、看護部長及び事務部長
- (6) その他病院長が必要と認める者。

2 前項第1号及び第5号以外の委員は、病院長が委嘱する。

3 第一項第1号及び第5号以外の委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（略）

※以下の内規等は、上述の規程等を補完するもの

病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院運営企画室内規（最終改正令和5年4月1日）に次のように定めている。

（設置）

第1条 この内規は、京都大学医学部附属病院規程（昭和41年達示第18号）第8条第12項の規定に基づき、病院運営企画室（以下「運営企画室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務）

第2条 運営企画室は、病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。

（略）

2. 外来医長・看護師長会議規程（最終改正平成29年9月26日）に次のように定めている。

第1条 病院に、外来医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、各診療科外来における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に依りて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 各診療科外来における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 各診療科外来間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他各診療科外来に関すること。

（略）

3. 病棟医長・看護師長会議規程（最終改正平成29年9月26日）に次のように定めている。

第1条 病院に、病棟医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、病棟における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に依りて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 病棟における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 病棟間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他病棟に関すること。

（略）

4. 京都大学医学部附属病院危機管理会議内規（最終改正平成29年2月2日）に次のように定めている。構成員は、病院執行部である。

（目的）

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）において発生した緊急かつ重大な事案に迅速に対応するため、京都大学医学部附属病院危機管理会議（以下「危機管理会議」という。）を置く。

（業務等）

第2条 危機管理会議は、病院において発生した緊急かつ重大な医療事故、研究活動における不適合事案、院内感染、集団食中毒、天災、人災等に迅速な対応を行う。ただし、医療法に定める特定臨床研究活動及び再生医療等技術を用いる臨床研究活動における不適合事案については、この限りでない。

2 前項における対応のうち、診療行為及び研究活動の継続又は中止の判断については、危機管理会議の議を踏まえて、病院長が行う。

(組織)

第3条 危機管理会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認める者

(議長)

第4条 病院長は、会議を招集しその議長となる。

(略)

人事権限

1. 外来医長・副医長職務内規（最終改正平成19年4月1日）に次のように定めている。

第二条 病院各診療科外来に、外来副医長一名を置くことができる。

2 外来副医長は、当該診療科の講師または助教から、当該診療科長の推せんにより病院長が任命する。

2. 病棟医長・副医長職務内規（最終改正平成19年4月1日）に次のように定めている。

第二条 病院各病棟に、病棟副医長一名を置くことができる。

2 病棟副医長は、当該部局の講師または助教から、当該部局長の推せんにより病院長が任命する。

3. 京都大学医学部附属病院医員等取扱要項（最終改正令和6年1月1日）に次のように定めている。

1. 医員

第2 医員の採用は、関係診療科又は部等の長（以下「診療科長等」という。）の意見を参考に、病院長が選考のうえ、決定する。

(略)

2. 医員（研修医）

第7 医員（研修医）の採用は、別に定める要件を満たした者の中から病院長が決定する。